# 令和４年度

# 地下水質測定結果

令和６年３月

環境省　水・大気環境局

# 目　　次


Ⅰ．令和４年度地下水質測定結果について ..... 1
１．はじめに ..... 1
２．調査内容 ..... 1
３．調査実施状況 ..... 1
４．調査結果 ..... 2
５．過年度からの調査結果の推移 ..... 3
６．汚染原因等 ..... 4
７．環境基準超過井戸の存在状況 ..... 4
表１　調査井戸数 ..... 5
図１　調査井戸数の推移 ..... 5
表２　概況調査の結果 ..... 6
表３　汚染井戸周辺地区調査の結果 ..... 7
表４　継続監視調査の結果 ..... 8
図２　概況調査における環境基準超過率の推移 ..... 9
図３　継続監視調査における環境基準超過井戸本数の推移 ..... 9
図４　環境基準超過井戸が存在する市区町村図（揮発性有機化合物） ..... 10
図５　環境基準超過井戸が存在する市区町村図（重金属等） ..... 11
図６　環境基準超過井戸が存在する市区町村図（硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素） ..... 12
参考資料１　地下水の水質汚濁に係る環境基準 ..... 13
参考資料２　地下水の水質保全に係る施策体系と環境省のこれまでの主な取組 ..... 14
参考資料３　地下水質測定における調査区分について ..... 19
参考資料４　都道府県別調査実施状況 ..... 22
参考資料５　項目別・都道府県別調査結果 ..... 23
参考資料６　項目別・年度別地下水質測定結果 ..... 34
参考資料７　高濃度検出井戸における汚染原因及び対策等の状況 ..... 47
参考資料８　要監視項目の測定結果について ..... 55
Ⅱ．地下水汚染事例に関する実態把握調査の結果について ..... 56
１．調査について ..... 56
２．地下水汚染事例件数とその判明の状況 ..... 58
３．地下水の用途と飲用指導等の措置の実施状況 ..... 70
４．汚染範囲の把握及び継続監視の実施状況 ..... 72
５．汚染原因の状況 ..... 75
６．工場・事業場を原因とする地下水汚染対策の状況 ..... 80
７．廃棄物を原因とする地下水汚染対策の状況 ..... 86
８．硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染対策の状況 ..... 87
９．地下水浄化等の対策の実施状況 ..... 90
１０．地下水汚染の公表の実施状況 ..... 93

# Ⅰ．令和４年度地下水質測定結果について

## １．はじめに

地下水の水質（以下、「地下水質」という。）については、水質汚濁防止法第第 15 条第 1 項及び第 2 項に基づき、都道府県知事が水質の汚濁の状況を常時監視し、その結果を環境大臣に報告することとされている。平成元年度以来、都道府県知事が毎年度作成する水質測定計画に従って、国及び地方公共団体によって地下水質の測定が実施されている。

本報告は、令和４年度に実施された地下水質の測定結果を取りまとめたものである。

## ２．調査内容

### （１）調査対象項目

調査対象項目は、環境基本法第 16 条に基づく地下水の水質汚濁に係る環境基準（以下、「環境基準」という。）が定められている以下の 28 項目である。各項目の基準値については**参考資料１**を参照。

**カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、ＰＣＢ、ジクロロメタン、四塩化炭素、クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素、1,4-ジオキサン**

### （２）調査区分

地下水質の調査は、その目的によって以下の３つの調査区分に分類される。各調査方法については**参考資料３**を参照。

① 概況調査

地域の全体的な地下水質の状況を把握するために実施する調査

② 汚染井戸周辺地区調査

概況調査又は事業者からの報告等により新たに発見された汚染について、その汚染範囲を確認するために実施する調査

③ 継続監視調査

汚染が確認された地域について、継続的に監視を行うための調査

※ 本調査区分は、平成 21 年度から適用。各調査区分は、それぞれ従来の「概況調査」、「汚染井戸周辺地区調査」、「定期モニタリング調査」に相当することから、各調査区分の経年的な比較は、それぞれの相当する区分に対応させて比較した。

## ３．調査実施状況

### （１）調査対象市区町村数

令和４年度に調査が行われた井戸が存在する市区町村数は、以下のとおりであった。

- 概　況　調　査：1,074 市区町村（全市区町村数の 62%）
- 汚染井戸周辺地区調査：　124 市区町村（全市区町村数の　7％）
- 継 続 監 視 調 査：　774 市区町村（全市区町村数の 45%）
- 全 調 査 区 分 総 計：1,208 市区町村（全市区町村数の 70%）

（日本の全市区町村数は、令和４年５月１日現在 1,724 市区町村（総務省データ））

なお、概況調査は、分割した調査区域を順次調査して数年間で地域全体を調査する「ローリング方式」を採用している地方公共団体が多く、単年度で全地域を調査しているとは限らない。

### （２）各調査の実施状況

令和４年度に調査が行われた井戸数は、以下のとおりであった。（**表１**）

・概況調査：　2,830 本（前年度から　165 本減、　前年度比　94%）
・汚染井戸周辺地区調査：　720 本（前年度から　91 本減、　前年度比　89%）
・継続監視調査：　3,942 本（前年度から　103 本減、　前年度比　97%）

また、平成６年度からの調査井戸数の推移を**図１**に示す。

概況調査の調査井戸数及び継続監視調査の調査井戸数は前年度から引き続き減少傾向にある。汚染井戸周辺地区調査の調査井戸数は令和２年に増加したが、その後減少傾向である。

## ４．調査結果

### （１）概況調査

概況調査の結果を**表２**に示す。

調査を実施した井戸 2,830 本のうち、149 本の井戸においていずれかの項目で環境基準超過が見られ、全体の環境基準超過率（＝何らかの項目で環境基準を超過した井戸数／全調査井戸数）は 5.3%で、前年度（5.1%）から若干増加した。なお、前年度とは調査対象の井戸が異なるため、単純な比較はできないことに留意する必要がある。

項目別の環境基準超過率は、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が（2.7%）が最も高く、次いで、砒素（1.7%）、ふっ素（1.0%）、鉛（0.2%）、テトラクロロエチレン（0.2%）、ほう素（0.2%）、クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）（0.1%）、1,2-ジクロロエチレン（0.1%）、トリクロロエチレン（0.1%）の順であった。

前年度の項目別の環境基準超過率と比較すると、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が 0.7%、ふっ素が 0.3%、テトラクロロエチレンが 0.1%増加した。一方、砒素が 0.7%、鉛が 0.2%、総水銀が 0.1%、クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）が 0.1%減少した。1,2-ジクロロエチレン・トリクロロエチレン・ほう素は前年度と変わらなかった。

なお、概況調査で地下水汚染が発見された井戸については、その後、概況調査の対象から外れ、汚染井戸周辺地区調査や継続監視調査の対象となり、継続して汚染の状況が監視される。

### （２）汚染井戸周辺地区調査

汚染井戸周辺地区調査結果を**表３**に示す。

汚染井戸周辺地区調査は、概況調査等で汚染が判明している項目等について、汚染範囲の確認のために実施される。この調査の実施状況から、新たに明らかになった汚染の広がりの大まかな傾向を把握することができる。

調査を実施した井戸 720 本のうち、いずれかの項目で環境基準超過が見られた井戸は 87 本であり、前年度の 81 本から６本増加した。

項目別の環境基準超過井戸の本数は、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素（33 本）が最も多く、次いで、砒素（18 本）、テトラクロロエチレン（９本）、ふっ素（８本）、トリクロロエチレン（７本）、クロロ

エチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）・ほう素（３本）、鉛・六価クロム・1,2-ジクロロエチレン（２本）、カドミウム・総水銀・四塩化炭素・ベンゼン（１本）の順であった。

前年度との比較では、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が 19 本、テトラクロロエチレンが６本、トリクロロエチレンが３本、クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）・1,2-ジクロロエチレンが１本増加し、六価クロムが２本、カドミウム・ベンゼンについては１本と新たに超過となった井戸が発生した。砒素が 17 本、ふっ素が９本、ほう素が２本、鉛が１本減少した。総水銀・四塩化炭素は前年度と変わらなかった。

### （３）継続監視調査

継続監視調査結果を**表４**に示す。

継続監視調査は、概況調査等で汚染が確認された後に継続的に監視することを目的に実施される。汚染が改善されれば調査対象から除かれるため、継続監視調査の結果から現在の汚染の存在状況を見ることができる。

調査を実施した井戸 3,942 本のうち、いずれかの項目で環境基準超過が見られた井戸は 1,636 本であり、前年度の 1,690 本から 54 本減少した。

項目別の環境基準超過井戸の本数は、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素（585 本）が最も多く、次いで、砒素（363 本）、テトラクロロエチレン（265 本）、ふっ素（169 本）、トリクロロエチレン（164 本）、1,2-ジクロロエチレン（95 本）、クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）（83 本）、ほう素（47 本）、六価クロム・総水銀（21 本）、鉛（17 本）、四塩化炭素（13 本）、1,4-ジオキサン（８本）、ベンゼン（３本）、1,1-ジクロロエチレン（２本）、1,2-ジクロロエタン・セレン（１本）の順であった。

前年度との比較では、総水銀が４本、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が３本、鉛・1,4-ジオキサンが２本、1,1-ジクロロエチレンが１本増加した。一方、砒素が 27 本、テトラクロロエチレンが 16 本、1,2-ジクロロエチレンが６本、トリクロロエチレンが５本、カドミウム・六価クロム・クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）・1,2-ジクロロエタン・ふっ素が２本、四塩化炭素・ほう素が１本減少した。ベンゼン・セレンは前年度と変わらなかった。

## ５．過年度からの調査結果の推移

### （１）概況調査の環境基準超過率の推移

概況調査において環境基準超過率が比較的高い項目について、それぞれの環境基準超過率の推移を**図２**に示す。

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素については、平成 11 年度に環境基準に追加されて以降、超過率は 5～7%で推移していた。平成 15 年度をピークに減少傾向にあったが、令和４年度は前年度から 0.7%増加し 2.7%であった。砒素については、直近 10 年間では 2.0～2.5%間で横ばいの傾向にあったが、令和４年度は前年度から 0.7%減少し 1.7%であった。ふっ素については、平成 11 年度に環境基準に追加されて以降横ばいの傾向にあり、令和元年度から減少しつつあったが、令和４年度は前年度から 0.3%増加し 1.0%であった。トリクロロエチレン（※）及びテトラクロロエチレンについては、平成元年度以降減少傾向にあり、近年は 0.5%未満で推移している。

### （２）継続監視調査の環境基準超過井戸本数の推移

継続監視調査において環境基準超過井戸本数が比較的多い項目について、その推移を**図３**に示す。

概況調査で環境基準超過率の高い硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素については、環境基準項目に追加された平成 11 年度以降環境基準超過井戸本数が増加し続け、平成 22 年度がピークとなった。その後はおおむね減少傾向にあったが、令和４年度は前年度から３本増加した。トリクロロエチレン（※）及びテトラクロロエチレンは、全体的に緩やかな減少傾向にある。砒素は全体的には緩やかな増加傾向にある。ふっ素は環境基準項目に追加された平成 11 年度以降穏やかな増加傾向にあったが、直近 10 年間は 170 本前後で横ばいの傾向にある。

※トリクロロエチレンについては、平成 26 年 11 月 27 日、基準値が 0.03mg/L 以下から 0.01mg/L 以下に改定されたことから、その前後で単純な比較はできないことに留意する必要がある。

## ６．汚染原因等

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の汚染原因は主に過剰な施肥、家畜排せつ物の不適正処理、生活排水の地下浸透等による窒素負荷である。砒素、ふっ素については、主に自然的要因によるものである。テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン等の揮発性有機化合物については、主に工場・事業場の排水・廃液・原料等によるものである。

調査実施状況、汚染原因把握状況、対策の実施状況等については、55 ページからの「Ⅱ．地下水汚染事例に関する実態把握調査の結果について」にとりまとめた。

## ７．環境基準超過井戸の存在状況

環境基準超過井戸が存在する市区町村図を**図４～６**に示す。これは、過去５年間（平成 30～令和４年度）の全調査区分において、環境基準の超過井戸が存在する市区町村を、揮発性有機化合物、重金属等、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の３分類別に示したものである。集計対象を５年間としたのは、概況調査にローリング方式を採用している地方公共団体が多く、その一巡期間が概ね３～５年であるためである。

過去５年間で環境基準を超過した井戸がある市区町村数は以下のとおりであった。

・揮発性有機化合物：320 市区町村（全市区町村数の 19%（前年度調査 19%））
・重金属等：446 市区町村（全市区町村数の 26%（前年度調査 26%））
・硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素：442 市区町村（全市区町村数の 26%（前年度調査 26%））

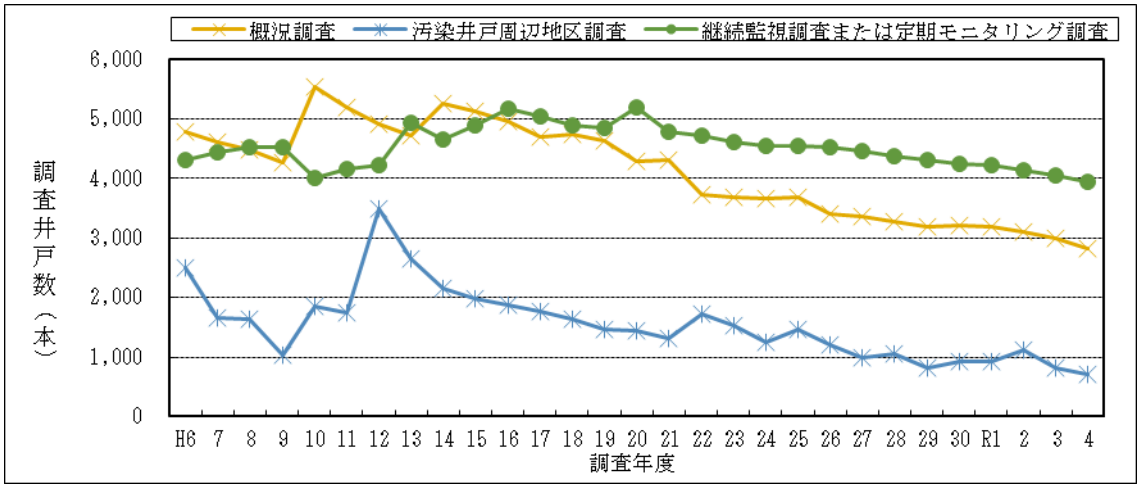
## 表１　調査井戸数

| 調査区分 / 項　目 | 概況調査 | 汚染井戸周辺地区調査 | 継続監査調査 |
|---|---|---|---|
| カドミウム | 2,340 | 24 | 33 |
| 全シアン | 2,199 | 16 | 37 |
| 鉛 | 2,453 | 66 | 156 |
| 六価クロム | 2,425 | 68 | 117 |
| 砒素 | 2,483 | 162 | 607 |
| 総水銀 | 2,322 | 45 | 78 |
| アルキル水銀 | 498 | 14 | 16 |
| PCB | 1,786 | 12 | 17 |
| ジクロロメタン | 2,382 | 81 | 319 |
| 四塩化炭素 | 2,290 | 105 | 418 |
| クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー） | 2,202 | 199 | 1,290 |
| 1,2-ジクロロエタン | 2,277 | 64 | 437 |
| 1,1-ジクロロエチレン | 2,298 | 226 | 1,350 |
| 1,2-ジクロロエチレン | 2,401 | 228 | 1,413 |
| 1,1,1-トリクロロエタン | 2,388 | 151 | 854 |
| 1,1,2-トリクロロエタン | 2,177 | 67 | 449 |
| トリクロロエチレン | 2,469 | 251 | 1,525 |
| テトラクロロエチレン | 2,458 | 225 | 1,459 |
| 1,3-ジクロロプロペン | 2,039 | 39 | 136 |
| チウラム | 1,970 | 0 | 8 |
| シマジン | 1,975 | 0 | 8 |
| チオベンカルブ | 1,972 | 0 | 8 |
| ベンゼン | 2,342 | 64 | 217 |
| セレン | 2,206 | 16 | 26 |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 2,613 | 172 | 1,437 |
| ふっ素 | 2,472 | 60 | 399 |
| ほう素 | 2,330 | 27 | 165 |
| 1,4-ジオキサン | 2,165 | 37 | 76 |
| 全体 | 2,830 | 720 | 3,942 |

※備考：令和４年度の調査井戸総数は7,492本である。なお、同一井戸で調査を実施している場合がある。

| 調査区分 / 項目 | 概況調査 | 汚染井戸周辺地区調査 | 継続監査調査 |
|---|---|---|---|
| （参考）令和３年度全体 | 2,995 | 811 | 4,045 |

※備考：令和３年度の調査井戸総数は7,752本である。なお、同一井戸で調査を実施している場合がある。




※備考：定期モニタリング調査は平成 21 年度に継続監視調査へ調査区分が変更された。

## 図１　調査井戸数の推移

## 表２　概況調査の結果

| 項　目 | 概況調査結果 | | | | | （参考）令和３年度 概況調査結果 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 調査数（本） | 検出数（本） | 検出率（%） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） |
| カドミウム | 2,340 | 33 | 1.4 | 0 | 0.0 | 2,504 | 0 | 0.0 |
| 全シアン | 2,199 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2,334 | 0 | 0.0 |
| 鉛 | 2,453 | 163 | 6.6 | 6 | 0.2 | 2,613 | 10 | 0.4 |
| 六価クロム | 2,425 | 27 | 1.1 | 0 | 0.0 | 2,552 | 0 | 0.0 |
| 砒素 | 2,483 | 314 | 12.6 | 41 | 1.7 | 2,654 | 63 | 2.4 |
| 総水銀 | 2,322 | 25 | 1.1 | 0 | 0.0 | 2,495 | 2 | 0.1 |
| アルキル水銀 | 498 | 1 | 0.2 | 0 | 0.0 | 653 | 0 | 0.0 |
| PCB | 1,786 | 17 | 1.0 | 0 | 0.0 | 1,879 | 0 | 0.0 |
| ジクロロメタン | 2,382 | 28 | 1.2 | 0 | 0.0 | 2,564 | 0 | 0.0 |
| 四塩化炭素 | 2,290 | 39 | 1.7 | 0 | 0.0 | 2,481 | 0 | 0.0 |
| クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー） | 2,202 | 43 | 2.0 | 3 | 0.1 | 2,337 | 4 | 0.2 |
| 1,2-ジクロロエタン | 2,277 | 28 | 1.2 | 0 | 0.0 | 2,468 | 0 | 0.0 |
| 1,1-ジクロロエチレン | 2,298 | 36 | 1.6 | 0 | 0.0 | 2,444 | 0 | 0.0 |
| 1,2-ジクロロエチレン | 2,401 | 55 | 2.3 | 3 | 0.1 | 2,575 | 2 | 0.1 |
| 1,1,1-トリクロロエタン | 2,388 | 36 | 1.5 | 0 | 0.0 | 2,573 | 0 | 0.0 |
| 1,1,2-トリクロロエタン | 2,177 | 29 | 1.3 | 0 | 0.0 | 2,341 | 0 | 0.0 |
| トリクロロエチレン | 2,469 | 65 | 2.6 | 2 | 0.1 | 2,644 | 2 | 0.1 |
| テトラクロロエチレン | 2,458 | 95 | 3.9 | 4 | 0.2 | 2,638 | 2 | 0.1 |
| 1,3-ジクロロプロペン | 2,039 | 26 | 1.3 | 0 | 0.0 | 2,169 | 0 | 0.0 |
| チウラム | 1,970 | 32 | 1.6 | 0 | 0.0 | 2,105 | 0 | 0.0 |
| シマジン | 1,975 | 32 | 1.6 | 0 | 0.0 | 2,103 | 0 | 0.0 |
| チオベンカルブ | 1,972 | 32 | 1.6 | 0 | 0.0 | 2,103 | 0 | 0.0 |
| ベンゼン | 2,342 | 25 | 1.1 | 0 | 0.0 | 2,518 | 0 | 0.0 |
| セレン | 2,206 | 87 | 3.9 | 0 | 0.0 | 2,346 | 0 | 0.0 |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 2,613 | 2,127 | 81.4 | 71 | 2.7 | 2,773 | 56 | 2.0 |
| ふっ素 | 2,472 | 1,052 | 42.6 | 24 | 1.0 | 2,589 | 18 | 0.7 |
| ほう素 | 2,330 | 836 | 35.9 | 5 | 0.2 | 2,500 | 4 | 0.2 |
| 1,4-ジオキサン | 2,165 | 32 | 1.5 | 0 | 0.0 | 2,320 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 2,830 | 2,540 | 89.8 | 149 | 5.3 | 2,995 | 153 | 5.1 |

注１：検出数とは各項目の物質を検出した井戸の数であり、検出率とは調査数に対する検出数の割合である。
超過数とは環境基準を超過した井戸の数であり、超過率とは調査数に対する超過数の割合である。
環境基準超過の評価は年間平均値による。ただし、全シアンについては最高値とする。

注２：全体とは全調査井戸の結果で、全体の超過数とはいずれかの項目で環境基準超過があった井戸の数であり、
全体の超過率とは全調査井戸の数に対するいずれかの項目で環境基準超過があった井戸の数の割合である。

## 表３　汚染井戸周辺地区調査の結果

| 調査区分 / 項　目 | 汚染井戸周辺地区調査結果 | | | | | （参考）令和３年度 汚染井戸周辺地区調査結果 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 調査数（本） | 検出数（本） | 検出率（%） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） |
| カドミウム | 24 | 0 | 0.0 | 1 | 4.2 | 23 | 0 | 0.0 |
| 全シアン | 16 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 22 | 0 | 0.0 |
| 鉛 | 66 | 8 | 12.1 | 2 | 3.0 | 79 | 3 | 3.8 |
| 六価クロム | 68 | 7 | 10.3 | 2 | 2.9 | 54 | 0 | 0.0 |
| 砒素 | 162 | 53 | 32.7 | 18 | 11.1 | 254 | 35 | 13.8 |
| 総水銀 | 45 | 1 | 2.2 | 1 | 2.2 | 25 | 1 | 4.0 |
| アルキル水銀 | 14 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 11 | 0 | 0.0 |
| PCB | 12 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 11 | 0 | 0.0 |
| ジクロロメタン | 81 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 42 | 0 | 0.0 |
| 四塩化炭素 | 105 | 2 | 1.9 | 1 | 1.0 | 71 | 1 | 1.4 |
| クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー） | 199 | 7 | 3.5 | 3 | 1.5 | 226 | 2 | 0.9 |
| 1,2-ジクロロエタン | 64 | 1 | 1.6 | 0 | 0.0 | 64 | 0 | 0.0 |
| 1,1-ジクロロエチレン | 226 | 2 | 0.9 | 0 | 0.0 | 236 | 0 | 0.0 |
| 1,2-ジクロロエチレン | 228 | 7 | 3.1 | 2 | 0.9 | 236 | 1 | 0.4 |
| 1,1,1-トリクロロエタン | 151 | 1 | 0.7 | 0 | 0.0 | 125 | 0 | 0.0 |
| 1,1,2-トリクロロエタン | 67 | 1 | 1.5 | 0 | 0.0 | 81 | 0 | 0.0 |
| トリクロロエチレン | 251 | 23 | 9.2 | 7 | 2.8 | 264 | 4 | 1.5 |
| テトラクロロエチレン | 225 | 37 | 16.4 | 9 | 4.0 | 242 | 3 | 1.2 |
| 1,3-ジクロロプロペン | 39 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 23 | 0 | 0.0 |
| チウラム | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 0.0 |
| シマジン | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 0.0 |
| チオベンカルブ | 0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 0.0 |
| ベンゼン | 64 | 0 | 0.0 | 1 | 1.6 | 37 | 0 | 0.0 |
| セレン | 16 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 23 | 0 | 0.0 |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 172 | 134 | 77.9 | 33 | 19.2 | 166 | 14 | 8.4 |
| ふっ素 | 60 | 21 | 35.0 | 8 | 13.3 | 140 | 17 | 12.1 |
| ほう素 | 27 | 10 | 37.0 | 3 | 11.1 | 41 | 5 | 12.2 |
| 1,4-ジオキサン | 37 | 1 | 2.7 | 0 | 0.0 | 19 | 0 | 0.0 |
| 全体 | 720 | 287 | 39.9 | 87 | 12.1 | 811 | 81 | 10.0 |

注１：検出数とは各項目の物質を検出した井戸の数であり、検出率とは調査数に対する検出数の割合である。
　　超過数とは環境基準を超過した井戸の数であり、超過率とは調査数に対する超過数の割合である。
　　環境基準超過の評価は年間平均値による。ただし、全シアンについては最高値とする。

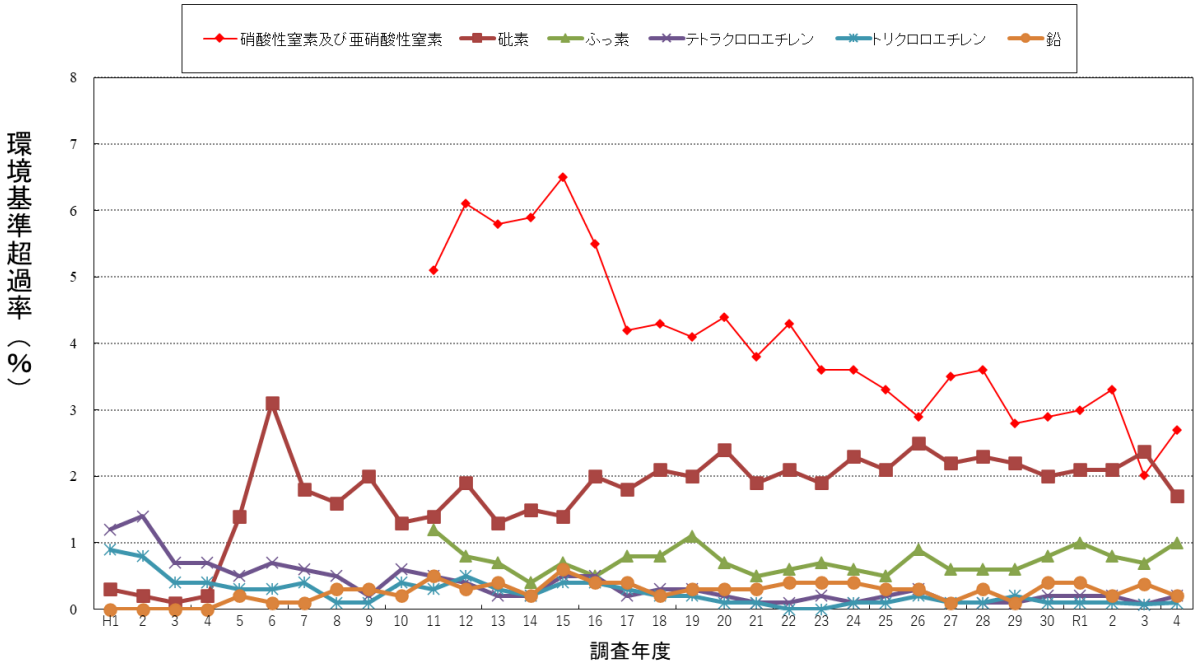
注２：全体とは全調査井戸の結果で、全体の超過数とはいずれかの項目で環境基準超過があった井戸の数であり、
　　全体の超過率とは全調査井戸の数に対するいずれかの項目で環境基準超過があった井戸の数の割合である。

## 表４　継続監視調査の結果

| 調査区分 / 項　目 | 継続監視調査結果 | | | | | （参考）令和３年度 継続監視調査結果 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 調査数（本） | 検出数（本） | 検出率（%） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） |
| カドミウム | 33 | 5 | 15.2 | 0 | 0.0 | 56 | 2 | 3.6 |
| 全シアン | 37 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 39 | 0 | 0.0 |
| 鉛 | 156 | 37 | 23.7 | 17 | 10.9 | 179 | 15 | 8.4 |
| 六価クロム | 117 | 18 | 15.4 | 21 | 17.9 | 130 | 23 | 17.7 |
| 砒素 | 607 | 121 | 19.9 | 363 | 59.8 | 632 | 390 | 61.7 |
| 総水銀 | 78 | 4 | 5.1 | 21 | 26.9 | 70 | 17 | 24.3 |
| アルキル水銀 | 16 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 18 | 0 | 0.0 |
| PCB | 17 | 4 | 23.5 | 0 | 0.0 | 19 | 0 | 0.0 |
| ジクロロメタン | 319 | 4 | 1.3 | 0 | 0.0 | 329 | 0 | 0.0 |
| 四塩化炭素 | 418 | 18 | 4.3 | 13 | 3.1 | 441 | 14 | 3.2 |
| クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー） | 1,290 | 85 | 6.6 | 83 | 6.4 | 1,321 | 85 | 6.4 |
| 1,2-ジクロロエタン | 437 | 14 | 3.2 | 0 | 0.0 | 442 | 2 | 0.5 |
| 1,1-ジクロロエチレン | 1,350 | 67 | 5.0 | 2 | 0.1 | 1,421 | 1 | 0.1 |
| 1,2-ジクロロエチレン | 1,413 | 278 | 19.7 | 95 | 6.7 | 1,486 | 101 | 6.8 |
| 1,1,1-トリクロロエタン | 854 | 47 | 5.5 | 0 | 0.0 | 906 | 0 | 0.0 |
| 1,1,2-トリクロロエタン | 449 | 4 | 0.9 | 0 | 0.0 | 456 | 0 | 0.0 |
| トリクロロエチレン | 1,525 | 341 | 22.4 | 164 | 10.8 | 1,605 | 169 | 10.5 |
| テトラクロロエチレン | 1,459 | 451 | 30.9 | 265 | 18.2 | 1,539 | 281 | 18.3 |
| 1,3-ジクロロプロペン | 136 | 2 | 1.5 | 0 | 0.0 | 149 | 0 | 0.0 |
| チウラム | 8 | 4 | 50.0 | 0 | 0.0 | 8 | 0 | 0.0 |
| シマジン | 8 | 4 | 50.0 | 0 | 0.0 | 8 | 0 | 0.0 |
| チオベンカルブ | 8 | 4 | 50.0 | 0 | 0.0 | 8 | 0 | 0.0 |
| ベンゼン | 217 | 10 | 4.6 | 3 | 1.4 | 221 | 3 | 1.4 |
| セレン | 26 | 5 | 19.2 | 1 | 3.8 | 46 | 1 | 2.2 |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 1,437 | 823 | 57.3 | 585 | 40.7 | 1,484 | 582 | 39.2 |
| ふっ素 | 399 | 158 | 39.6 | 169 | 42.4 | 419 | 171 | 40.8 |
| ほう素 | 165 | 93 | 56.4 | 47 | 28.5 | 184 | 48 | 26.1 |
| 1,4-ジオキサン | 76 | 8 | 10.5 | 8 | 10.5 | 76 | 6 | 7.9 |
| 全体 | 3,942 | 2,000 | 50.7 | 1,636 | 41.5 | 4,045 | 1,690 | 41.8 |

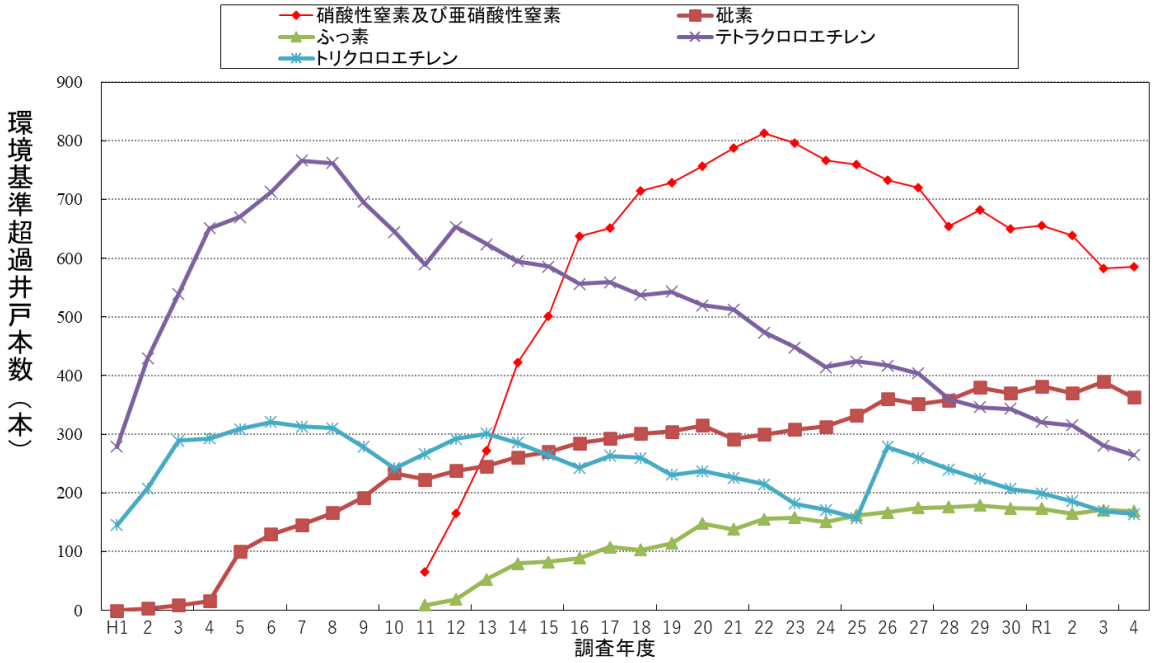
注１：検出数とは各項目の物質を検出した井戸の数であり、検出率とは調査数に対する検出数の割合である。
超過数とは環境基準を超過した井戸の数であり、超過率とは調査数に対する超過数の割合である。
環境基準超過の評価は年間平均値による。ただし、全シアンについては最高値とする。

注２：全体とは全調査井戸の結果で、全体の超過数とはいずれかの項目で環境基準超過があった井戸の数であり、
全体の超過率とは全調査井戸の数に対するいずれかの項目で環境基準超過があった井戸の数の割合である。




注１：概況調査における測定井戸は、年度ごとに異なる。（同一の井戸で毎年度測定を行っているわけではない。）
注２：地下水の水質汚濁に係る環境基準は、平成９年に設定されたものであり、それ以前の基準は評価基準とされていた。なお、平成５年に砒素の評価基準は「0.05mg/L以下」から「0.01mg/L以下」に、鉛の評価基準は「0.1mg/L以下」から「0.01mg/L以下」に改定された。また、平成26年にトリクロロエチレンの環境基準は「0.03mg/L以下」から「0.01mg/L以下」に改定された。
注３：硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素は、平成11年に環境基準項目に追加された。

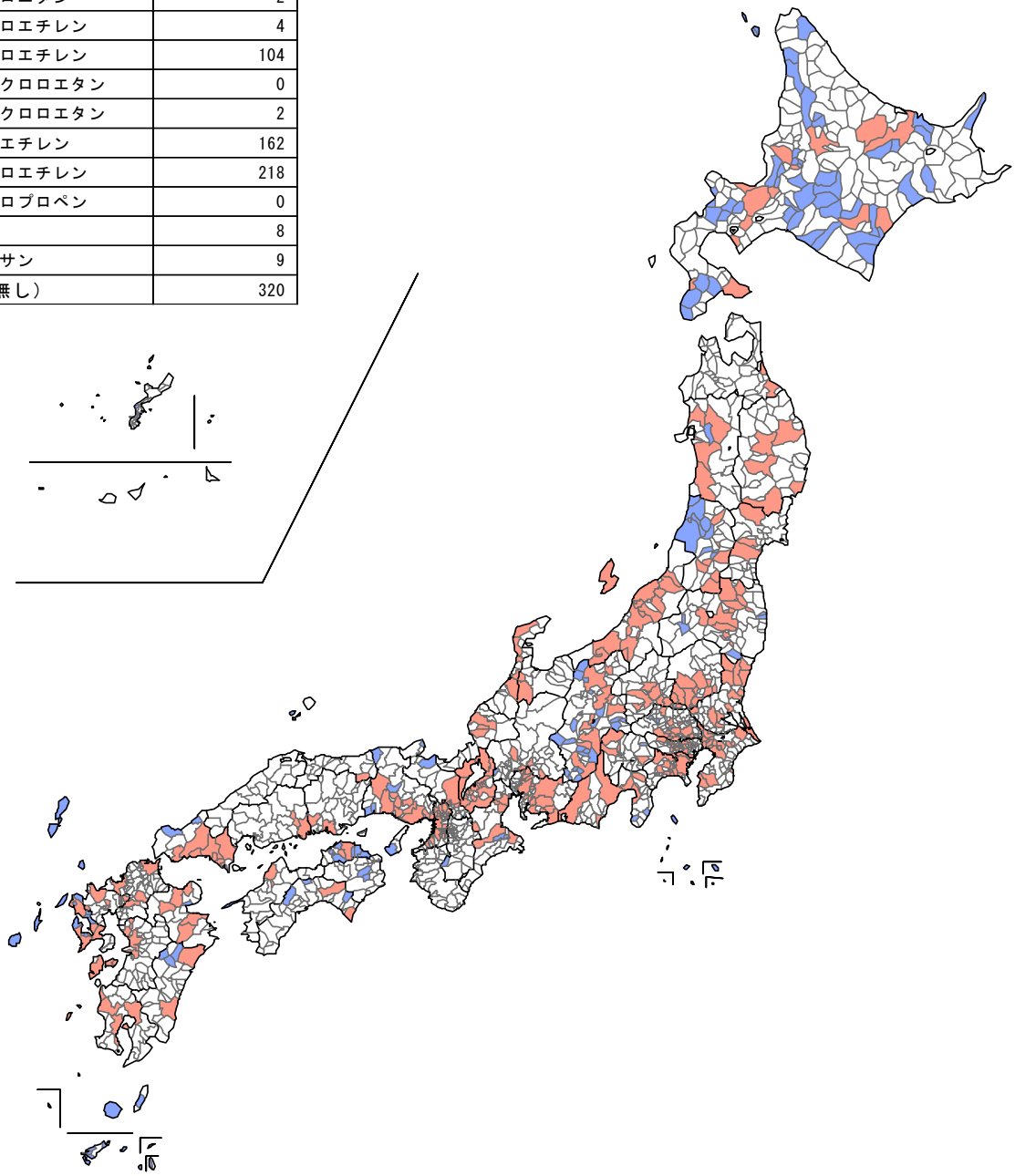
**図２　概況調査における環境基準超過率の推移**




注１：地下水の水質汚濁に係る環境基準は、平成９年に設定されたものであり、それ以前の基準は評価基準とされていた。なお、平成５年に、砒素の評価基準は「0.05mg/L以下」から「0.01mg/L以下」に改定された。また、平成26年にトリクロロエチレンの環境基準は「0.03mg/L以下」から「0.01mg/L以下」に改定された。
注２：硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素は、平成11年に環境基準項目に追加された。

**図３　継続監視調査における環境基準超過井戸本数の推移**

| 項目 | 超過井戸有りの自治体数 |
|---|---|
| ジクロロメタン | 0 |
| 四塩化炭素 | 18 |
| クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー） | 86 |
| 1,2-ジクロロエタン | 2 |
| 1,1-ジクロロエチレン | 4 |
| 1,2-ジクロロエチレン | 104 |
| 1,1,1-トリクロロエタン | 0 |
| 1,1,2-トリクロロエタン | 2 |
| トリクロロエチレン | 162 |
| テトラクロロエチレン | 218 |
| 1,3-ジクロロプロペン | 0 |
| ベンゼン | 8 |
| 1,4-ジオキサン | 9 |
| 計（重複無し） | 320 |



（注）超過井戸の存在状況を市区町村単位で色付けしたものであり、地下水汚染の範囲を示すものではない。

調査井戸無し

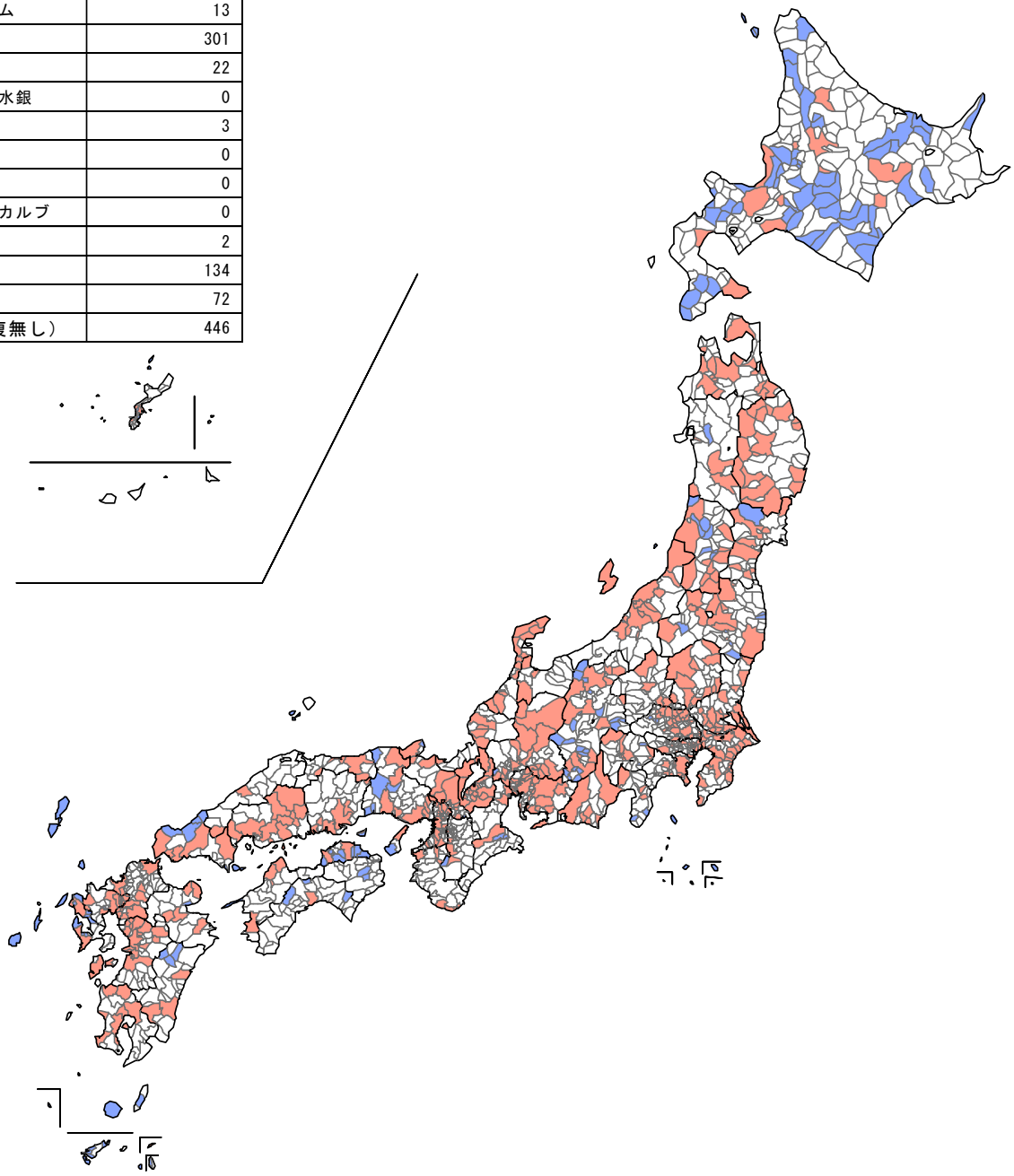
超過井戸無し

超過井戸有り

（平成 30～令和４年度の全調査区分における超過井戸の有無）

**図４　環境基準超過井戸が存在する市区町村図（揮発性有機化合物）**

| 項目 | 超過井戸有りの自治体数 |
|---|---|
| カドミウム | 5 |
| 全シアン | 0 |
| 鉛 | 62 |
| 六価クロム | 13 |
| 砒素 | 301 |
| 総水銀 | 22 |
| アルキル水銀 | 0 |
| PCB | 3 |
| チウラム | 0 |
| シマジン | 0 |
| チオベンカルブ | 0 |
| セレン | 2 |
| ふっ素 | 134 |
| ほう素 | 72 |
| 計（重複無し） | 446 |



（注）超過井戸の存在状況を市区町村単位で色付けしたものであり、地下水汚染の範囲を示すものではない。

調査井戸無し

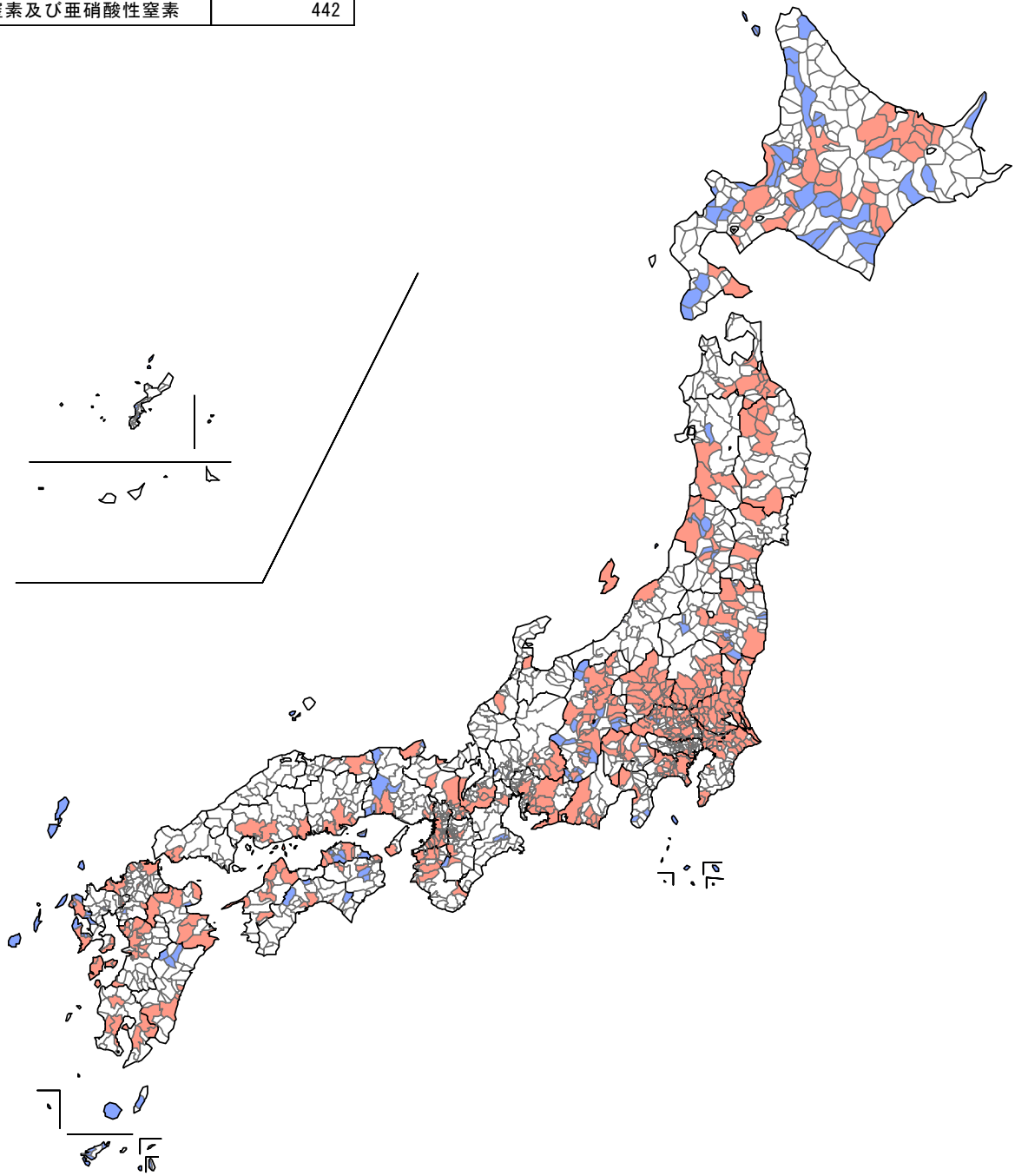
超過井戸無し

超過井戸有り

（平成 30～令和４年度の全調査区分における超過井戸の有無）

**図５　環境基準超過井戸が存在する市区町村図（重金属等）**

| 項目 | 超過井戸有りの自治体数 |
|---|---|
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 442 |



（注）超過井戸の存在状況を市区町村単位で色付けしたものであり、地下水汚染の範囲を示すものではない。

調査井戸無し

超過井戸無し

超過井戸有り

（平成 30～令和４年度の全調査区分における超過井戸の有無）

**図６　環境基準超過井戸が存在する市区町村図（硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素）**

## 参考資料１　地下水の水質汚濁に係る環境基準

環境基本法第 16 条に基づく、地下水の水質汚濁に係る環境基準は、「地下水の水質汚濁に係る環境基準について」（平成９年環告 10 号、最新改定：令和３年環告 63 号）で下表のとおり定められている。

**表　地下水の水質汚濁に係る環境基準項目及び基準値（令和４年度末時点）**

| 項　　目 | 基　準　値 | 備　　考 |
|---|---|---|
| カドミウム | 0.003　mg/L 以下 | 平成23年10月基準値変更 |
| 全シアン | 検出されないこと | |
| 鉛 | 0.01　mg/L 以下 | |
| 六価クロム | 0.02　mg/L 以下 | 令和4年4月基準値変更 |
| 砒素 | 0.01　mg/L 以下 | |
| 総水銀 | 0.0005 mg/L 以下 | |
| アルキル水銀 | 検出されないこと | |
| PCB | 検出されないこと | |
| ジクロロメタン | 0.02　mg/L 以下 | |
| 四塩化炭素 | 0.002　mg/L 以下 | |
| クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー） | 0.002　mg/L 以下 | 平成21年11月追加 |
| 1,2-ジクロロエタン | 0.004　mg/L 以下 | |
| 1,1-ジクロロエチレン | 0.1　mg/L 以下 | 平成21年11月基準値変更 |
| 1,2-ジクロロエチレン | 0.04　mg/L 以下 | 平成21年11月追加 |
| 1,1,1-トリクロロエタン | 1　mg/L 以下 | |
| 1,1,2-トリクロロエタン | 0.006　mg/L 以下 | |
| トリクロロエチレン | 0.01　mg/L 以下 | 平成26年11月基準値変更 |
| テトラクロロエチレン | 0.01　mg/L 以下 | |
| 1,3-ジクロロプロペン | 0.002　mg/L 以下 | |
| チウラム | 0.006　mg/L 以下 | |
| シマジン | 0.003　mg/L 以下 | |
| チオベンカルブ | 0.02　mg/L 以下 | |
| ベンゼン | 0.01　mg/L 以下 | |
| セレン | 0.01　mg/L 以下 | |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 10　mg/L 以下 | 平成11年２月追加 |
| ふっ素 | 0.8　mg/L 以下 | 〃 |
| ほう素 | 1　mg/L 以下 | 〃 |
| 1,4-ジオキサン | 0.05　mg/L 以下 | 平成21年11月追加 |

(備考)

1. 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。

2. 「検出されないこと」とは、別に定める方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。

3. 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、日本産業規格K0102の43.2.1、43.2.3、43.2.5又は43.2.6により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じたものと日本産業規格K0102の43.1により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。

4. 1,2-ジクロロエチレンの濃度は、日本産業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2により測定されたシス体の濃度と日本産業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1により測定されたトランス体の濃度の和とする。

## 参考資料２　地下水の水質保全に係る施策体系と環境省のこれまでの主な取組

### １. 水質汚濁防止法に基づく規制など

#### （1）地下浸透規制

水質汚濁防止法第 12 条の３に基づき、有害物質使用特定事業場から水を排出する者（特定地下浸透水を浸透させる者を含む。）の特定地下浸透水の浸透を制限。

なお、水質汚濁防止法第８条第１項に基づく特定地下浸透水が有害物質を含むものとして環境省令で定める要件は、水質汚濁防止法施行規則第６条の２により 29 項目の要件を規定。

#### （2）都道府県による常時監視

都道府県知事は測定計画に基づいて地下水の水質汚濁の状況を常時監視し、その結果を公表。（水質汚濁防止法第 15 条第１項及び第２項、16 条、17 条第１項）

#### （3）事故時の措置

特定事業場、指定事業場、貯油事業場等において汚水の流出事故が発生し、地下に浸透すること等により人の健康や生活環境に係る被害が生ずるおそれがある場合に、事業者に対して応急措置の実施及び都道府県知事への届出を義務付け。（水質汚濁防止法第 14 条の２）

#### （4）浄化措置命令

水質汚濁防止法第 14 条の３の規定に基づき、特定事業場又は有害物質貯蔵指定事業場において有害物質を含む水の地下への浸透があったことにより、現に人の健康被害が生じ、または生ずるおそれのある場合、都道府県知事は特定事業場等の設置者に対して浄化措置をとることを命ずることができる。浄化基準は、水質汚濁防止法施行規則第９条の３により 29 項目を規定。

#### （5）構造等に関する基準の遵守義務

有害物質使用特定施設、有害物質貯蔵指定施設における構造等に関する基準の遵守、定期点検の実施等を義務付け。（水質汚濁防止法第 12 条の４、第 14 条第５項等）

#### （6）放射性物質による水質汚濁の状況の常時監視

東京電力福島第一原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染が発生したことを契機に、環境基本法が改正され、放射性物質による環境汚染の防止のための措置に関する適用除外が削除された。

これを踏まえ、平成 25 年６月、水質汚濁防止法が改正され、国民の健康及び生活環境の保全の観点から環境大臣が放射性物質による公共用水域及び地下水の水質の汚濁の状況を常時監視と、その状況の公表を義務付け。（水質汚濁防止法第 15 条の３）

### ２. 環境省における地下水の水質保全に係る主な取組と経緯

#### （1）平成 24 年の水質汚濁防止法の改正等

平成元年の水質汚濁防止法の改正により有害物質の地下浸透規制等に関する規定を整備するなど、地下水質の保全を推進してきた。しかし、工場・事業場が原因と推定される有害物質による地下水汚染事例が毎年継続的に確認されたこと等から、こうした地下水汚染を未然に防止するため、「水質汚

濁防止法の一部を改正する法律」（以下「改正法」という。）が、平成 23 年６月 22 日に公布され、平成 24 年６月１日に施行された。その際、既設の施設については、改正法施行後３年間は構造等に関する基準の適用が猶予されていたが、平成 27 年５月末日をもって、猶予期間が終了した。

改正法においては、有害物質を貯蔵する施設等を届出の対象に追加するとともに、有害物質を使用、貯蔵等する設置者に対し、有害物質の地下浸透防止のための施設の構造、設備及び使用の方法に関する基準の遵守、定期点検の実施、結果の記録及び保存を義務付ける規定等が新たに設けられた。

改正法の円滑な施行を図るため、環境省では平成 24 年６月に構造等に関する基準や定期点検に係る事項の解説等を盛り込んだ運用のためのマニュアルを、策定（平成 25 年６月改定）し、平成 27 年３月には、地下水汚染未然防止のための管理要領等策定の手引きを策定するとともに、管理要領や点検記録表について、作成例を策定し、環境省ホームページにて公開している。

その後、改正法の附則に基づき改正後５年経過の見直しを実施したところ、①改正法施行前に届出対象ではなかった有害物質使用特定施設等を都道府県等が把握可能となったこと、②有害物質使用特定施設等における構造基準等及び定期点検の記録等の遵守については、立入検査時の行政指導により概ね改善が見られていること、③一方で行政指導後も未改善のままの事業場や改善指導中の事業場が一定数確認されていること等が明らかになった。平成 30 年８月に、これらの検証結果について、中央環境審議会水環境部会に報告をするとともに、同月、国民の健康の保護及び生活環境の保全を目的とする水質汚濁防止法の着実な施行に努める旨を内容とする通知を都道府県等に発出した。

### （2）地下浸透規制のあり方の検討（平成 27～30 年度）

平成 23 年 10 月にカドミウム、平成 26 年 11 月にトリクロロエチレンの地下水の水質汚濁に係る環境基準がそれぞれ変更された。これらの変更を受け、地下浸透水の浸透等の規制に係る許容限度等の見直しについて取りまとめられた中央環境審議会の答申では、地下浸透基準を据え置くこととした上で、地下における有害物質の挙動は物質によって大きく異なる可能性があること、測定分析技術は常に進歩していること等を踏まえ、従来の地下浸透基準の設定方法の妥当性について検証が必要であること、さらにその際には、暫定的に据え置いたカドミウム及びトリクロロエチレンの地下浸透基準についても合わせて精査すべきである、とされた。

このため、環境省では平成 27 年度からこれらの検証を行い、地下浸透基準が設定された後、地下水環境基準の設定や検定方法の改正等の状況に変化があったものの、地下浸透基準の設定方法は現在もなお妥当であり、暫定的に据え置かれたカドミウム及びトリクロロエチレンの地下浸透基準は、現行のとおりとすることが適当である、との結果を取りまとめ、平成 30 年８月に中央環境審議会水環境部会に報告した。

### （3）硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染対策（平成 10 年度～）

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が一定量以上含まれる水を摂取すると、乳児を中心に血液の酸素運搬能力が失われ酸欠になる疾患（メトヘモグロビン血症）を引き起こすことが知られている。硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染は、過剰な施肥、家畜排せつ物の不適正処理、生活排水の地下浸透等、汚染原因が多岐にわたり、また、汚染が広範囲に及ぶ場合が多い。

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素は、平成 11 年２月に環境基準項目に追加され、平成 11 年度より水質汚濁防止法に基づく常時監視が行われている。概況調査の環境基準超過率、継続監視調査の環境基準超過本数ともに全項目中最多であった。

環境省ではこれまで、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素対策として、地域の実情に応じた効果的な窒素

負荷低減対策を推進するためのマニュアルや事例集を作成している。また、平成 27 年度から、モデル地域における取組を推進するための支援を新たに開始し、地域の関係者間の合意形成を図るために活用することを目的とした地下水質シミュレーションモデルの構築に向けた検証、改良を行い、予測精度の向上を図り、その成果を踏まえ、令和３年３月、地域における取組の推進を行うための指針となる「硝酸性窒素等地域総合対策ガイドライン」を公表した。

### 3. 指針・ガイドライン等の策定（参照；http://www.env.go.jp/water/chikasui_jiban.html）

#### （1）土壌・地下水汚染に係る調査・対策指針（平成 11 年1月）

土壌・地下水汚染について、調査から対策までの手法を示した指針を策定。

#### （2）硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素に係る水質汚染対策マニュアル（平成 13 年7月）

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染が常時監視等により判明した場合に、都道府県等が汚染原因の把握や負荷低減対策等を実施する際の調査内容、留意点等を示したマニュアルを策定。

#### （3）硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素に係る土壌管理指針（平成 13 年7月）

施肥対策を含めた土壌管理の進め方の手法を示した指針を農林水産省とともに策定。

#### （4）揮発性有機化合物等による地下水汚染対策に関するパンフレットの作成（平成 16 年7月）

汚染された地下水を経済的・効率的に浄化する技術の開発・普及を図るため、環境省がこれまで実施してきた地下水浄化技術に関する実証調査の結果を基に、各浄化技術の概要、適用条件、実証実験結果等を整理したパンフレット「地下水をきれいにするために」を作成。

#### （5）硝酸性窒素による地下水汚染対策事例集（平成 16 年7月）

地方公共団体等による地域の実情に応じた硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素対策を推進するため、先進的な地方公共団体の窒素負荷低減対策に関する取組事例等を紹介した事例集を作成。

#### （6）地下水質モニタリングの手引き（平成 20 年8月）

地下水質モニタリングの処理基準（参考資料３参照）等の解説を行うとともに、モニタリングの的確化、効率化に係る具体的な手法等について、とりまとめた。

#### （7）地下水汚染の未然防止のための構造と点検・管理に関するマニュアル（平成 25 年6月改定）

平成 24 年６月より施行された地下水汚染の未然防止のための制度について、制度の内容、対象となる施設、必要な手続き、制度の内容及びその具体的な対策等に関するマニュアルを策定。

#### （8）硝酸性窒素等による地下水汚染対策マニュアル（平成 28 年5月）

地域における硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染対策の推進を技術的に支援するためのマニュアルを策定。

#### （9）PFOS 及び PFOA に関する対応の手引き（令和2年6月）

公共用水域や地下水の PFOS 及び PFOA が目標値等を超えて検出が確認された場合等に、都道府県等において、ばく露防止の取組や追加調査等を実施する際の参考となる手引きを策定。

（10）硝酸性窒素等地域総合対策ガイドライン（令和3年3月）

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染対策のため、地方公共団体等が現状を把握し、対策を立案し、取組を推進していくための手引きを策定。

（11）PFOS、PFOA に関するQ＆A集（令和5年7月）

PFAS のうち PFOS、PFOA について、現時点の科学的知見等に基づき、環境省が設置した「PFAS に対する総合戦略検討専門家会議」の監修の下で作成。

4．調査検討等（参照；http://www.env.go.jp/water/chikasui_jiban.html）

（1）硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染対策

①硝酸性窒素浄化技術開発普及等調査の実施（平成 16 年度～平成 21 年度）

浄化技術について、実際の汚染地域において実証調査を実施し、技術の有効性・経済性・適用条件等を評価し、面的に広がりのある硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染を効果的に浄化するための手法を確立する調査を実施。啓発用パンフレット「未来へつなごう私たちの地下水－気づいていますか？硝酸性窒素汚染－」及び実証調査等に係る浄化技術についてとりまとめた「硝酸性窒素による地下水汚染対策手法技術集」を作成。

②硝酸性窒素総合対策モデル事業の実施（平成 17 年度～平成 19 年度）

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染が認められる地域において、汚染原因の把握、地域の実情に応じた実行可能な硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素対策の立案・実施、対策の効果の定量的な予測・評価に必要となる調査を実施し、総合的な対策の実施を支援する事業を実施。

③硝酸性窒素負荷低減等対策の検討（平成 21 年度～平成 26 年度）

窒素負荷低減のための実効性ある対策促進策等を検討。また、平成 26 年度には、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素対策に積極的に取り組む地域を対象とし、地域の課題や要望に応じて、その取組を技術的及び経済的に支援する「地下水保全のための硝酸性窒素等地域総合対策制度」を構築。

④硝酸性窒素等地域総合対策の推進に関する調査検討（平成 27 年度～）

地域に応じた総合的な硝酸性窒素対策の推進を目的として、対策効果等の可視化を可能とする解析モデルや、地域の関係者間の合意形成を促進するためにとりまとめた「硝酸性窒素等地域総合対策ガイドライン」等を活用し、地域の硝酸性窒素等の汚染対策に必要な支援を実施している。

（2）有機フッ素化合物全国存在状況調査（令和元年度、2年度）

有機フッ素化合物について、水環境における全国的な存在状況を把握するため、令和元年度及び令和２年度に「有機フッ素化合物全国存在状況把握調査」を実施。本調査では、各都道府県の有機フッ素化合物の排出源となり得る施設（泡消火剤を保有・使用する施設、有機フッ素化合物の製造・使用の実績がある施設、廃棄物処理施設等）の周辺等を対象として、令和元年度は PFOS 及び PFOA、令和２年度には PFOS 及び PFOA に加えて PFHxS を測定した。

5．その他関連する取組

（1）「地下水保全」ガイドライン（及び事例集）～地下水保全の持続可能な地下水利用のために～」

平成 26 年７月に施行された水循環基本法の基本理念、水循環基本計画の基本方針や、地下水保全に先進的に取り組んでいる地方公共団体の動向等を踏まえ、現状の諸課題に対して健全な地下水環境の維持・回復を図るため、地下水・地盤環境保全に携わる地方公共団体等の環境部局を主な対象として、地域に見合った地下水環境保全施策を検討していく際に参考となる方策や情報を提供するため、「地下水保全」ガイドライン・事例集を平成 28 年４月に作成している。本ガイドライン等については、その後、水循環基本計画の改定等を踏まえ令和３年３月に改訂している。

## 参考資料３　地下水質測定における調査区分について

地下水質の調査方法については、「水質汚濁防止法の一部を改正する法律の施行について」（平成元年９月 14 日環境庁水質保全局長通知、最新改正：平成 20 年８月 13 日）別紙の「地下水質調査方法」によることを基本としており、このことは「環境基本法に基づく環境基準の水域類型の指定及び水質汚濁防止法に基づく常時監視等の処理基準について（平成 13 年５月 31 日水環境部長通知、最新改正：平成 27 年３月 31 日）」（以下、「処理基準」という。）としても定めている。処理基準に定められた調査地点等の考え方の部分について抜粋し、以下に示す。

なお、当該部分については平成 20 年８月に改正し、平成 21 年度からの地下水質測定において適用されている。

調査地点、項目、頻度等については、次によることとする。

①調査地点

ア．概況調査

利水的に重要な地域等において重点的に汚染の発見又は濃度の推移等を把握することを目的とした定点方式と、地下水汚染を発見するために地域をメッシュ等に分割し調査区域を選定して順次調査を行うローリング方式のいずれか又は両方の方式により調査する。ただし、汚染を発見するという観点からは、定点方式のみでは汚染を見落とす可能性があることに留意する。

（ア）定点方式

重点的に測定を実施する地域として、例えば以下の地域を選定する。効果的な監視を行うために、必要に応じて観測井を設置することも考慮する。

ア）地下水の利用状況等を勘案し、汚染による利水影響が大きいと考えられる地域

イ）有害物質を使用している工場・事業場等の立地状況及び農畜産業の状況等を勘案し、汚染の可能性が高い、または汚染予防の必要性が高い地域（判断の基礎情報として、土壌汚染の状況、廃棄物処分場跡地情報等も重視する。）

ウ）その他、重点的に測定を実施すべき地域

（イ）ローリング方式

ア）地下水汚染を発見するという観点から、平野部では人口密度や工場・事業場等の立地状況を勘案したうえでメッシュ等に分割し、測定地点が偏在しないよう分割した調査区域の中から毎年調査区域を選定して順次調査を行い、数年間で地域全体を調査する。

イ）メッシュの間隔は地域の特性などを考慮する必要があるが、市街地では１～２ｋｍ、その周辺地域では４～５ｋｍを目安とする。

ウ）調査区域内では、これまでの概況調査結果を参考に、未調査の井戸を優先して測定地点を選定する。地下水の汚染が鉛直方向に広がることに留意し、過去に測定を実施した地域については異なる帯水層の測定を優先的に実施する。

エ）必要に応じて観測井を設置することも考慮する。

オ）ローリング方式の一巡期間は４又は５年以内を目安とし、利水状況や汚染の可能性を考慮しつつ、一巡期間を適宜短縮又は延長することができる。

イ．汚染井戸周辺地区調査

（ア）調査範囲の設定に当たっては、帯水層の鉛直分布を考慮しつつ、汚染物質の種類、帯水層の構造、地下水の流向・流速等を勘案し、汚染が想定される範囲全体が含まれるようにする。

（イ）ただし、（ア）のような検討が困難な場合、まず汚染が発見された井戸から半径５００ｍ程度の範囲を調査し、地下水汚染の方向を確認する。調査範囲全体に汚染が見られる場合は、段階的に範囲を広げて調査する。

（ウ）地下水の流向がわかっている場合には、その方向に帯状に調査する。

（エ）汚染帯水層が判明している場合は、汚染帯水層にストレーナーがある井戸を調査する。なお、汚染が鉛直方向の帯水層にも移行している場合があるので、他の帯水層の測定を検討するもの

とする。

（オ）測定地点については、汚染による利水影響が大きいと考えられる井戸を重点的に調査する。飲用に供されている井戸については、特段の理由がない限り調査する。なお、調査範囲が広く、対象となる井戸が多い場合は、飲用井戸の調査を優先しつつ、区域を分け順次調査を行う。

（カ）既存の井戸を調査することが基本であるが、汚染範囲を的確に把握することが困難となるような大きな空白地区が生じる場合は、観測井を設置することも考慮する。

ウ．継続監視調査

（ア）汚染源の影響を最も受けやすい地点及びその下流側を含むことが望ましい。

（イ）より効果的な監視を行うために、必要に応じて観測井を設置することも考慮する。

（ウ）汚染範囲や地下水の流動状況に変化があったと想定される場合には測定地点の変更を検討するものとする。

②測定項目

地下水の水質調査は基本的に地下水の水質汚濁に係る環境基準項目について実施することとする。また、水質調査を実施する際には、井戸の地点名、位置、深度、浅井戸／深井戸の別、不圧／被圧帯水層の別、用途等の諸元についてできるだけ把握する。さらに、地下水の特性把握に必要な項目については適宜調査を行うものとする。

ア．概況調査

（ア）ローリング方式による調査においては、基本的に全ての環境基準項目について測定を実施する。

（イ）定点方式による調査において、利水影響が大きいと考えられる地域においては、基本的に全ての環境基準項目について測定を実施する。

（ウ）定点方式による調査において、土地利用等から判断して汚染の可能性がきわめて低い項目について、過去２ないし３回連続して定量下限値以下であった場合は、測定計画にその根拠を示した上で、一時的に測定項目から除外することとしてもよい。

（エ）定点方式による調査において、汚染の可能性が高い地域においては、汚染の可能性が高い項目と併せて、その分解生成物についても測定することが望ましい。

（オ）なお、アルキル水銀については、総水銀が検出された場合のみ測定することとしてもよい。

イ．汚染井戸周辺地区調査

測定項目にその根拠を示した上で、周辺で汚染が判明している項目、汚染の可能性の高い項目及びそれらの分解生成物に限定して測定することとしてもよい。

ウ．継続監視調査

（ア）測定項目にその根拠を示した上で、周辺で汚染が判明している項目、汚染の可能性の高い項目及びそれらの分解生成物に限定して測定することとしてもよい。

（イ）汚染項目、地質や地下水流動の状況等から総合的に判断し、自然的要因による汚染と判断される場合には、飲用指導等が確実に実施されていることを条件に、測定項目から除外することとしてもよい。

③測定頻度

ア．概況調査

（ア）年次計画を立てて実施する場合は、当該年度の対象井戸については、年１回以上実施することとする。なお、季節的な変動を考慮することが望ましい。

（イ）定点方式については、地下水の流動、利水状況及び汚染物質の使用状況等を考慮して、測定計画に根拠等を示した上で、測定頻度を減らすことができる。

イ．汚染井戸周辺地区調査

（ア）汚染発見後、できるだけ早急に実施することとする。１地区の調査は、降雨等の影響を避け、

できるだけ短期間に行うことが望ましい。

（イ）地下水の流動状況に変化があったと想定される場合には、再度汚染井戸周辺地区調査を実施することが望ましい。

ウ．継続監視調査

（ア）対象井戸について、年１回以上実施することとし、調査時期は毎年同じ時期に設定することとする。なお、季節的な変動を考慮することが望ましい。

（イ）地下水を飲用に用いていない地域や汚染項目の濃度変動が小さい場合など、測定計画に具体的に根拠を示した上で、複数年に１回の測定とすることができる。

（ウ）汚染項目、地質や地下水流動の状況等から総合的に判断し、自然的原因による汚染と判断される場合には、飲用指導等が確実に実施されていることを条件に、複数年に１回の測定とする、または、継続監視調査を終了することができる。

（エ）汚染源における浄化対策の実施等により継続監視調査を終了する場合には、測定地点で一定期間連続して環境基準を満たし、その上で、汚染範囲内で再度汚染井戸周辺地区調査を行い全ての地点が環境基準以下であることを確認することとする。

④その他

地域の井戸の設置状況、地下水の利用状況、地下水の流れ、過去から現在にかけての土地利用や有害物質の使用状況等については、適宜調査を実施し、水質調査に当たって必要な状況を把握しておくことが望ましい。

## 参考資料４　都道府県別調査実施状況

| 都道府県名 | | 令和4年度　調査井戸数 | | | 令和3年度　調査井戸数 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 概況調査 | 汚染井戸周辺地区調査 | 継続監視調査 | 概況調査 | 汚染井戸周辺地区調査 | 継続監視調査 |
| 北海道・東北 | 北海道 | 86 | 23 | 199 | 88 | 18 | 196 |
| | 青　森 | 19 | 43 | 91 | 19 | 15 | 108 |
| | 岩　手 | 66 | 16 | 66 | 64 | 8 | 62 |
| | 宮　城 | 22 | 22 | 31 | 19 | 0 | 32 |
| | 秋　田 | 41 | 0 | 28 | 41 | 1 | 27 |
| | 山　形 | 37 | 2 | 39 | 38 | 39 | 33 |
| | 福　島 | 57 | 29 | 235 | 59 | 114 | 223 |
| 関東 | 茨　城 | 58 | 102 | 400 | 87 | 146 | 399 |
| | 栃　木 | 43 | 0 | 192 | 137 | 0 | 190 |
| | 群　馬 | 152 | 4 | 45 | 151 | 9 | 55 |
| | 埼　玉 | 85 | 14 | 170 | 85 | 19 | 178 |
| | 千　葉 | 183 | 49 | 128 | 183 | 56 | 134 |
| | 東　京 | 65 | 14 | 88 | 65 | 11 | 81 |
| | 神奈川 | 155 | 19 | 80 | 185 | 7 | 100 |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 33 | 51 | 61 | 35 | 65 | 79 |
| | 富　山 | 76 | 0 | 9 | 76 | 0 | 9 |
| | 石　川 | 75 | 3 | 126 | 75 | 49 | 125 |
| | 福　井 | 30 | 4 | 68 | 30 | 0 | 70 |
| | 山　梨 | 52 | 3 | 36 | 54 | 0 | 37 |
| | 長　野 | 44 | 12 | 100 | 55 | 13 | 111 |
| | 岐　阜 | 69 | 2 | 67 | 74 | 12 | 66 |
| | 静　岡 | 45 | 23 | 126 | 38 | 27 | 127 |
| | 愛　知 | 107 | 74 | 247 | 108 | 37 | 240 |
| 近畿 | 三　重 | 26 | 0 | 8 | 26 | 0 | 8 |
| | 滋　賀 | 66 | 48 | 127 | 59 | 4 | 140 |
| | 京　都 | 28 | 7 | 53 | 28 | 8 | 57 |
| | 大　阪 | 65 | 16 | 109 | 68 | 36 | 114 |
| | 兵　庫 | 98 | 0 | 97 | 90 | 2 | 98 |
| | 奈　良 | 39 | 17 | 6 | 38 | 0 | 6 |
| | 和歌山 | 65 | 0 | 16 | 65 | 0 | 15 |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 12 | 0 | 46 | 11 | 0 | 53 |
| | 島　根 | 9 | 1 | 0 | 9 | 0 | 0 |
| | 岡　山 | 31 | 0 | 3 | 31 | 0 | 4 |
| | 広　島 | 35 | 4 | 13 | 35 | 1 | 13 |
| | 山　口 | 105 | 0 | 59 | 106 | 2 | 60 |
| | 徳　島 | 39 | 0 | 4 | 38 | 0 | 4 |
| | 香　川 | 14 | 0 | 29 | 15 | 0 | 30 |
| | 愛　媛 | 19 | 0 | 62 | 19 | 7 | 64 |
| | 高　知 | 26 | 0 | 17 | 28 | 0 | 17 |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 101 | 16 | 62 | 105 | 13 | 64 |
| | 佐　賀 | 43 | 80 | 58 | 39 | 53 | 55 |
| | 長　崎 | 30 | 17 | 31 | 30 | 18 | 33 |
| | 熊　本 | 166 | 5 | 371 | 172 | 0 | 375 |
| | 大　分 | 46 | 0 | 26 | 46 | 0 | 29 |
| | 宮　崎 | 78 | 0 | 47 | 78 | 0 | 48 |
| | 鹿児島 | 81 | 0 | 56 | 86 | 21 | 66 |
| | 沖　縄 | 8 | 0 | 10 | 7 | 0 | 10 |
| 全体（全国計） | | 2,830 | 720 | 3,942 | 2,995 | 811 | 4,045 |

## 参考資料５　項目別・都道府県別調査結果

本資料は、概況調査において超過率が比較的高い項目について、都道府県別の概況調査、汚染井戸周辺地区調査、継続監視調査結果を示すものである。

超過数とは、測定当時の基準を超過した井戸の数であり、超過率とは、調査数に対する超過数の割合である。

地下水の水質汚濁に係る環境基準は、平成９年に設定されたものであり、それ以前の基準は、評価基準あるいは暫定指導指針とされていた。

平成 21 年度から定期モニタリング調査は継続監視調査へ調査区分が変更されている。

### （１）都道府県別調査結果（硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素）

| 都道府県名 | | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区調査 | | 継続監視調査 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） |
| 北海道・東北 | 北海道 | 63 | 1 | 1.6 | 2 | 1 | 91 | 37 |
| | 青　森 | 19 | 1 | 5.3 | 16 | 4 | 29 | 15 |
| | 岩　手 | 66 | 0 | 0.0 | － | － | 11 | 6 |
| | 宮　城 | 22 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 8 | 5 |
| | 秋　田 | 41 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 1 |
| | 山　形 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | 11 | 4 |
| | 福　島 | 32 | 2 | 6.3 | 5 | 0 | 33 | 12 |
| 関東 | 茨　城 | 58 | 4 | 6.9 | 29 | 8 | 249 | 146 |
| | 栃　木 | 43 | 1 | 2.3 | － | － | 76 | 38 |
| | 群　馬 | 152 | 21 | 13.8 | － | － | 21 | 13 |
| | 埼　玉 | 85 | 4 | 4.7 | 14 | 2 | 115 | 50 |
| | 千　葉 | 183 | 17 | 9.3 | 19 | 9 | 18 | 14 |
| | 東　京 | 65 | 1 | 1.5 | 5 | 0 | 21 | 15 |
| | 神奈川 | 155 | 2 | 1.3 | 2 | 1 | 55 | 35 |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 33 | 0 | 0.0 | 6 | 0 | 9 | 2 |
| | 富　山 | 76 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 0 |
| | 石　川 | 75 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 1 |
| | 福　井 | 30 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 1 |
| | 山　梨 | 41 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 17 | 5 |
| | 長　野 | 44 | 1 | 2.3 | － | － | 47 | 14 |
| | 岐　阜 | 69 | 1 | 1.4 | 2 | 0 | 9 | 4 |
| | 静　岡 | 42 | 1 | 2.4 | － | － | 48 | 15 |
| | 愛　知 | 107 | 2 | 1.9 | 11 | 6 | 54 | 25 |
| 近畿 | 三　重 | 26 | 1 | 3.8 | － | － | 2 | 0 |
| | 滋　賀 | 58 | 1 | 1.7 | 9 | 0 | 4 | 1 |
| | 京　都 | 28 | 0 | 0.0 | 4 | 1 | 10 | 4 |
| | 大　阪 | 65 | 1 | 1.5 | 2 | 0 | 19 | 4 |
| | 兵　庫 | 96 | 0 | 0.0 | － | － | 13 | 5 |
| | 奈　良 | 39 | 1 | 2.6 | 17 | 1 | 4 | 3 |
| | 和歌山 | 65 | 1 | 1.5 | － | － | 11 | 3 |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 12 | 0 | 0.0 | － | － | 8 | 3 |
| | 島　根 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 岡　山 | 31 | 2 | 6.5 | － | － | － | － |
| | 広　島 | 35 | 0 | 0.0 | － | － | 9 | 0 |
| | 山　口 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | 6 | 0 |
| | 徳　島 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 3 |
| | 香　川 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | 18 | 3 |
| | 愛　媛 | 19 | 1 | 5.3 | － | － | 48 | 9 |
| | 高　知 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 1 |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 83 | 3 | 3.6 | 8 | 0 | 12 | 3 |
| | 佐　賀 | 40 | 0 | 0.0 | － | － | 5 | 1 |
| | 長　崎 | 30 | 0 | 0.0 | 17 | 0 | 28 | 8 |
| | 熊　本 | 166 | 1 | 0.6 | － | － | 211 | 65 |
| | 大　分 | 46 | 0 | 0.0 | － | － | 19 | 7 |
| | 宮　崎 | 52 | 0 | 0.0 | － | － | 17 | 3 |
| | 鹿児島 | 76 | 0 | 0.0 | － | － | 44 | 1 |
| | 沖　縄 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 全体（全国計） | | 2,613 | 71 | 2.7 | 172 | 33 | 1,437 | 585 |

## （２）都道府県別調査結果（砒素）

| 都道府県名 | | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区調査 | | 継続監視調査 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） |
| 北海道・東北 | 北海道 | 83 | 2 | 2.4 | 3 | 2 | 56 | 28 |
| | 青　森 | 19 | 0 | 0.0 | 17 | 0 | 25 | 11 |
| | 岩　手 | 66 | 0 | 0.0 | 12 | 1 | 23 | 14 |
| | 宮　城 | 22 | 1 | 4.5 | － | － | 14 | 10 |
| | 秋　田 | 41 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 1 |
| | 山　形 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | 13 | 12 |
| | 福　島 | 32 | 0 | 0.0 | 8 | 0 | 20 | 6 |
| 関東 | 茨　城 | 58 | 1 | 1.7 | 55 | 6 | 73 | 65 |
| | 栃　木 | 43 | 0 | 0.0 | － | － | 17 | 4 |
| | 群　馬 | 152 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 埼　玉 | 85 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 6 |
| | 千　葉 | 183 | 5 | 2.7 | 5 | 2 | 19 | 19 |
| | 東　京 | 65 | 1 | 1.5 | 3 | 0 | 12 | 10 |
| | 神奈川 | 155 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 1 |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 33 | 4 | 12.1 | 9 | 2 | 9 | 6 |
| | 富　山 | 76 | 1 | 1.3 | － | － | － | － |
| | 石　川 | 75 | 0 | 0.0 | － | － | 34 | 29 |
| | 福　井 | 30 | 0 | 0.0 | － | － | 13 | 7 |
| | 山　梨 | 42 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 4 |
| | 長　野 | 44 | 1 | 2.3 | 2 | 0 | 4 | 3 |
| | 岐　阜 | 69 | 1 | 1.4 | － | － | 13 | 13 |
| | 静　岡 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | 21 | 7 |
| | 愛　知 | 107 | 6 | 5.6 | 9 | 1 | 30 | 14 |
| 近畿 | 三　重 | 26 | 1 | 3.8 | － | － | 2 | 1 |
| | 滋　賀 | 53 | 0 | 0.0 | 11 | 3 | 7 | 3 |
| | 京　都 | 28 | 0 | 0.0 | － | － | 11 | 5 |
| | 大　阪 | 64 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 16 | 9 |
| | 兵　庫 | 93 | 0 | 0.0 | － | － | 31 | 14 |
| | 奈　良 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 1 |
| | 和歌山 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 2 |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 12 | 1 | 8.3 | － | － | 11 | 4 |
| | 島　根 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 岡　山 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 広　島 | 35 | 0 | 0.0 | － | － | 9 | 0 |
| | 山　口 | 10 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 2 |
| | 徳　島 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 香　川 | 7 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 愛　媛 | 19 | 0 | 0.0 | － | － | 6 | 1 |
| | 高　知 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 100 | 12 | 12.0 | 8 | 0 | 6 | 4 |
| | 佐　賀 | 32 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 1 |
| | 長　崎 | 30 | 0 | 0.0 | 12 | 0 | 5 | 1 |
| | 熊　本 | 77 | 4 | 5.2 | 5 | 1 | 49 | 26 |
| | 大　分 | 34 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 1 |
| | 宮　崎 | 49 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 4 |
| | 鹿児島 | 60 | 0 | 0.0 | － | － | 9 | 8 |
| | 沖　縄 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | 8 | 6 |
| 全体（全国計） | | 2,483 | 41 | 1.7 | 162 | 18 | 607 | 363 |

## （３）都道府県別調査結果（ふっ素）

| 都道府県名 | | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区調査 | | 継続監視調査 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） |
| 北海道・東北 | 北海道 | 54 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 2 |
| | 青　森 | 19 | 0 | 0.0 | － | － | 19 | 11 |
| | 岩　手 | 1 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 宮　城 | 22 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 1 |
| | 秋　田 | 41 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 1 |
| | 山　形 | 31 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 3 | 3 |
| | 福　島 | 37 | 0 | 0.0 | 2 | 2 | 56 | 16 |
| 関東 | 茨　城 | 58 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 3 | 3 |
| | 栃　木 | 43 | 0 | 0.0 | － | － | 14 | 4 |
| | 群　馬 | 150 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 埼　玉 | 85 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 1 |
| | 千　葉 | 183 | 1 | 0.5 | － | － | － | － |
| | 東　京 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 0 |
| | 神奈川 | 155 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 33 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 4 | 2 |
| | 富　山 | 76 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 石　川 | 75 | 0 | 0.0 | － | － | 8 | 6 |
| | 福　井 | 30 | 0 | 0.0 | 2 | 1 | － | － |
| | 山　梨 | 44 | 1 | 2.3 | 3 | 1 | 2 | 2 |
| | 長　野 | 44 | 1 | 2.3 | 2 | 0 | 6 | 3 |
| | 岐　阜 | 69 | 0 | 0.0 | － | － | 24 | 22 |
| | 静　岡 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 1 |
| | 愛　知 | 107 | 1 | 0.9 | 6 | 2 | 32 | 12 |
| 近畿 | 三　重 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 1 |
| | 滋　賀 | 53 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 0 |
| | 京　都 | 28 | 0 | 0.0 | － | － | 5 | 4 |
| | 大　阪 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | 12 | 5 |
| | 兵　庫 | 93 | 2 | 2.2 | － | － | 26 | 13 |
| | 奈　良 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 和歌山 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 12 | 1 | 8.3 | － | － | 13 | 5 |
| | 島　根 | 9 | 1 | 11.1 | 1 | 0 | － | － |
| | 岡　山 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 広　島 | 35 | 1 | 2.9 | 2 | 0 | 9 | 0 |
| | 山　口 | 24 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 徳　島 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 香　川 | 7 | 1 | 14.3 | － | － | 3 | 3 |
| | 愛　媛 | 19 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 高　知 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 81 | 2 | 2.5 | － | － | － | － |
| | 佐　賀 | 32 | 2 | 6.3 | 22 | 2 | 13 | 7 |
| | 長　崎 | 30 | 0 | 0.0 | 12 | 0 | 5 | 0 |
| | 熊　本 | 143 | 8 | 5.6 | － | － | 64 | 37 |
| | 大　分 | 43 | 0 | 0.0 | － | － | 24 | 1 |
| | 宮　崎 | 56 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 0 |
| | 鹿児島 | 60 | 2 | 3.3 | － | － | 27 | 3 |
| | 沖　縄 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 全体（全国計） | | 2,472 | 24 | 1.0 | 60 | 8 | 399 | 169 |

## （４）都道府県別調査結果（ほう素）

| 都道府県名 | | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区調査 | | 継続監視調査 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） |
| 北海道・東北 | 北海道 | 54 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 1 |
| | 青　森 | 19 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 3 |
| | 岩　手 | 1 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 2 |
| | 宮　城 | 22 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 1 |
| | 秋　田 | 41 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 山　形 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 1 |
| | 福　島 | 37 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 9 | 1 |
| 関東 | 茨　城 | 58 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | － | － |
| | 栃　木 | 43 | 0 | 0.0 | － | － | 12 | 3 |
| | 群　馬 | 100 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 埼　玉 | 85 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 1 |
| | 千　葉 | 183 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 1 |
| | 東　京 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 神奈川 | 155 | 1 | 0.6 | 2 | 1 | 1 | 0 |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 33 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 3 | 3 |
| | 富　山 | 76 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 石　川 | 75 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 1 |
| | 福　井 | 30 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 山　梨 | 41 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 1 |
| | 長　野 | 44 | 1 | 2.3 | 2 | 2 | 4 | 4 |
| | 岐　阜 | 69 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 2 |
| | 静　岡 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 0 |
| | 愛　知 | 107 | 0 | 0.0 | － | － | 18 | 3 |
| 近畿 | 三　重 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 滋　賀 | 53 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 1 |
| | 京　都 | 28 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 0 |
| | 大　阪 | 64 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 3 |
| | 兵　庫 | 96 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 1 |
| | 奈　良 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 0 |
| | 和歌山 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 12 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 2 |
| | 島　根 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 岡　山 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 広　島 | 35 | 0 | 0.0 | － | － | 9 | 0 |
| | 山　口 | 16 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 徳　島 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 香　川 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 1 |
| | 愛　媛 | 19 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 高　知 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 1 |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 80 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 佐　賀 | 32 | 1 | 3.1 | 4 | 0 | 11 | 6 |
| | 長　崎 | 30 | 0 | 0.0 | 12 | 0 | 5 | 1 |
| | 熊　本 | 77 | 2 | 2.6 | － | － | 30 | 2 |
| | 大　分 | 33 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 0 |
| | 宮　崎 | 52 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 0 |
| | 鹿児島 | 57 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 0 |
| | 沖　縄 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 1 |
| 全体（全国計） | | 2,330 | 5 | 0.2 | 27 | 3 | 165 | 47 |

## （５）都道府県別調査結果（トリクロロエチレン）

| 都道府県名 | | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区調査 | | 継続監視調査 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） |
| 北海道・東北 | 北海道 | 62 | 0 | 0.0 | 18 | 1 | 39 | 0 |
| | 青　森 | 19 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 0 |
| | 岩　手 | 66 | 0 | 0.0 | － | － | 14 | 3 |
| | 宮　城 | 22 | 1 | 4.5 | 21 | 2 | 8 | 0 |
| | 秋　田 | 41 | 0 | 0.0 | － | － | 16 | 3 |
| | 山　形 | 37 | 0 | 0.0 | － | － | 13 | 0 |
| | 福　島 | 41 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 143 | 10 |
| 関東 | 茨　城 | 58 | 0 | 0.0 | 8 | 0 | 34 | 8 |
| | 栃　木 | 43 | 0 | 0.0 | － | － | 82 | 5 |
| | 群　馬 | 100 | 0 | 0.0 | － | － | 19 | 2 |
| | 埼　玉 | 85 | 0 | 0.0 | － | － | 45 | 5 |
| | 千　葉 | 183 | 0 | 0.0 | 25 | 3 | 88 | 25 |
| | 東　京 | 65 | 0 | 0.0 | 6 | 0 | 39 | 4 |
| | 神奈川 | 155 | 0 | 0.0 | 11 | 0 | 20 | 2 |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 18 | 0 | 0.0 | 34 | 0 | 38 | 2 |
| | 富　山 | 76 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 0 |
| | 石　川 | 75 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 83 | 2 |
| | 福　井 | 30 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 57 | 3 |
| | 山　梨 | 45 | 0 | 0.0 | － | － | 13 | 1 |
| | 長　野 | 44 | 0 | 0.0 | 7 | 0 | 42 | 2 |
| | 岐　阜 | 69 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 0 |
| | 静　岡 | 42 | 0 | 0.0 | 23 | 0 | 54 | 9 |
| | 愛　知 | 107 | 1 | 0.9 | 7 | 0 | 86 | 22 |
| 近畿 | 三　重 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 8 | 1 |
| | 滋　賀 | 60 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 108 | 6 |
| | 京　都 | 28 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 25 | 1 |
| | 大　阪 | 65 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 64 | 8 |
| | 兵　庫 | 92 | 0 | 0.0 | － | － | 69 | 8 |
| | 奈　良 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 和歌山 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 12 | 0 | 0.0 | － | － | 15 | 4 |
| | 島　根 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 岡　山 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 1 |
| | 広　島 | 35 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 13 | 3 |
| | 山　口 | 55 | 0 | 0.0 | － | － | 47 | 3 |
| | 徳　島 | 36 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 香　川 | 10 | 0 | 0.0 | － | － | 8 | 1 |
| | 愛　媛 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 0 |
| | 高　知 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 0 |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 80 | 0 | 0.0 | － | － | 39 | 5 |
| | 佐　賀 | 34 | 0 | 0.0 | 58 | 1 | 27 | 4 |
| | 長　崎 | 30 | 0 | 0.0 | 12 | 0 | 13 | 3 |
| | 熊　本 | 72 | 0 | 0.0 | － | － | 74 | 5 |
| | 大　分 | 37 | 0 | 0.0 | － | － | 13 | 1 |
| | 宮　崎 | 71 | 0 | 0.0 | － | － | 24 | 0 |
| | 鹿児島 | 56 | 0 | 0.0 | － | － | 16 | 2 |
| | 沖　縄 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| 全体（全国系） | | 2,469 | 2 | 0.1 | 250 | 7 | 1,525 | 164 |

## （６）都道府県別調査結果（クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー））

| 都道府県名 | | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区調査 | | 継続監視調査 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） |
| 北海道・東北 | 北海道 | 62 | 0 | 0.0 | 18 | 0 | 34 | 0 |
| | 青　森 | 19 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 0 |
| | 岩　手 | 1 | 0 | 0.0 | － | － | 9 | 0 |
| | 宮　城 | 22 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 8 | 0 |
| | 秋　田 | 41 | 0 | 0.0 | － | － | 13 | 1 |
| | 山　形 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | 12 | 3 |
| | 福　島 | 35 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 89 | 8 |
| 関東 | 茨　城 | 58 | 0 | 0.0 | 8 | 0 | 12 | 0 |
| | 栃　木 | 21 | 0 | 0.0 | － | － | 82 | 3 |
| | 群　馬 | 77 | 0 | 0.0 | － | － | 9 | 1 |
| | 埼　玉 | 85 | 0 | 0.0 | － | － | 43 | 2 |
| | 千　葉 | 183 | 0 | 0.0 | 21 | 2 | 85 | 3 |
| | 東　京 | 65 | 1 | 1.5 | 6 | 0 | 40 | 3 |
| | 神奈川 | 155 | 0 | 0.0 | － | － | 15 | 0 |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 18 | 0 | 0.0 | 34 | 1 | 38 | 11 |
| | 富　山 | 76 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 石　川 | 75 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 83 | 2 |
| | 福　井 | 30 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 57 | 1 |
| | 山　梨 | 45 | 0 | 0.0 | － | － | 13 | 0 |
| | 長　野 | 31 | 0 | 0.0 | 7 | 0 | 42 | 4 |
| | 岐　阜 | 69 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 静　岡 | 42 | 0 | 0.0 | － | － | 23 | 2 |
| | 愛　知 | 107 | 0 | 0.0 | 12 | 0 | 87 | 7 |
| 近畿 | 三　重 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 8 | 0 |
| | 滋　賀 | 60 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 108 | 1 |
| | 京　都 | 28 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 25 | 1 |
| | 大　阪 | 65 | 1 | 1.5 | 4 | 0 | 70 | 21 |
| | 兵　庫 | 93 | 0 | 0.0 | － | － | 59 | 4 |
| | 奈　良 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 和歌山 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 0 |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 12 | 0 | 0.0 | － | － | 15 | 0 |
| | 島　根 | 7 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 岡　山 | 31 | 1 | 3.2 | － | － | 3 | 0 |
| | 広　島 | 30 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 11 | 0 |
| | 山　口 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | 5 | 0 |
| | 徳　島 | 30 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 香　川 | 3 | 0 | 0.0 | － | － | 5 | 0 |
| | 愛　媛 | 19 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 0 |
| | 高　知 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 5 | 0 |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 80 | 0 | 0.0 | － | － | 28 | 3 |
| | 佐　賀 | 19 | 0 | 0.0 | 58 | 0 | 27 | 1 |
| | 長　崎 | 30 | 0 | 0.0 | 12 | 0 | 13 | 0 |
| | 熊　本 | 71 | 0 | 0.0 | － | － | 70 | 0 |
| | 大　分 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 1 |
| | 宮　崎 | 48 | 0 | 0.0 | － | － | 24 | 0 |
| | 鹿児島 | 48 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 沖　縄 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| 全体（全国系） | | 2,202 | 3 | 0.1 | 198 | 3 | 1,290 | 83 |

## （7）都道府県別調査結果（鉛）

| 都道府県名 | | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区調査 | | 継続監視調査 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） |
| 北海道・東北 | 北海道 | 61 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 0 |
| | 青　森 | 19 | 0 | 0.0 | 13 | 0 | 12 | 1 |
| | 岩　手 | 66 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 17 | 2 |
| | 宮　城 | 22 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 秋　田 | 41 | 1 | 2.4 | － | － | 1 | 0 |
| | 山　形 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 福　島 | 35 | 1 | 2.9 | 2 | 0 | 9 | 0 |
| 関東 | 茨　城 | 58 | 0 | 0.0 | 10 | 0 | 4 | 1 |
| | 栃　木 | 43 | 0 | 0.0 | － | － | 6 | 0 |
| | 群　馬 | 152 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 埼　玉 | 85 | 1 | 1.2 | － | － | 1 | 0 |
| | 千　葉 | 183 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 1 |
| | 東　京 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | 15 | 5 |
| | 神奈川 | 155 | 1 | 0.6 | 4 | 1 | － | － |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 33 | 0 | 0.0 | 11 | 0 | － | － |
| | 富　山 | 76 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 石　川 | 75 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 福　井 | 30 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 山　梨 | 44 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 長　野 | 44 | 1 | 2.3 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | 岐　阜 | 69 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 静　岡 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 愛　知 | 107 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 18 | 2 |
| 近畿 | 三　重 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 滋　賀 | 54 | 0 | 0.0 | 5 | 1 | － | － |
| | 京　都 | 28 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 1 |
| | 大　阪 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 1 |
| | 兵　庫 | 94 | 1 | 1.1 | － | － | 21 | 1 |
| | 奈　良 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 1 |
| | 和歌山 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 12 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 島　根 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 岡　山 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 広　島 | 35 | 0 | 0.0 | － | － | 9 | 0 |
| | 山　口 | 20 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 徳　島 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 香　川 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 愛　媛 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 高　知 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 87 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 0 |
| | 佐　賀 | 24 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 長　崎 | 30 | 0 | 0.0 | 12 | 0 | 5 | 1 |
| | 熊　本 | 77 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 0 |
| | 大　分 | 34 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 0 |
| | 宮　崎 | 53 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 0 |
| | 鹿児島 | 60 | 0 | 0.0 | － | － | 6 | 0 |
| | 沖　縄 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 全体（全国計） | | 2,453 | 6 | 0.2 | 66 | 2 | 156 | 17 |

## （8）都道府県別調査結果（テトラクロロエチレン）

| 都道府県名 | | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区調査 | | 継続監視調査 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） |
| 北海道・東北 | 北海道 | 62 | 2 | 3.2 | 18 | 2 | 49 | 12 |
| | 青　森 | 19 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 0 |
| | 岩　手 | 66 | 0 | 0.0 | － | － | 14 | 3 |
| | 宮　城 | 22 | 0 | 0.0 | 21 | 0 | 8 | 3 |
| | 秋　田 | 41 | 0 | 0.0 | － | － | 6 | 2 |
| | 山　形 | 37 | 0 | 0.0 | － | － | 10 | 3 |
| | 福　島 | 32 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 138 | 11 |
| 関東 | 茨　城 | 58 | 0 | 0.0 | 5 | 0 | 46 | 22 |
| | 栃　木 | 43 | 0 | 0.0 | － | － | 62 | 10 |
| | 群　馬 | 100 | 0 | 0.0 | － | － | 19 | 2 |
| | 埼　玉 | 85 | 0 | 0.0 | － | － | 42 | 9 |
| | 千　葉 | 183 | 2 | 1.1 | 25 | 0 | 88 | 28 |
| | 東　京 | 65 | 0 | 0.0 | 6 | 0 | 39 | 16 |
| | 神奈川 | 155 | 0 | 0.0 | 11 | 0 | 18 | 8 |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 17 | 0 | 0.0 | 34 | 1 | 38 | 4 |
| | 富　山 | 76 | 0 | 0.0 | － | － | 6 | 1 |
| | 石　川 | 75 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 83 | 2 |
| | 福　井 | 30 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 56 | 1 |
| | 山　梨 | 45 | 0 | 0.0 | － | － | 13 | 5 |
| | 長　野 | 44 | 0 | 0.0 | 7 | 3 | 42 | 15 |
| | 岐　阜 | 69 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 1 |
| | 静　岡 | 42 | 0 | 0.0 | 23 | 2 | 46 | 6 |
| | 愛　知 | 107 | 0 | 0.0 | 7 | 0 | 71 | 13 |
| 近畿 | 三　重 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 6 | 2 |
| | 滋　賀 | 60 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 108 | 12 |
| | 京　都 | 28 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 25 | 4 |
| | 大　阪 | 65 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 63 | 7 |
| | 兵　庫 | 92 | 0 | 0.0 | － | － | 69 | 9 |
| | 奈　良 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 和歌山 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 12 | 0 | 0.0 | － | － | 15 | 0 |
| | 島　根 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 岡　山 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 1 |
| | 広　島 | 35 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 12 | 1 |
| | 山　口 | 54 | 0 | 0.0 | － | － | 47 | 15 |
| | 徳　島 | 36 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 香　川 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | 8 | 1 |
| | 愛　媛 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | 16 | 1 |
| | 高　知 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 1 |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 80 | 0 | 0.0 | － | － | 42 | 12 |
| | 佐　賀 | 34 | 0 | 0.0 | 35 | 1 | 16 | 2 |
| | 長　崎 | 30 | 0 | 0.0 | 12 | 0 | 13 | 0 |
| | 熊　本 | 72 | 0 | 0.0 | － | － | 58 | 10 |
| | 大　分 | 37 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 3 |
| | 宮　崎 | 71 | 0 | 0.0 | － | － | 24 | 4 |
| | 鹿児島 | 57 | 0 | 0.0 | － | － | 14 | 3 |
| | 沖　縄 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| 全体（全国計） | | 2,458 | 4 | 0.2 | 224 | 9 | 1,458 | 265 |

## （９）都道府県別調査結果（カドミウム）

| 都道府県名 | | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区調査 | | 継続監視調査 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） |
| 北海道・東北 | 北海道 | 61 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 青　森 | 19 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 岩　手 | 66 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 宮　城 | 22 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 秋　田 | 41 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 0 |
| | 山　形 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 福　島 | 30 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 1 |
| 関東 | 茨　城 | 58 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | － | － |
| | 栃　木 | 43 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 群　馬 | 100 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 0 |
| | 埼　玉 | 85 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 千　葉 | 183 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 東　京 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 神奈川 | 155 | 0 | 0.0 | 3 | 1 | － | － |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 33 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 0 |
| | 富　山 | 76 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 石　川 | 75 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 福　井 | 30 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 山　梨 | 41 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 長　野 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 岐　阜 | 69 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 静　岡 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 愛　知 | 107 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 近畿 | 三　重 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 滋　賀 | 53 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 京　都 | 28 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 大　阪 | 65 | 0 | 0.0 | 6 | 0 | － | － |
| | 兵　庫 | 97 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 奈　良 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 和歌山 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 12 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 島　根 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 岡　山 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 広　島 | 35 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 山　口 | 10 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 徳　島 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 香　川 | 4 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 愛　媛 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 高　知 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 87 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 0 |
| | 佐　賀 | 24 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 長　崎 | 30 | 0 | 0.0 | 12 | 0 | 5 | 0 |
| | 熊　本 | 77 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 大　分 | 34 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 0 |
| | 宮　崎 | 49 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 鹿児島 | 59 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 0 |
| | 沖　縄 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 全体（全国系） | | 2,340 | 0 | 0.0 | 24 | 1 | 33 | 1 |

## （10）都道府県別調査結果（総水銀）

| 都道府県名 | | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区調査 | | 継続監視調査 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） |
| 北海道・東北 | 北海道 | 61 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 青　森 | 19 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 岩　手 | 66 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 宮　城 | 22 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 秋　田 | 41 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 0 |
| | 山　形 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 福　島 | 29 | 0 | 0.0 | 12 | 1 | 3 | 0 |
| 関東 | 茨　城 | 58 | 0 | 0.0 | 11 | 0 | － | － |
| | 栃　木 | 43 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 群　馬 | 71 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 埼　玉 | 85 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 千　葉 | 183 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 東　京 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 神奈川 | 155 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 33 | 0 | 0.0 | 10 | 0 | － | － |
| | 富　山 | 76 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 石　川 | 75 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 福　井 | 30 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 1 |
| | 山　梨 | 41 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 長　野 | 44 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 岐　阜 | 69 | 0 | 0.0 | － | － | 6 | 3 |
| | 静　岡 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 愛　知 | 107 | 0 | 0.0 | － | － | 23 | 11 |
| 近畿 | 三　重 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 滋　賀 | 53 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 1 |
| | 京　都 | 28 | 0 | 0.0 | － | － | 5 | 2 |
| | 大　阪 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | 4 | 0 |
| | 兵　庫 | 97 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 奈　良 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 和歌山 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 12 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 島　根 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 岡　山 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 広　島 | 35 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 山　口 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 1 |
| | 徳　島 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 香　川 | 7 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 愛　媛 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | 2 | 0 |
| | 高　知 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 87 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 0 |
| | 佐　賀 | 24 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 長　崎 | 30 | 0 | 0.0 | 12 | 0 | 5 | 2 |
| | 熊　本 | 77 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 大　分 | 32 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 0 |
| | 宮　崎 | 48 | 0 | 0.0 | － | － | 5 | 0 |
| | 鹿児島 | 59 | 0 | 0.0 | － | － | 1 | 0 |
| | 沖　縄 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 全体（全国計） | | 2,322 | 0 | 0.0 | 45 | 1 | 78 | 21 |

## （11）都道府県別調査結果（1,2-ジクロロエチレン）

| 都道府県名 | | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区調査 | | 継続監視調査 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） |
| 北海道・東北 | 北海道 | 62 | 0 | 0.0 | 18 | 0 | 36 | 3 |
| | 青　森 | 19 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 0 |
| | 岩　手 | 66 | 0 | 0.0 | － | － | 14 | 0 |
| | 宮　城 | 22 | 0 | 0.0 | 21 | 0 | 8 | 0 |
| | 秋　田 | 41 | 0 | 0.0 | － | － | 10 | 1 |
| | 山　形 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | 12 | 2 |
| | 福　島 | 39 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 130 | 9 |
| 関東 | 茨　城 | 58 | 0 | 0.0 | 8 | 0 | 14 | 2 |
| | 栃　木 | 43 | 0 | 0.0 | － | － | 82 | 6 |
| | 群　馬 | 100 | 0 | 0.0 | － | － | 19 | 0 |
| | 埼　玉 | 85 | 0 | 0.0 | － | － | 43 | 3 |
| | 千　葉 | 183 | 1 | 0.5 | 25 | 1 | 88 | 9 |
| | 東　京 | 65 | 1 | 1.5 | 6 | 0 | 39 | 3 |
| | 神奈川 | 155 | 1 | 0.6 | 11 | 0 | 18 | 3 |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 18 | 0 | 0.0 | 34 | 1 | 37 | 3 |
| | 富　山 | 76 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 石　川 | 75 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 83 | 2 |
| | 福　井 | 30 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 57 | 0 |
| | 山　梨 | 45 | 0 | 0.0 | － | － | 13 | 0 |
| | 長　野 | 44 | 0 | 0.0 | 7 | 0 | 42 | 1 |
| | 岐　阜 | 69 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 静　岡 | 42 | 0 | 0.0 | － | － | 44 | 2 |
| | 愛　知 | 107 | 0 | 0.0 | 9 | 0 | 88 | 13 |
| 近畿 | 三　重 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 8 | 0 |
| | 滋　賀 | 60 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 108 | 0 |
| | 京　都 | 28 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 25 | 0 |
| | 大　阪 | 65 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 69 | 19 |
| | 兵　庫 | 91 | 0 | 0.0 | － | － | 62 | 6 |
| | 奈　良 | 39 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 和歌山 | 65 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 12 | 0 | 0.0 | － | － | 15 | 0 |
| | 島　根 | 9 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 岡　山 | 31 | 0 | 0.0 | － | － | 3 | 0 |
| | 広　島 | 35 | 0 | 0.0 | － | － | 10 | 0 |
| | 山　口 | 20 | 0 | 0.0 | － | － | 23 | 2 |
| | 徳　島 | 30 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| | 香　川 | 10 | 0 | 0.0 | － | － | 6 | 0 |
| | 愛　媛 | 19 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 0 |
| | 高　知 | 26 | 0 | 0.0 | － | － | 7 | 0 |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 80 | 0 | 0.0 | － | － | 29 | 3 |
| | 佐　賀 | 24 | 0 | 0.0 | 58 | 0 | 27 | 0 |
| | 長　崎 | 30 | 0 | 0.0 | 12 | 0 | 13 | 0 |
| | 熊　本 | 71 | 0 | 0.0 | － | － | 70 | 3 |
| | 大　分 | 37 | 0 | 0.0 | － | － | 13 | 1 |
| | 宮　崎 | 61 | 0 | 0.0 | － | － | 23 | 0 |
| | 鹿児島 | 50 | 0 | 0.0 | － | － | 14 | 0 |
| | 沖　縄 | 8 | 0 | 0.0 | － | － | － | － |
| 全体（全国計） | | 2,402 | 3 | 0.1 | 227 | 2 | 1,412 | 96 |

## 参考資料６　項目別・年度別地下水質測定結果

本資料において、調査数とは調査を実施した井戸の本数を意味する。また、超過数とは、測定当時の基準を超過した井戸の数であり、超過率とは、調査数に対する超過数の割合とする。

地下水の水質汚濁に係る環境基準は、平成９年に設定されたものであり、それ以前の基準は、評価基準あるいは暫定指導指針とされていた。

平成 21 年度から定期モニタリング調査は継続監視調査へ調査区分が変更されている。

| 調査項目 | 年度 | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区地調査 | | 継続監視調査又は定期モニタリング調査 | | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） | 基準の種類 | 基準値 |
| カドミウム | 平成3 | 3,026 | 0 | 0.0 | 26 | 0 | 477 | 0 | 評価基準 | 0.01mg/L以下 |
| | 4 | 2,799 | 3 | 0.1 | 34 | 0 | 585 | 0 | | |
| | 5 | 2,625 | 0 | 0.0 | 113 | 0 | 641 | 0 | | |
| | 6 | 2,204 | 0 | 0.0 | 50 | 0 | 687 | 0 | | |
| | 7 | 2,122 | 0 | 0.0 | 86 | 0 | 646 | 0 | | |
| | 8 | 2,100 | 0 | 0.0 | 26 | 0 | 680 | 0 | | |
| | 9 | 2,094 | 0 | 0.0 | 41 | 0 | 748 | 0 | 環境基準 | 0.01mg/L以下 |
| | 10 | 3,102 | 0 | 0.0 | 50 | 0 | 340 | 0 | | |
| | 11 | 3,152 | 1 | 0.0 | 30 | 0 | 333 | 0 | | |
| | 12 | 2,997 | 0 | 0.0 | 35 | 0 | 252 | 0 | | |
| | 13 | 3,003 | 0 | 0.0 | 45 | 0 | 237 | 0 | | |
| | 14 | 3,242 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 298 | 0 | | |
| | 15 | 3,591 | 0 | 0.0 | 31 | 0 | 308 | 0 | | |
| | 16 | 3,247 | 0 | 0.0 | 73 | 0 | 246 | 0 | | |
| | 17 | 3,092 | 0 | 0.0 | 56 | 0 | 216 | 0 | | |
| | 18 | 3,166 | 0 | 0.0 | 27 | 0 | 117 | 0 | | |
| | 19 | 3,160 | 0 | 0.0 | 56 | 0 | 154 | 0 | | |
| | 20 | 2,871 | 0 | 0.0 | 48 | 0 | 230 | 0 | | |
| | 21 | 3,185 | 0 | 0.0 | 24 | 0 | 79 | 0 | | |
| | 22 | 2,996 | 0 | 0.0 | 52 | 0 | 54 | 0 | | |
| | 23 | 2,910 | 2 | 0.1 | 76 | 0 | 31 | 1 | | 0.003mg/L以下 |
| | 24 | 2,899 | 0 | 0.0 | 24 | 0 | 49 | 2 | | |
| | 25 | 2,904 | 0 | 0.0 | 24 | 0 | 44 | 2 | | |
| | 26 | 2,704 | 0 | 0.0 | 20 | 0 | 43 | 1 | | |
| | 27 | 2,658 | 1 | 0.0 | 45 | 0 | 46 | 1 | | |
| | 28 | 2,668 | 0 | 0.0 | 39 | 0 | 42 | 2 | | |
| | 29 | 2,627 | 2 | 0.1 | 36 | 7 | 42 | 2 | | |
| | 30 | 2,602 | 0 | 0.0 | 26 | 0 | 43 | 2 | | |
| | 令和1 | 2,613 | 0 | 0.0 | 19 | 0 | 35 | 3 | | |
| | 2 | 2,586 | 0 | 0.0 | 30 | 0 | 42 | 2 | | |
| | 3 | 2,504 | 0 | 0.0 | 23 | 0 | 56 | 2 | | |
| | 4 | 2,340 | 0 | 0.0 | 24 | 1 | 33 | 0 | | |
| 全シアン | 平成3 | 2,961 | 0 | 0.0 | 24 | 0 | 444 | 1 | 評価基準 | 検出されないこと |
| | 4 | 2,699 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 554 | 0 | | |
| | 5 | 2,462 | 0 | 0.0 | 46 | 0 | 609 | 1 | | |
| | 6 | 1,995 | 0 | 0.0 | 32 | 0 | 648 | 0 | | |
| | 7 | 2,010 | 0 | 0.0 | 41 | 0 | 626 | 0 | | |
| | 8 | 1,899 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 645 | 0 | | |
| | 9 | 1,909 | 0 | 0.0 | 45 | 0 | 715 | 0 | 環境基準 | 検出されないこと |
| | 10 | 2,659 | 0 | 0.0 | 42 | 0 | 282 | 0 | | |
| | 11 | 2,786 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 297 | 0 | | |
| | 12 | 2,616 | 0 | 0.0 | 26 | 0 | 230 | 0 | | |
| | 13 | 2,660 | 0 | 0.0 | 47 | 0 | 225 | 0 | | |
| | 14 | 2,639 | 0 | 0.0 | 28 | 0 | 284 | 0 | | |
| | 15 | 2,870 | 0 | 0.0 | 50 | 0 | 300 | 0 | | |
| | 16 | 2,723 | 0 | 0.0 | 46 | 0 | 236 | 0 | | |
| | 17 | 2,830 | 0 | 0.0 | 28 | 2 | 218 | 1 | | |
| | 18 | 2,904 | 0 | 0.0 | 40 | 2 | 120 | 1 | | |
| | 19 | 2,737 | 0 | 0.0 | 44 | 0 | 155 | 0 | | |
| | 20 | 2,508 | 0 | 0.0 | 40 | 0 | 234 | 0 | | |
| | 21 | 2,904 | 0 | 0.0 | 21 | 0 | 101 | 0 | | |
| | 22 | 2,774 | 0 | 0.0 | 36 | 0 | 73 | 0 | | |
| | 23 | 2,713 | 0 | 0.0 | 30 | 0 | 54 | 0 | | |
| | 24 | 2,642 | 0 | 0.0 | 27 | 0 | 60 | 1 | | |
| | 25 | 2,736 | 0 | 0.0 | 26 | 0 | 55 | 0 | | |
| | 26 | 2,534 | 0 | 0.0 | 22 | 0 | 58 | 0 | | |
| | 27 | 2,479 | 0 | 0.0 | 32 | 0 | 62 | 0 | | |
| | 28 | 2,494 | 0 | 0.0 | 31 | 0 | 59 | 0 | | |
| | 29 | 2,450 | 0 | 0.0 | 18 | 0 | 52 | 0 | | |
| | 30 | 2,418 | 0 | 0.0 | 38 | 0 | 59 | 0 | | |
| | 令和1 | 2,440 | 0 | 0.0 | 17 | 0 | 45 | 0 | | |
| | 2 | 2,404 | 0 | 0.0 | 62 | 0 | 46 | 0 | | |
| | 3 | 2,334 | 0 | 0.0 | 22 | 0 | 39 | 0 | | |
| | 4 | 2,199 | 0 | 0.0 | 16 | 0 | 37 | 0 | | |

| 調査項目 | 年度 | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区地調査 | | 継続監視調査又は定期モニタリング調査 | | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） | 基準の種類 | 基準値 |
| 鉛 | 平成3 | 3,043 | 0 | 0.0 | 36 | 0 | 486 | 2 | 評価基準 | 0.1mg/L以下 |
| | 4 | 2,802 | 0 | 0.0 | 30 | 0 | 609 | 5 | | |
| | 5 | 2,627 | 6 | 0.2 | 121 | 4 | 667 | 3 | | 0.01mg/L以下 |
| | 6 | 2,523 | 2 | 0.1 | 58 | 0 | 700 | 6 | | |
| | 7 | 2,506 | 3 | 0.1 | 96 | 0 | 675 | 7 | | |
| | 8 | 2,483 | 7 | 0.3 | 73 | 2 | 709 | 4 | | |
| | 9 | 2,456 | 8 | 0.3 | 71 | 6 | 771 | 8 | 環境基準 | 0.01mg/L以下 |
| | 10 | 3,312 | 8 | 0.2 | 90 | 1 | 374 | 5 | | |
| | 11 | 3,198 | 15 | 0.5 | 84 | 0 | 374 | 7 | | |
| | 12 | 3,360 | 10 | 0.3 | 82 | 3 | 298 | 13 | | |
| | 13 | 3,362 | 13 | 0.4 | 110 | 4 | 275 | 6 | | |
| | 14 | 3,484 | 8 | 0.2 | 149 | 7 | 346 | 8 | | |
| | 15 | 3,689 | 21 | 0.6 | 164 | 6 | 349 | 7 | | |
| | 16 | 3,566 | 14 | 0.4 | 145 | 2 | 344 | 11 | | |
| | 17 | 3,374 | 15 | 0.4 | 162 | 6 | 306 | 10 | | |
| | 18 | 3,484 | 8 | 0.2 | 130 | 2 | 220 | 10 | | |
| | 19 | 3,466 | 12 | 0.3 | 296 | 4 | 283 | 8 | | |
| | 20 | 3,193 | 10 | 0.3 | 232 | 7 | 360 | 10 | | |
| | 21 | 3,219 | 11 | 0.3 | 115 | 1 | 189 | 9 | | |
| | 22 | 3,041 | 12 | 0.4 | 426 | 14 | 173 | 9 | | |
| | 23 | 2,975 | 13 | 0.4 | 282 | 4 | 149 | 16 | | |
| | 24 | 2,962 | 12 | 0.4 | 138 | 2 | 178 | 15 | | |
| | 25 | 2,964 | 9 | 0.3 | 215 | 4 | 205 | 13 | | |
| | 26 | 2,755 | 7 | 0.3 | 66 | 2 | 197 | 13 | | |
| | 27 | 2,712 | 3 | 0.1 | 101 | 2 | 201 | 17 | | |
| | 28 | 2,758 | 9 | 0.3 | 124 | 1 | 173 | 17 | | |
| | 29 | 2,689 | 4 | 0.1 | 53 | 0 | 162 | 12 | | |
| | 30 | 2,726 | 10 | 0.4 | 141 | 1 | 172 | 12 | | |
| | 令和1 | 2,786 | 12 | 0.4 | 98 | 4 | 156 | 18 | | |
| | 2 | 2,692 | 6 | 0.2 | 150 | 3 | 172 | 17 | | |
| | 3 | 2,613 | 10 | 0.4 | 79 | 3 | 179 | 15 | | |
| | 4 | 2,453 | 6 | 0.2 | 66 | 2 | 156 | 17 | | |
| 六価クロム | 平成3 | 3,077 | 1 | 0.0 | 24 | 0 | 478 | 0 | 評価基準 | 0.05mg/L以下 |
| | 4 | 2,822 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 616 | 8 | | |
| | 5 | 2,676 | 1 | 0.0 | 81 | 0 | 683 | 5 | | |
| | 6 | 2,525 | 0 | 0.0 | 32 | 0 | 717 | 8 | | |
| | 7 | 2,331 | 0 | 0.0 | 82 | 0 | 685 | 8 | | |
| | 8 | 2,306 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 710 | 11 | | |
| | 9 | 2,290 | 1 | 0.0 | 45 | 0 | 781 | 12 | 環境基準 | 0.05mg/L以下 |
| | 10 | 3,232 | 0 | 0.0 | 60 | 0 | 403 | 11 | | |
| | 11 | 3,129 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 376 | 11 | | |
| | 12 | 3,187 | 1 | 0.0 | 49 | 2 | 285 | 9 | | |
| | 13 | 3,175 | 0 | 0.0 | 38 | 2 | 264 | 11 | | |
| | 14 | 3,308 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 325 | 11 | | |
| | 15 | 3,562 | 1 | 0.0 | 60 | 1 | 334 | 10 | | |
| | 16 | 3,420 | 0 | 0.0 | 49 | 0 | 291 | 15 | | |
| | 17 | 3,286 | 0 | 0.0 | 58 | 0 | 267 | 14 | | |
| | 18 | 3,387 | 0 | 0.0 | 58 | 1 | 173 | 15 | | |
| | 19 | 3,388 | 1 | 0.0 | 74 | 0 | 208 | 15 | | |
| | 20 | 3,116 | 0 | 0.0 | 68 | 1 | 294 | 15 | | |
| | 21 | 3,189 | 0 | 0.0 | 48 | 27 | 140 | 14 | | |
| | 22 | 3,015 | 0 | 0.0 | 43 | 0 | 124 | 21 | | |
| | 23 | 2,882 | 0 | 0.0 | 33 | 0 | 117 | 22 | | |
| | 24 | 2,849 | 0 | 0.0 | 50 | 0 | 129 | 20 | | |
| | 25 | 2,869 | 0 | 0.0 | 43 | 0 | 139 | 23 | | |
| | 26 | 2,662 | 0 | 0.0 | 58 | 0 | 139 | 22 | | |
| | 27 | 2,625 | 2 | 0.1 | 57 | 2 | 140 | 26 | | |
| | 28 | 2,708 | 0 | 0.0 | 75 | 6 | 136 | 26 | | |
| | 29 | 2,673 | 0 | 0.0 | 19 | 0 | 128 | 22 | | |
| | 30 | 2,664 | 0 | 0.0 | 77 | 0 | 136 | 25 | | |
| | 令和1 | 2,640 | 0 | 0.0 | 19 | 0 | 121 | 22 | | |
| | 2 | 2,609 | 0 | 0.0 | 29 | 0 | 124 | 22 | | |
| | 3 | 2,552 | 0 | 0.0 | 54 | 0 | 130 | 23 | | |
| | 4 | 2,425 | 0 | 0.0 | 68 | 2 | 117 | 21 | 環境基準 | 0.02mg/L以下 |

| 調査項目 | 年度 | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区地調査 | | 継続監視調査又は定期モニタリング調査 | | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） | 基準の種類 | 基準値 |
| 砒素 | 平成3 | 2,941 | 4 | 0.1 | 316 | 8 | 508 | 9 | 評価基準 | 0.05mg/L以下 |
| | 4 | 2,747 | 5 | 0.2 | 133 | 4 | 708 | 16 | | |
| | 5 | 2,561 | 37 | 1.4 | 323 | 83 | 794 | 100 | | 0.01mg/L以下 |
| | 6 | 2,914 | 91 | 3.1 | 689 | 211 | 913 | 130 | | |
| | 7 | 2,720 | 48 | 1.8 | 320 | 79 | 904 | 146 | | |
| | 8 | 2,648 | 43 | 1.6 | 548 | 66 | 975 | 166 | | |
| | 9 | 2,564 | 52 | 2.0 | 264 | 53 | 1059 | 192 | 環境基準 | 0.01mg/L以下 |
| | 10 | 3,424 | 45 | 1.3 | 275 | 32 | 688 | 234 | | |
| | 11 | 3,310 | 45 | 1.4 | 186 | 29 | 695 | 223 | | |
| | 12 | 3,386 | 65 | 1.9 | 380 | 83 | 613 | 238 | | |
| | 13 | 3,422 | 44 | 1.3 | 284 | 108 | 626 | 246 | | |
| | 14 | 3,520 | 53 | 1.5 | 255 | 49 | 720 | 261 | | |
| | 15 | 3,760 | 54 | 1.4 | 217 | 32 | 727 | 270 | | |
| | 16 | 3,666 | 74 | 2.0 | 441 | 138 | 727 | 285 | | |
| | 17 | 3,457 | 61 | 1.8 | 411 | 100 | 834 | 293 | | |
| | 18 | 3,663 | 78 | 2.1 | 318 | 66 | 786 | 301 | | |
| | 19 | 3,591 | 73 | 2.0 | 326 | 71 | 693 | 305 | | |
| | 20 | 3,239 | 77 | 2.4 | 394 | 107 | 826 | 315 | | |
| | 21 | 3,338 | 63 | 1.9 | 236 | 43 | 568 | 292 | | |
| | 22 | 3,088 | 66 | 2.1 | 589 | 78 | 580 | 300 | | |
| | 23 | 3,038 | 57 | 1.9 | 440 | 85 | 582 | 308 | | |
| | 24 | 3,017 | 68 | 2.3 | 331 | 67 | 600 | 313 | | |
| | 25 | 3,020 | 63 | 2.1 | 383 | 47 | 647 | 332 | | |
| | 26 | 2,816 | 69 | 2.5 | 301 | 29 | 644 | 361 | | |
| | 27 | 2,764 | 60 | 2.2 | 247 | 38 | 640 | 352 | | |
| | 28 | 2,809 | 64 | 2.3 | 223 | 37 | 615 | 359 | | |
| | 29 | 2,725 | 60 | 2.2 | 243 | 30 | 632 | 380 | | |
| | 30 | 2,757 | 54 | 2.0 | 240 | 43 | 658 | 370 | | |
| | 令和1 | 2,822 | 58 | 2.1 | 189 | 16 | 648 | 382 | | |
| | 2 | 2,724 | 57 | 2.1 | 413 | 31 | 623 | 370 | | |
| | 3 | 2,654 | 63 | 2.4 | 254 | 35 | 632 | 390 | | |
| | 4 | 2,483 | 41 | 1.7 | 162 | 18 | 607 | 363 | | |
| 総水銀 | 平成3 | 2,978 | 3 | 0.1 | 92 | 9 | 504 | 11 | 評価基準 | 0.0005mg/L以下 |
| | 4 | 2,781 | 3 | 0.1 | 67 | 4 | 622 | 14 | | |
| | 5 | 2,626 | 3 | 0.1 | 129 | 10 | 657 | 15 | | |
| | 6 | 2,203 | 0 | 0.0 | 60 | 0 | 726 | 17 | | |
| | 7 | 2,145 | 2 | 0.1 | 76 | 3 | 715 | 11 | | |
| | 8 | 2,082 | 1 | 0.0 | 329 | 31 | 746 | 16 | | |
| | 9 | 2,102 | 1 | 0.0 | 53 | 0 | 809 | 15 | 環境基準 | 0.0005mg/L以下 |
| | 10 | 2,961 | 1 | 0.0 | 68 | 5 | 413 | 15 | | |
| | 11 | 3,084 | 0 | 0.0 | 55 | 2 | 383 | 16 | | |
| | 12 | 2,833 | 2 | 0.1 | 43 | 2 | 302 | 16 | | |
| | 13 | 2,907 | 3 | 0.1 | 270 | 34 | 300 | 18 | | |
| | 14 | 3,253 | 0 | 0.0 | 44 | 0 | 351 | 15 | | |
| | 15 | 3,318 | 1 | 0.0 | 60 | 0 | 353 | 9 | | |
| | 16 | 3,235 | 5 | 0.2 | 63 | 4 | 289 | 12 | | |
| | 17 | 3,120 | 3 | 0.1 | 108 | 6 | 256 | 14 | | |
| | 18 | 3,234 | 3 | 0.1 | 35 | 3 | 157 | 14 | | |
| | 19 | 3,233 | 5 | 0.2 | 73 | 8 | 197 | 13 | | |
| | 20 | 2,944 | 2 | 0.1 | 71 | 5 | 275 | 25 | | |
| | 21 | 3,154 | 2 | 0.1 | 39 | 4 | 145 | 23 | | |
| | 22 | 2,999 | 0 | 0.0 | 45 | 2 | 119 | 24 | | |
| | 23 | 2,908 | 0 | 0.0 | 75 | 3 | 107 | 21 | | |
| | 24 | 2,886 | 1 | 0.0 | 46 | 5 | 117 | 19 | | |
| | 25 | 2,900 | 1 | 0.0 | 68 | 4 | 113 | 20 | | |
| | 26 | 2,701 | 1 | 0.0 | 51 | 6 | 104 | 24 | | |
| | 27 | 2,660 | 0 | 0.0 | 44 | 3 | 103 | 20 | | |
| | 28 | 2,668 | 0 | 0.0 | 33 | 2 | 102 | 19 | | |
| | 29 | 2,619 | 1 | 0.0 | 26 | 1 | 91 | 19 | | |
| | 30 | 2,592 | 0 | 0.0 | 21 | 0 | 94 | 19 | | |
| | 令和1 | 2,605 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 84 | 17 | | |
| | 2 | 2,577 | 1 | 0.0 | 81 | 0 | 76 | 17 | | |
| | 3 | 2,495 | 2 | 0.1 | 25 | 1 | 70 | 17 | | |
| | 4 | 2,322 | 0 | 0.0 | 45 | 1 | 78 | 21 | | |

| 調査項目 | 年度 | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区地調査 | | 継続監視調査又は定期モニタリング調査 | | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） | 基準の種類 | 基準値 |
| アルキル水銀 | 平成3 | 848 | 0 | 0.0 | 5 | 0 | 283 | 0 | 評価基準 | 検出されないこと |
| | 4 | 754 | 0 | 0.0 | 28 | 0 | 270 | 0 | | |
| | 5 | 621 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 349 | 0 | | |
| | 6 | 695 | 0 | 0.0 | 20 | 0 | 433 | 0 | | |
| | 7 | 630 | 0 | 0.0 | 32 | 0 | 481 | 0 | | |
| | 8 | 801 | 0 | 0.0 | 28 | 0 | 454 | 0 | | |
| | 9 | 748 | 0 | 0.0 | 38 | 0 | 513 | 0 | 環境基準 | 検出されないこと |
| | 10 | 1,315 | 0 | 0.0 | 21 | 0 | 121 | 0 | | |
| | 11 | 1,278 | 0 | 0.0 | 37 | 0 | 85 | 0 | | |
| | 12 | 1,048 | 0 | 0.0 | 26 | 0 | 57 | 0 | | |
| | 13 | 1,075 | 0 | 0.0 | 43 | 0 | 61 | 0 | | |
| | 14 | 1,020 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 108 | 0 | | |
| | 15 | 931 | 0 | 0.0 | 24 | 0 | 106 | 0 | | |
| | 16 | 993 | 0 | 0.0 | 33 | 0 | 52 | 0 | | |
| | 17 | 1,008 | 0 | 0.0 | 77 | 0 | 34 | 0 | | |
| | 18 | 762 | 0 | 0.0 | 21 | 0 | 38 | 0 | | |
| | 19 | 683 | 0 | 0.0 | 22 | 0 | 50 | 0 | | |
| | 20 | 545 | 0 | 0.0 | 22 | 0 | 53 | 0 | | |
| | 21 | 523 | 0 | 0.0 | 30 | 0 | 43 | 0 | | |
| | 22 | 500 | 0 | 0.0 | 35 | 0 | 38 | 0 | | |
| | 23 | 692 | 0 | 0.0 | 22 | 0 | 38 | 0 | | |
| | 24 | 450 | 0 | 0.0 | 26 | 0 | 41 | 0 | | |
| | 25 | 642 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 44 | 0 | | |
| | 26 | 526 | 0 | 0.0 | 27 | 0 | 40 | 0 | | |
| | 27 | 699 | 0 | 0.0 | 26 | 0 | 23 | 0 | | |
| | 28 | 696 | 0 | 0.0 | 19 | 0 | 19 | 0 | | |
| | 29 | 774 | 0 | 0.0 | 18 | 0 | 29 | 0 | | |
| | 30 | 571 | 0 | 0.0 | 17 | 0 | 32 | 0 | | |
| | 令和1 | 617 | 0 | 0.0 | 17 | 0 | 21 | 0 | | |
| | 2 | 494 | 0 | 0.0 | 18 | 0 | 19 | 0 | | |
| | 3 | 653 | 0 | 0.0 | 11 | 0 | 18 | 0 | | |
| | 4 | 498 | 0 | 0.0 | 14 | 0 | 16 | 0 | | |
| PCB | 平成3 | 1,897 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 359 | 0 | 評価基準 | 検出されないこと |
| | 4 | 1,522 | 0 | 0.0 | 9 | 0 | 368 | 0 | | |
| | 5 | 1,512 | 0 | 0.0 | 14 | 0 | 337 | 0 | | |
| | 6 | 1,110 | 0 | 0.0 | 11 | 0 | 492 | 0 | | |
| | 7 | 1,241 | 0 | 0.0 | 23 | 0 | 464 | 0 | | |
| | 8 | 1,196 | 0 | 0.0 | 7 | 0 | 485 | 0 | | |
| | 9 | 1,096 | 0 | 0.0 | 21 | 0 | 548 | 0 | 環境基準 | 検出されないこと |
| | 10 | 1,852 | 0 | 0.0 | 21 | 0 | 141 | 0 | | |
| | 11 | 1,930 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 132 | 0 | | |
| | 12 | 1,818 | 0 | 0.0 | 26 | 0 | 113 | 0 | | |
| | 13 | 2,044 | 0 | 0.0 | 26 | 0 | 125 | 0 | | |
| | 14 | 1,738 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 164 | 0 | | |
| | 15 | 1,816 | 0 | 0.0 | 24 | 0 | 148 | 0 | | |
| | 16 | 1,899 | 0 | 0.0 | 26 | 0 | 117 | 0 | | |
| | 17 | 1,883 | 0 | 0.0 | 30 | 0 | 61 | 0 | | |
| | 18 | 1,830 | 0 | 0.0 | 21 | 0 | 53 | 0 | | |
| | 19 | 1,732 | 0 | 0.0 | 21 | 0 | 45 | 0 | | |
| | 20 | 1,685 | 0 | 0.0 | 48 | 0 | 55 | 0 | | |
| | 21 | 2,082 | 0 | 0.0 | 21 | 0 | 30 | 0 | | |
| | 22 | 2,005 | 0 | 0.0 | 35 | 0 | 32 | 0 | | |
| | 23 | 1,946 | 0 | 0.0 | 23 | 0 | 15 | 0 | | |
| | 24 | 1,969 | 0 | 0.0 | 22 | 0 | 20 | 0 | | |
| | 25 | 2,057 | 2 | 0.1 | 40 | 0 | 16 | 0 | | |
| | 26 | 2,022 | 0 | 0.0 | 23 | 0 | 19 | 0 | | |
| | 27 | 1,957 | 0 | 0.0 | 28 | 0 | 18 | 0 | | |
| | 28 | 1,981 | 0 | 0.0 | 19 | 0 | 17 | 0 | | |
| | 29 | 1,952 | 0 | 0.0 | 18 | 0 | 20 | 0 | | |
| | 30 | 1,935 | 0 | 0.0 | 18 | 0 | 22 | 0 | | |
| | 令和1 | 1,929 | 0 | 0.0 | 17 | 0 | 23 | 0 | | |
| | 2 | 1,943 | 0 | 0.0 | 17 | 0 | 19 | 0 | | |
| | 3 | 1,879 | 0 | 0.0 | 11 | 0 | 19 | 0 | | |
| | 4 | 1,786 | 0 | 0.0 | 12 | 0 | 17 | 0 | | |

| 調査項目 | 年度 | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区地調査 | | 継続監視調査又は定期モニタリング調査 | | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） | 基準の種類 | 基準値 |
| トリクロロエチレン | 平成3 | 6,158 | 27 | 0.4 | 2,557 | 88 | 2,571 | 289 | 評価基準 | 0.03mg/L以下 |
| | 4 | 4,762 | 18 | 0.4 | 2,076 | 72 | 3,247 | 293 | | |
| | 5 | 4,480 | 15 | 0.3 | 1,286 | 44 | 3,658 | 309 | | |
| | 6 | 3,996 | 11 | 0.3 | 1,565 | 31 | 3,887 | 321 | | |
| | 7 | 3,918 | 17 | 0.4 | 1,250 | 39 | 3,898 | 313 | | |
| | 8 | 3,867 | 5 | 0.1 | 661 | 16 | 3,929 | 310 | | |
| | 9 | 3,692 | 5 | 0.1 | 617 | 19 | 3,912 | 279 | 環境基準 | 0.03mg/L以下 |
| | 10 | 4,492 | 17 | 0.4 | 1,251 | 34 | 3,301 | 242 | | |
| | 11 | 4,455 | 15 | 0.3 | 916 | 37 | 3,338 | 267 | | |
| | 12 | 4,225 | 22 | 0.5 | 846 | 47 | 3,054 | 292 | | |
| | 13 | 4,371 | 11 | 0.3 | 586 | 14 | 3,070 | 301 | | |
| | 14 | 4,414 | 10 | 0.2 | 436 | 21 | 2,954 | 286 | | |
| | 15 | 4,473 | 16 | 0.4 | 457 | 22 | 3,001 | 265 | | |
| | 16 | 4,234 | 18 | 0.4 | 457 | 19 | 2,922 | 243 | | |
| | 17 | 3,968 | 11 | 0.3 | 370 | 21 | 2,704 | 263 | | |
| | 18 | 3,911 | 6 | 0.2 | 346 | 15 | 2,490 | 260 | | |
| | 19 | 3,948 | 7 | 0.2 | 314 | 13 | 2,331 | 231 | | |
| | 20 | 3,658 | 3 | 0.1 | 431 | 22 | 2,470 | 237 | | |
| | 21 | 3,676 | 2 | 0.1 | 411 | 14 | 2,220 | 226 | | |
| | 22 | 3,366 | 1 | 0.0 | 464 | 15 | 2,123 | 215 | | |
| | 23 | 3,285 | 1 | 0.0 | 387 | 13 | 2,049 | 182 | | |
| | 24 | 3,245 | 2 | 0.1 | 468 | 8 | 2,021 | 171 | | |
| | 25 | 3,235 | 4 | 0.1 | 413 | 9 | 1,997 | 157 | | |
| | 26 | 2,965 | 7 | 0.2 | 440 | 25 | 1,941 | 279 | | 0.01mg/L以下 |
| | 27 | 2,942 | 2 | 0.1 | 292 | 9 | 1,897 | 260 | | |
| | 28 | 2,849 | 3 | 0.1 | 357 | 9 | 1,834 | 240 | | |
| | 29 | 2,816 | 5 | 0.2 | 296 | 8 | 1,800 | 224 | | |
| | 30 | 2,767 | 3 | 0.1 | 325 | 18 | 1,770 | 207 | | |
| | 令和1 | 2,734 | 4 | 0.1 | 275 | 7 | 1,702 | 199 | | |
| | 2 | 2,722 | 4 | 0.1 | 244 | 6 | 1,671 | 186 | | |
| | 3 | 2,644 | 2 | 0.1 | 264 | 4 | 1,605 | 169 | | |
| | 4 | 2,469 | 2 | 0.1 | 251 | 7 | 1,525 | 164 | | |
| テトラクロロエチレン | 平成3 | 6,158 | 44 | 0.7 | 2,652 | 301 | 2,564 | 539 | 評価基準 | 0.01mg/L以下 |
| | 4 | 4,762 | 35 | 0.7 | 2,171 | 137 | 3,306 | 651 | | |
| | 5 | 4,480 | 24 | 0.5 | 1,303 | 108 | 3,678 | 670 | | |
| | 6 | 3,998 | 29 | 0.7 | 1,634 | 274 | 3,903 | 713 | | |
| | 7 | 3,916 | 25 | 0.6 | 1,211 | 68 | 3,941 | 766 | | |
| | 8 | 3,864 | 18 | 0.5 | 669 | 47 | 3,983 | 762 | | |
| | 9 | 3,692 | 8 | 0.2 | 635 | 40 | 3,965 | 696 | 環境基準 | 0.01mg/L以下 |
| | 10 | 4,492 | 28 | 0.6 | 1,255 | 73 | 3,362 | 645 | | |
| | 11 | 4,451 | 23 | 0.5 | 921 | 49 | 3,376 | 589 | | |
| | 12 | 4,225 | 17 | 0.4 | 825 | 15 | 3,104 | 653 | | |
| | 13 | 4,374 | 10 | 0.2 | 620 | 39 | 3,072 | 624 | | |
| | 14 | 4,414 | 7 | 0.2 | 435 | 31 | 2,945 | 595 | | |
| | 15 | 4,472 | 21 | 0.5 | 431 | 22 | 2,992 | 586 | | |
| | 16 | 4,248 | 22 | 0.5 | 477 | 39 | 2,950 | 556 | | |
| | 17 | 3,961 | 6 | 0.2 | 328 | 39 | 2,710 | 559 | | |
| | 18 | 3,922 | 13 | 0.3 | 346 | 21 | 2,509 | 537 | | |
| | 19 | 3,938 | 12 | 0.3 | 323 | 21 | 2,327 | 543 | | |
| | 20 | 3,660 | 9 | 0.2 | 411 | 24 | 2,472 | 520 | | |
| | 21 | 3,679 | 5 | 0.1 | 405 | 30 | 2,186 | 513 | | |
| | 22 | 3,363 | 4 | 0.1 | 453 | 8 | 2,083 | 473 | | |
| | 23 | 3,283 | 7 | 0.2 | 393 | 18 | 2,004 | 448 | | |
| | 24 | 3,242 | 3 | 0.1 | 430 | 26 | 1,967 | 414 | | |
| | 25 | 3,233 | 7 | 0.2 | 390 | 17 | 1,945 | 424 | | |
| | 26 | 2,958 | 8 | 0.3 | 423 | 18 | 1,885 | 417 | | |
| | 27 | 2,936 | 3 | 0.1 | 257 | 7 | 1,830 | 404 | | |
| | 28 | 2,839 | 2 | 0.1 | 307 | 12 | 1,775 | 359 | | |
| | 29 | 2,812 | 4 | 0.1 | 304 | 18 | 1,737 | 346 | | |
| | 30 | 2,762 | 6 | 0.2 | 319 | 11 | 1,695 | 343 | | |
| | 令和1 | 2,727 | 6 | 0.2 | 251 | 14 | 1,633 | 321 | | |
| | 2 | 2,716 | 5 | 0.2 | 244 | 18 | 1,603 | 315 | | |
| | 3 | 2,638 | 2 | 0.1 | 242 | 3 | 1,539 | 281 | | |
| | 4 | 2,458 | 4 | 0.2 | 225 | 9 | 1,459 | 265 | | |

| 調査項目 | 年度 | 概況調査 | | | 汚染井戸<br>周辺地区地調査 | | 継続監視調査又は<br>定期モニタリング調査 | | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数<br>（本） | 超過数<br>（本） | 超過率<br>（%） | 調査数<br>（本） | 超過数<br>（本） | 調査数<br>（本） | 超過数<br>（本） | 基準の種類 | 基準値 |
| 1,1,1-トリクロロエタン | 平成3 | 5,135 | 0 | 0.0 | 2,259 | 2 | 2,268 | 11 | 暫定指導指針 | 0.03mg/L以下 |
| | 4 | 3,952 | 3 | 0.1 | 1,942 | 5 | 2,874 | 12 | | |
| | 5 | 3,960 | 0 | 0.0 | 1,292 | 2 | 3,383 | 5 | 評価基準 | 0.01mg/L以下 |
| | 6 | 3,868 | 1 | 0.0 | 1,431 | 2 | 3,663 | 7 | | |
| | 7 | 3,827 | 1 | 0.0 | 1,230 | 0 | 3,691 | 4 | | |
| | 8 | 3,786 | 0 | 0.0 | 681 | 0 | 3,755 | 3 | | |
| | 9 | 3,603 | 0 | 0.0 | 612 | 0 | 3,636 | 0 | 環境基準 | 0.01mg/L以下 |
| | 10 | 4,436 | 1 | 0.0 | 1,189 | 0 | 3,123 | 0 | | |
| | 11 | 4,362 | 0 | 0.0 | 879 | 0 | 2,987 | 3 | | |
| | 12 | 4,219 | 0 | 0.0 | 808 | 0 | 2,539 | 2 | | |
| | 13 | 4,290 | 0 | 0.0 | 564 | 0 | 2,586 | 3 | | |
| | 14 | 4,270 | 0 | 0.0 | 377 | 0 | 2,379 | 2 | | |
| | 15 | 4,312 | 0 | 0.0 | 359 | 0 | 2,417 | 2 | | |
| | 16 | 3,990 | 0 | 0.0 | 389 | 0 | 2,320 | 3 | | |
| | 17 | 3,739 | 0 | 0.0 | 207 | 0 | 2,123 | 1 | | |
| | 18 | 3,717 | 0 | 0.0 | 187 | 0 | 1,820 | 0 | | |
| | 19 | 3,635 | 0 | 0.0 | 193 | 0 | 1,631 | 0 | | |
| | 20 | 3,473 | 0 | 0.0 | 172 | 0 | 1,608 | 0 | | |
| | 21 | 3,430 | 0 | 0.0 | 186 | 0 | 1,443 | 0 | | |
| | 22 | 3,222 | 0 | 0.0 | 309 | 0 | 1,355 | 0 | | |
| | 23 | 3,189 | 0 | 0.0 | 239 | 0 | 1,212 | 0 | | |
| | 24 | 3,150 | 0 | 0.0 | 216 | 0 | 1,196 | 0 | | |
| | 25 | 3,136 | 0 | 0.0 | 207 | 0 | 1,162 | 0 | | |
| | 26 | 2,872 | 0 | 0.0 | 225 | 0 | 1,109 | 0 | | |
| | 27 | 2,842 | 0 | 0.0 | 137 | 0 | 1,088 | 0 | | |
| | 28 | 2,799 | 0 | 0.0 | 147 | 0 | 1,051 | 0 | | |
| | 29 | 2,768 | 0 | 0.0 | 162 | 0 | 1,029 | 0 | | |
| | 30 | 2,698 | 0 | 0.0 | 234 | 0 | 1,009 | 0 | | |
| | 令和1 | 2,664 | 0 | 0.0 | 142 | 0 | 952 | 0 | | |
| | 2 | 2,649 | 0 | 0.0 | 119 | 0 | 953 | 0 | | |
| | 3 | 2,573 | 0 | 0.0 | 125 | 0 | 906 | 0 | | |
| | 4 | 2,388 | 0 | 0.0 | 151 | 0 | 854 | 0 | | |
| 四塩化炭素 | 平成3 | 1,965 | 0 | 0.0 | 576 | 2 | 803 | 12 | 暫定指導指針 | 0.003mg/L以下 |
| | 4 | 2,068 | 0 | 0.0 | 523 | 4 | 1,099 | 12 | | |
| | 5 | 2,383 | 1 | 0.0 | 360 | 12 | 1,270 | 17 | 評価基準 | 0.002mg/L以下 |
| | 6 | 2,808 | 2 | 0.1 | 580 | 1 | 1,594 | 26 | | |
| | 7 | 2,959 | 1 | 0.0 | 373 | 6 | 1,706 | 23 | | |
| | 8 | 2,920 | 3 | 0.1 | 456 | 2 | 1,781 | 34 | | |
| | 9 | 2,828 | 2 | 0.1 | 253 | 2 | 1,843 | 22 | 環境基準 | 0.002mg/L以下 |
| | 10 | 3,631 | 2 | 0.1 | 388 | 2 | 1,376 | 24 | | |
| | 11 | 3,695 | 3 | 0.1 | 372 | 0 | 1,413 | 21 | | |
| | 12 | 3,675 | 2 | 0.1 | 291 | 3 | 1,272 | 24 | | |
| | 13 | 3,700 | 0 | 0.0 | 313 | 2 | 1,341 | 22 | | |
| | 14 | 3,814 | 3 | 0.1 | 232 | 5 | 1,323 | 22 | | |
| | 15 | 3,824 | 0 | 0.0 | 146 | 0 | 1,318 | 22 | | |
| | 16 | 3,661 | 4 | 0.1 | 221 | 2 | 1,287 | 23 | | |
| | 17 | 3,554 | 3 | 0.1 | 106 | 1 | 1,017 | 26 | | |
| | 18 | 3,628 | 3 | 0.1 | 103 | 4 | 888 | 23 | | |
| | 19 | 3,536 | 0 | 0.0 | 96 | 0 | 798 | 25 | | |
| | 20 | 3,379 | 0 | 0.0 | 72 | 2 | 799 | 26 | | |
| | 21 | 3,340 | 1 | 0.0 | 102 | 1 | 702 | 24 | | |
| | 22 | 3,120 | 1 | 0.0 | 193 | 1 | 653 | 29 | | |
| | 23 | 3,036 | 0 | 0.0 | 153 | 2 | 567 | 21 | | |
| | 24 | 3,005 | 0 | 0.0 | 170 | 3 | 556 | 19 | | |
| | 25 | 2,986 | 1 | 0.0 | 182 | 3 | 513 | 16 | | |
| | 26 | 2,740 | 0 | 0.0 | 156 | 3 | 532 | 15 | | |
| | 27 | 2,710 | 0 | 0.0 | 108 | 3 | 507 | 14 | | |
| | 28 | 2,703 | 0 | 0.0 | 103 | 3 | 471 | 14 | | |
| | 29 | 2,661 | 0 | 0.0 | 93 | 3 | 497 | 16 | | |
| | 30 | 2,592 | 0 | 0.0 | 126 | 6 | 500 | 14 | | |
| | 令和1 | 2,567 | 3 | 0.1 | 89 | 4 | 452 | 12 | | |
| | 2 | 2,554 | 0 | 0.0 | 67 | 1 | 449 | 13 | | |
| | 3 | 2,481 | 0 | 0.0 | 71 | 1 | 441 | 14 | | |
| | 4 | 2,290 | 0 | 0.0 | 105 | 1 | 418 | 13 | | |

| 調査項目 | 年度 | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区地調査 | | 継続監視調査又は定期モニタリング調査 | | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） | 基準の種類 | 基準値 |
| ジクロロメタン | 平成5 | 964 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 368 | 0 | 評価基準 | 0.02mg/L以下 |
| | 6 | 2,639 | 0 | 0.0 | 88 | 0 | 738 | 1 | | |
| | 7 | 2,915 | 0 | 0.0 | 151 | 0 | 705 | 1 | | |
| | 8 | 2,904 | 0 | 0.0 | 193 | 0 | 1,035 | 2 | | |
| | 9 | 2,805 | 2 | 0.1 | 124 | 0 | 1,167 | 0 | 環境基準 | 0.02mg/L以下 |
| | 10 | 3,729 | 1 | 0.0 | 349 | 0 | 768 | 0 | | |
| | 11 | 3,740 | 0 | 0.0 | 223 | 0 | 770 | 3 | | |
| | 12 | 3,534 | 0 | 0.0 | 229 | 0 | 744 | 0 | | |
| | 13 | 3,548 | 1 | 0.0 | 280 | 0 | 802 | 0 | | |
| | 14 | 3,635 | 1 | 0.0 | 146 | 0 | 835 | 0 | | |
| | 15 | 3,865 | 1 | 0.0 | 169 | 1 | 890 | 0 | | |
| | 16 | 3,535 | 0 | 0.0 | 141 | 0 | 877 | 0 | | |
| | 17 | 3,381 | 0 | 0.0 | 52 | 0 | 730 | 1 | | |
| | 18 | 3,455 | 0 | 0.0 | 97 | 1 | 627 | 1 | | |
| | 19 | 3,370 | 0 | 0.0 | 88 | 0 | 571 | 0 | | |
| | 20 | 3,276 | 0 | 0.0 | 72 | 0 | 557 | 0 | | |
| | 21 | 3,349 | 0 | 0.0 | 98 | 0 | 486 | 0 | | |
| | 22 | 3,178 | 0 | 0.0 | 141 | 0 | 467 | 0 | | |
| | 23 | 3,121 | 0 | 0.0 | 145 | 0 | 398 | 0 | | |
| | 24 | 3,077 | 0 | 0.0 | 138 | 0 | 389 | 0 | | |
| | 25 | 3,087 | 0 | 0.0 | 106 | 0 | 360 | 0 | | |
| | 26 | 2,823 | 0 | 0.0 | 137 | 0 | 382 | 0 | | |
| | 27 | 2,793 | 0 | 0.0 | 104 | 0 | 373 | 0 | | |
| | 28 | 2,751 | 0 | 0.0 | 92 | 0 | 350 | 0 | | |
| | 29 | 2,723 | 0 | 0.0 | 67 | 0 | 357 | 0 | | |
| | 30 | 2,680 | 0 | 0.0 | 97 | 0 | 352 | 0 | | |
| | 令和1 | 2,647 | 0 | 0.0 | 70 | 0 | 320 | 0 | | |
| | 2 | 2,636 | 0 | 0.0 | 44 | 0 | 339 | 0 | | |
| | 3 | 2,564 | 0 | 0.0 | 42 | 0 | 329 | 0 | | |
| | 4 | 2,382 | 0 | 0.0 | 81 | 0 | 319 | 0 | | |
| 1,2-ジクロロエタン | 平成5 | 924 | 0 | 0.0 | 29 | 0 | 399 | 0 | 評価基準 | 0.004mg/L以下 |
| | 6 | 2,643 | 1 | 0.0 | 169 | 0 | 822 | 1 | | |
| | 7 | 2,853 | 0 | 0.0 | 271 | 1 | 867 | 0 | | |
| | 8 | 2,856 | 0 | 0.0 | 212 | 1 | 1,210 | 4 | | |
| | 9 | 2,762 | 1 | 0.0 | 123 | 0 | 1,295 | 2 | 環境基準 | 0.004mg/L以下 |
| | 10 | 3,580 | 0 | 0.0 | 328 | 9 | 867 | 5 | | |
| | 11 | 3,687 | 1 | 0.0 | 254 | 0 | 1,030 | 7 | | |
| | 12 | 3,301 | 0 | 0.0 | 296 | 6 | 959 | 6 | | |
| | 13 | 3,316 | 0 | 0.0 | 345 | 1 | 1,055 | 12 | | |
| | 14 | 3,360 | 2 | 0.1 | 155 | 0 | 1,094 | 11 | | |
| | 15 | 3,555 | 0 | 0.0 | 148 | 0 | 1,129 | 9 | | |
| | 16 | 3,267 | 0 | 0.0 | 172 | 0 | 1,104 | 9 | | |
| | 17 | 3,136 | 0 | 0.0 | 55 | 0 | 1,102 | 7 | | |
| | 18 | 3,300 | 1 | 0.0 | 120 | 1 | 872 | 8 | | |
| | 19 | 3,198 | 0 | 0.0 | 112 | 0 | 690 | 10 | | |
| | 20 | 3,120 | 0 | 0.0 | 88 | 0 | 650 | 5 | | |
| | 21 | 3,203 | 0 | 0.0 | 105 | 0 | 580 | 7 | | |
| | 22 | 3,025 | 0 | 0.0 | 177 | 1 | 597 | 4 | | |
| | 23 | 2,984 | 0 | 0.0 | 145 | 0 | 535 | 3 | | |
| | 24 | 2,953 | 0 | 0.0 | 178 | 0 | 516 | 5 | | |
| | 25 | 2,985 | 0 | 0.0 | 122 | 0 | 507 | 2 | | |
| | 26 | 2,733 | 0 | 0.0 | 171 | 0 | 516 | 1 | | |
| | 27 | 2,709 | 0 | 0.0 | 60 | 0 | 532 | 0 | | |
| | 28 | 2,672 | 0 | 0.0 | 93 | 0 | 510 | 0 | | |
| | 29 | 2,631 | 0 | 0.0 | 98 | 0 | 514 | 0 | | |
| | 30 | 2,585 | 0 | 0.0 | 161 | 0 | 500 | 0 | | |
| | 令和1 | 2,567 | 0 | 0.0 | 59 | 0 | 464 | 0 | | |
| | 2 | 2,544 | 0 | 0.0 | 55 | 0 | 458 | 0 | | |
| | 3 | 2,468 | 0 | 0.0 | 64 | 0 | 442 | 2 | | |
| | 4 | 2,277 | 0 | 0.0 | 64 | 0 | 437 | 0 | | |

| 調査項目 | 年度 | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区地調査 | | 継続監視調査又は定期モニタリング調査 | | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） | 基準の種類 | 基準値 |
| 1,1-ジクロロエチレン | 平成5 | 1,010 | 1 | 0.1 | 114 | 0 | 583 | 6 | 評価基準 | 0.02mg/L以下 |
| | 6 | 2,671 | 5 | 0.2 | 299 | 5 | 1,219 | 13 | | |
| | 7 | 2,897 | 3 | 0.1 | 479 | 13 | 1,572 | 31 | | |
| | 8 | 2,907 | 1 | 0.0 | 411 | 21 | 1,894 | 32 | | |
| | 9 | 2,862 | 0 | 0.0 | 351 | 3 | 2,010 | 24 | 環境基準 | 0.02mg/L以下 |
| | 10 | 3,594 | 2 | 0.1 | 905 | 9 | 1,685 | 26 | | |
| | 11 | 3,727 | 1 | 0.0 | 729 | 3 | 1,804 | 35 | | |
| | 12 | 3,650 | 2 | 0.1 | 702 | 11 | 1,831 | 37 | | |
| | 13 | 3,668 | 0 | 0.0 | 535 | 1 | 1,964 | 41 | | |
| | 14 | 3,771 | 1 | 0.0 | 244 | 0 | 1,967 | 40 | | |
| | 15 | 3,846 | 0 | 0.0 | 322 | 2 | 2,032 | 38 | | |
| | 16 | 3,744 | 2 | 0.1 | 404 | 2 | 2,077 | 39 | | |
| | 17 | 3,584 | 1 | 0.0 | 264 | 4 | 2,026 | 46 | | |
| | 18 | 3,651 | 0 | 0.0 | 215 | 0 | 1,890 | 33 | | |
| | 19 | 3,567 | 0 | 0.0 | 225 | 1 | 1,843 | 30 | | |
| | 20 | 3,337 | 0 | 0.0 | 340 | 0 | 1,885 | 31 | | |
| | 21 | 3,306 | 0 | 0.0 | 347 | 0 | 1,804 | 2 | | 0.1mg/L以下 |
| | 22 | 3,078 | 0 | 0.0 | 468 | 0 | 1,764 | 4 | | |
| | 23 | 3,037 | 0 | 0.0 | 342 | 0 | 1,750 | 3 | | |
| | 24 | 3,001 | 0 | 0.0 | 419 | 0 | 1,721 | 3 | | |
| | 25 | 2,979 | 0 | 0.0 | 378 | 0 | 1,689 | 2 | | |
| | 26 | 2,723 | 0 | 0.0 | 403 | 1 | 1,647 | 2 | | |
| | 27 | 2,695 | 0 | 0.0 | 253 | 0 | 1,630 | 1 | | |
| | 28 | 2,663 | 0 | 0.0 | 325 | 0 | 1,584 | 5 | | |
| | 29 | 2,625 | 0 | 0.0 | 256 | 0 | 1,549 | 4 | | |
| | 30 | 2,560 | 0 | 0.0 | 307 | 0 | 1,536 | 3 | | |
| | 令和1 | 2,530 | 0 | 0.0 | 246 | 0 | 1,484 | 2 | | |
| | 2 | 2,513 | 0 | 0.0 | 192 | 0 | 1,451 | 1 | | |
| | 3 | 2,444 | 0 | 0.0 | 236 | 0 | 1,421 | 1 | | |
| | 4 | 2,298 | 0 | 0.0 | 226 | 0 | 1,350 | 2 | | |
| 1,1,2-トリクロロエタン | 平成5 | 974 | 0 | 0.0 | 17 | 0 | 368 | 0 | 評価基準 | 0.006mg/L以下 |
| | 6 | 2,637 | 0 | 0.0 | 162 | 0 | 782 | 0 | | |
| | 7 | 2,843 | 0 | 0.0 | 226 | 0 | 812 | 2 | | |
| | 8 | 2,846 | 0 | 0.0 | 217 | 0 | 1,177 | 0 | | |
| | 9 | 2,836 | 0 | 0.0 | 123 | 0 | 1,264 | 0 | 環境基準 | 0.006mg/L以下 |
| | 10 | 3,574 | 0 | 0.0 | 174 | 0 | 854 | 0 | | |
| | 11 | 3,679 | 0 | 0.0 | 239 | 0 | 989 | 6 | | |
| | 12 | 3,286 | 0 | 0.0 | 278 | 2 | 962 | 6 | | |
| | 13 | 3,308 | 0 | 0.0 | 307 | 1 | 1,052 | 4 | | |
| | 14 | 3,359 | 0 | 0.0 | 146 | 0 | 1,084 | 5 | | |
| | 15 | 3,590 | 0 | 0.0 | 148 | 0 | 1,120 | 3 | | |
| | 16 | 3,259 | 1 | 0.0 | 191 | 1 | 1,107 | 2 | | |
| | 17 | 3,127 | 0 | 0.0 | 74 | 0 | 1,014 | 4 | | |
| | 18 | 3,240 | 1 | 0.0 | 159 | 2 | 773 | 4 | | |
| | 19 | 3,136 | 1 | 0.0 | 118 | 0 | 715 | 9 | | |
| | 20 | 2,987 | 0 | 0.0 | 65 | 2 | 659 | 3 | | |
| | 21 | 3,170 | 1 | 0.0 | 123 | 0 | 583 | 1 | | |
| | 22 | 2,938 | 0 | 0.0 | 175 | 0 | 599 | 1 | | |
| | 23 | 2,878 | 0 | 0.0 | 153 | 0 | 522 | 0 | | |
| | 24 | 2,851 | 1 | 0.0 | 183 | 0 | 529 | 1 | | |
| | 25 | 2,876 | 0 | 0.0 | 121 | 0 | 509 | 0 | | |
| | 26 | 2,630 | 0 | 0.0 | 191 | 0 | 535 | 1 | | |
| | 27 | 2,604 | 0 | 0.0 | 69 | 0 | 527 | 0 | | |
| | 28 | 2,572 | 1 | 0.0 | 99 | 0 | 484 | 1 | | |
| | 29 | 2,525 | 0 | 0.0 | 110 | 0 | 500 | 0 | | |
| | 30 | 2,458 | 0 | 0.0 | 166 | 0 | 486 | 0 | | |
| | 令和1 | 2,437 | 0 | 0.0 | 88 | 0 | 466 | 0 | | |
| | 2 | 2,414 | 0 | 0.0 | 89 | 0 | 473 | 0 | | |
| | 3 | 2,341 | 0 | 0.0 | 81 | 0 | 456 | 0 | | |
| | 4 | 2,177 | 0 | 0.0 | 67 | 0 | 449 | 0 | | |

| 調査項目 | 年度 | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区地調査 | | 継続監視調査又は定期モニタリング調査 | | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） | 基準の種類 | 基準値 |
| 1,3-ジクロロプロペン | 平成5 | 908 | 0 | 0.0 | 15 | 0 | 342 | 0 | 評価基準 | 0.002mg/L以下 |
| | 6 | 2,359 | 0 | 0.0 | 114 | 0 | 629 | 0 | | |
| | 7 | 2,574 | 0 | 0.0 | 133 | 0 | 549 | 0 | | |
| | 8 | 2,572 | 0 | 0.0 | 174 | 0 | 652 | 0 | | |
| | 9 | 2,586 | 0 | 0.0 | 93 | 0 | 785 | 0 | 環境基準 | 0.002mg/L以下 |
| | 10 | 3,179 | 0 | 0.0 | 98 | 0 | 368 | 0 | | |
| | 11 | 3,181 | 0 | 0.0 | 178 | 0 | 385 | 0 | | |
| | 12 | 3,039 | 0 | 0.0 | 162 | 0 | 372 | 0 | | |
| | 13 | 2,898 | 0 | 0.0 | 81 | 0 | 412 | 0 | | |
| | 14 | 3,085 | 0 | 0.0 | 95 | 0 | 454 | 0 | | |
| | 15 | 3,082 | 0 | 0.0 | 115 | 0 | 509 | 0 | | |
| | 16 | 3,043 | 0 | 0.0 | 103 | 0 | 520 | 0 | | |
| | 17 | 2,886 | 0 | 0.0 | 41 | 0 | 437 | 0 | | |
| | 18 | 2,940 | 0 | 0.0 | 71 | 0 | 347 | 0 | | |
| | 19 | 2,883 | 0 | 0.0 | 78 | 0 | 294 | 0 | | |
| | 20 | 2,799 | 0 | 0.0 | 46 | 0 | 317 | 0 | | |
| | 21 | 2,922 | 0 | 0.0 | 89 | 0 | 261 | 0 | | |
| | 22 | 2,773 | 0 | 0.0 | 124 | 0 | 270 | 0 | | |
| | 23 | 2,661 | 0 | 0.0 | 93 | 0 | 216 | 0 | | |
| | 24 | 2,646 | 0 | 0.0 | 116 | 0 | 220 | 0 | | |
| | 25 | 2,645 | 0 | 0.0 | 30 | 0 | 210 | 0 | | |
| | 26 | 2,392 | 0 | 0.0 | 137 | 0 | 234 | 0 | | |
| | 27 | 2,364 | 0 | 0.0 | 31 | 0 | 231 | 0 | | |
| | 28 | 2,371 | 0 | 0.0 | 21 | 0 | 197 | 0 | | |
| | 29 | 2,335 | 0 | 0.0 | 33 | 0 | 191 | 0 | | |
| | 30 | 2,257 | 0 | 0.0 | 53 | 0 | 190 | 0 | | |
| | 令和1 | 2,243 | 0 | 0.0 | 30 | 0 | 160 | 0 | | |
| | 2 | 2,199 | 0 | 0.0 | 30 | 0 | 154 | 0 | | |
| | 3 | 2,169 | 0 | 0.0 | 23 | 0 | 149 | 0 | | |
| | 4 | 2,039 | 0 | 0.0 | 39 | 0 | 136 | 0 | | |
| チウラム | 平成5 | 892 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 322 | 0 | 評価基準 | 0.006mg/L以下 |
| | 6 | 2,307 | 0 | 0.0 | 5 | 0 | 553 | 0 | | |
| | 7 | 2,459 | 0 | 0.0 | 20 | 0 | 514 | 0 | | |
| | 8 | 2,405 | 0 | 0.0 | 14 | 0 | 537 | 0 | | |
| | 9 | 2,376 | 0 | 0.0 | 16 | 0 | 609 | 0 | 環境基準 | 0.006mg/L以下 |
| | 10 | 2,764 | 0 | 0.0 | 8 | 0 | 195 | 0 | | |
| | 11 | 2,490 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 186 | 0 | | |
| | 12 | 2,528 | 0 | 0.0 | 10 | 0 | 171 | 0 | | |
| | 13 | 2,506 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 201 | 0 | | |
| | 14 | 2,494 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 258 | 0 | | |
| | 15 | 2,625 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 233 | 0 | | |
| | 16 | 2,472 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 204 | 0 | | |
| | 17 | 2,322 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 222 | 0 | | |
| | 18 | 2,411 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 92 | 0 | | |
| | 19 | 2,404 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 81 | 0 | | |
| | 20 | 2,330 | 0 | 0.0 | 15 | 0 | 90 | 0 | | |
| | 21 | 2,585 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 53 | 0 | | |
| | 22 | 2,509 | 0 | 0.0 | 14 | 0 | 47 | 0 | | |
| | 23 | 2,432 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 32 | 0 | | |
| | 24 | 2,451 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 35 | 0 | | |
| | 25 | 2,460 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 34 | 0 | | |
| | 26 | 2,263 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 33 | 0 | | |
| | 27 | 2,241 | 0 | 0.0 | 7 | 0 | 36 | 0 | | |
| | 28 | 2,267 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 34 | 0 | | |
| | 29 | 2,216 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 29 | 0 | | |
| | 30 | 2,190 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 31 | 0 | | |
| | 令和1 | 2,189 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 9 | 0 | | |
| | 2 | 2,135 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 13 | 0 | | |
| | 3 | 2,105 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 8 | 0 | | |
| | 4 | 1,970 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 8 | 0 | | |

| 調査項目 | 年度 | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区地調査 | | 継続監視調査又は定期モニタリング調査 | | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） | 基準の種類 | 基準値 |
| シマジン | 平成5 | 892 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 320 | 0 | 評価基準 | 0.003mg/L以下 |
| | 6 | 2,284 | 0 | 0.0 | 18 | 0 | 553 | 0 | | |
| | 7 | 2,445 | 0 | 0.0 | 22 | 0 | 509 | 0 | | |
| | 8 | 2,380 | 0 | 0.0 | 7 | 0 | 534 | 0 | | |
| | 9 | 2,369 | 0 | 0.0 | 16 | 0 | 598 | 0 | 環境基準 | 0.003mg/L以下 |
| | 10 | 2,826 | 0 | 0.0 | 41 | 0 | 194 | 0 | | |
| | 11 | 2,549 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 190 | 0 | | |
| | 12 | 2,508 | 0 | 0.0 | 10 | 0 | 174 | 0 | | |
| | 13 | 2,638 | 0 | 0.0 | 7 | 0 | 205 | 0 | | |
| | 14 | 2,547 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 258 | 0 | | |
| | 15 | 2,614 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 233 | 0 | | |
| | 16 | 2,628 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 204 | 0 | | |
| | 17 | 2,402 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 222 | 0 | | |
| | 18 | 2,478 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 92 | 0 | | |
| | 19 | 2,471 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 81 | 0 | | |
| | 20 | 2,391 | 0 | 0.0 | 15 | 0 | 91 | 0 | | |
| | 21 | 2,643 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 52 | 0 | | |
| | 22 | 2,563 | 0 | 0.0 | 14 | 0 | 47 | 0 | | |
| | 23 | 2,420 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 32 | 0 | | |
| | 24 | 2,448 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 34 | 0 | | |
| | 25 | 2,457 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 34 | 0 | | |
| | 26 | 2,260 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 33 | 0 | | |
| | 27 | 2,238 | 0 | 0.0 | 7 | 0 | 36 | 0 | | |
| | 28 | 2,264 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 34 | 0 | | |
| | 29 | 2,213 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 29 | 0 | | |
| | 30 | 2,188 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 31 | 0 | | |
| | 令和1 | 2,184 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 9 | 0 | | |
| | 2 | 2,132 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 13 | 0 | | |
| | 3 | 2,103 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 8 | 0 | | |
| | 4 | 1,975 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 8 | 0 | | |
| チオベンカルブ | 平成5 | 892 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 320 | 0 | 評価基準 | 0.002mg/L以下 |
| | 6 | 2,287 | 0 | 0.0 | 5 | 0 | 550 | 0 | | |
| | 7 | 2,444 | 0 | 0.0 | 12 | 0 | 507 | 0 | | |
| | 8 | 2,377 | 0 | 0.0 | 7 | 0 | 532 | 0 | | |
| | 9 | 2,381 | 0 | 0.0 | 16 | 0 | 598 | 0 | 環境基準 | 0.002mg/L以下 |
| | 10 | 2,759 | 0 | 0.0 | 8 | 0 | 194 | 0 | | |
| | 11 | 2,476 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 186 | 0 | | |
| | 12 | 2,453 | 0 | 0.0 | 10 | 0 | 171 | 0 | | |
| | 13 | 2,575 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 201 | 0 | | |
| | 14 | 2,487 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 258 | 0 | | |
| | 15 | 2,573 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 233 | 0 | | |
| | 16 | 2,539 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 204 | 0 | | |
| | 17 | 2,319 | 0 | 0.0 | 4 | 0 | 222 | 0 | | |
| | 18 | 2,409 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 92 | 0 | | |
| | 19 | 2,399 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 81 | 0 | | |
| | 20 | 2,327 | 0 | 0.0 | 15 | 0 | 90 | 0 | | |
| | 21 | 2,583 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 52 | 0 | | |
| | 22 | 2,506 | 0 | 0.0 | 14 | 0 | 47 | 0 | | |
| | 23 | 2,419 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 32 | 0 | | |
| | 24 | 2,448 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 34 | 0 | | |
| | 25 | 2,456 | 0 | 0.0 | 2 | 0 | 34 | 0 | | |
| | 26 | 2,260 | 0 | 0.0 | 3 | 0 | 33 | 0 | | |
| | 27 | 2,238 | 0 | 0.0 | 7 | 0 | 36 | 0 | | |
| | 28 | 2,263 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 34 | 0 | | |
| | 29 | 2,213 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 29 | 0 | | |
| | 30 | 2,188 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 31 | 0 | | |
| | 令和1 | 2,183 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 9 | 0 | | |
| | 2 | 2,132 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 13 | 0 | | |
| | 3 | 2,103 | 0 | 0.0 | 1 | 0 | 8 | 0 | | |
| | 4 | 1,972 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 8 | 0 | | |

| 調査項目 | 年度 | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区地調査 | | 継続監視調査又は定期モニタリング調査 | | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） | 基準の種類 | 基準値 |
| ベンゼン | 平成5 | 909 | 1 | 0.1 | 36 | 1 | 335 | 0 | 評価基準 | 0.001mg/L以下 |
| | 6 | 2,506 | 0 | 0.0 | 124 | 1 | 659 | 0 | | |
| | 7 | 2,661 | 0 | 0.0 | 173 | 6 | 573 | 2 | | |
| | 8 | 2,618 | 0 | 0.0 | 186 | 0 | 729 | 2 | | |
| | 9 | 2,695 | 0 | 0.0 | 106 | 4 | 815 | 2 | 環境基準 | 0.01mg/L以下 |
| | 10 | 3,536 | 0 | 0.0 | 178 | 4 | 451 | 2 | | |
| | 11 | 3,610 | 0 | 0.0 | 243 | 2 | 442 | 0 | | |
| | 12 | 3,436 | 0 | 0.0 | 211 | 1 | 425 | 1 | | |
| | 13 | 3,324 | 0 | 0.0 | 266 | 1 | 496 | 11 | | |
| | 14 | 3,563 | 1 | 0.0 | 136 | 1 | 544 | 6 | | |
| | 15 | 3,590 | 0 | 0.0 | 118 | 0 | 606 | 4 | | |
| | 16 | 3,524 | 0 | 0.0 | 107 | 0 | 604 | 3 | | |
| | 17 | 3,389 | 2 | 0.1 | 122 | 1 | 517 | 3 | | |
| | 18 | 3,485 | 0 | 0.0 | 96 | 0 | 466 | 3 | | |
| | 19 | 3,396 | 0 | 0.0 | 168 | 4 | 410 | 2 | | |
| | 20 | 3,238 | 0 | 0.0 | 156 | 0 | 431 | 5 | | |
| | 21 | 3,277 | 0 | 0.0 | 139 | 1 | 367 | 4 | | |
| | 22 | 3,106 | 0 | 0.0 | 177 | 0 | 353 | 3 | | |
| | 23 | 3,044 | 0 | 0.0 | 154 | 0 | 302 | 3 | | |
| | 24 | 2,999 | 0 | 0.0 | 158 | 0 | 324 | 3 | | |
| | 25 | 3,010 | 0 | 0.0 | 104 | 1 | 293 | 4 | | |
| | 26 | 2,751 | 1 | 0.0 | 193 | 0 | 320 | 4 | | |
| | 27 | 2,717 | 0 | 0.0 | 59 | 0 | 322 | 4 | | |
| | 28 | 2,722 | 0 | 0.0 | 92 | 1 | 290 | 5 | | |
| | 29 | 2,676 | 0 | 0.0 | 48 | 0 | 280 | 5 | | |
| | 30 | 2,612 | 0 | 0.0 | 113 | 0 | 279 | 3 | | |
| | 令和1 | 2,595 | 0 | 0.0 | 76 | 0 | 244 | 6 | | |
| | 2 | 2,573 | 0 | 0.0 | 51 | 1 | 236 | 6 | | |
| | 3 | 2,518 | 0 | 0.0 | 37 | 0 | 221 | 3 | | |
| | 4 | 2,342 | 0 | 0.0 | 64 | 1 | 217 | 3 | | |
| セレン | 平成5 | 940 | 0 | 0.0 | 0 | 0 | 330 | 0 | 評価基準 | 0.01mg/L以下 |
| | 6 | 2,263 | 0 | 0.0 | 38 | 0 | 555 | 0 | | |
| | 7 | 2,336 | 0 | 0.0 | 28 | 0 | 518 | 0 | | |
| | 8 | 2,230 | 0 | 0.0 | 29 | 0 | 550 | 0 | | |
| | 9 | 2,229 | 0 | 0.0 | 46 | 1 | 595 | 1 | 環境基準 | 0.01mg/L以下 |
| | 10 | 2,935 | 0 | 0.0 | 41 | 0 | 198 | 0 | | |
| | 11 | 2,758 | 0 | 0.0 | 27 | 0 | 192 | 0 | | |
| | 12 | 2,634 | 0 | 0.0 | 36 | 0 | 193 | 0 | | |
| | 13 | 2,600 | 0 | 0.0 | 24 | 0 | 203 | 0 | | |
| | 14 | 2,650 | 0 | 0.0 | 37 | 1 | 272 | 0 | | |
| | 15 | 2,919 | 0 | 0.0 | 24 | 0 | 276 | 0 | | |
| | 16 | 2,698 | 1 | 0.0 | 32 | 0 | 242 | 0 | | |
| | 17 | 2,599 | 1 | 0.0 | 48 | 0 | 218 | 0 | | |
| | 18 | 2,713 | 0 | 0.0 | 35 | 0 | 119 | 0 | | |
| | 19 | 2,830 | 0 | 0.0 | 46 | 0 | 157 | 0 | | |
| | 20 | 2,624 | 0 | 0.0 | 64 | 0 | 208 | 0 | | |
| | 21 | 2,965 | 0 | 0.0 | 21 | 0 | 81 | 0 | | |
| | 22 | 2,818 | 0 | 0.0 | 49 | 0 | 58 | 0 | | |
| | 23 | 2,738 | 0 | 0.0 | 23 | 0 | 47 | 0 | | |
| | 24 | 2,725 | 0 | 0.0 | 22 | 0 | 46 | 0 | | |
| | 25 | 2,720 | 0 | 0.0 | 24 | 0 | 46 | 0 | | |
| | 26 | 2,533 | 0 | 0.0 | 20 | 0 | 48 | 0 | | |
| | 27 | 2,482 | 0 | 0.0 | 31 | 0 | 47 | 0 | | |
| | 28 | 2,494 | 0 | 0.0 | 22 | 0 | 49 | 0 | | |
| | 29 | 2,441 | 0 | 0.0 | 23 | 0 | 44 | 1 | | |
| | 30 | 2,432 | 0 | 0.0 | 20 | 0 | 48 | 1 | | |
| | 令和1 | 2,447 | 0 | 0.0 | 17 | 0 | 27 | 1 | | |
| | 2 | 2,419 | 0 | 0.0 | 39 | 2 | 32 | 1 | | |
| | 3 | 2,346 | 0 | 0.0 | 23 | 0 | 46 | 1 | | |
| | 4 | 2,206 | 0 | 0.0 | 16 | 0 | 26 | 1 | | |

| 調査項目 | 年度 | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区地調査 | | 継続監視調査又は定期モニタリング調査 | | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） | 基準の種類 | 基準値 |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸態窒素 | 平成11 | 3,374 | 173 | 5.1 | 650 | 182 | 807 | 66 | 環境基準 | 10mg/L以下 |
| | 12 | 4,167 | 253 | 6.1 | 1,682 | 479 | 988 | 165 | | |
| | 13 | 4,017 | 231 | 5.8 | 1,343 | 535 | 1,113 | 272 | | |
| | 14 | 4,207 | 247 | 5.9 | 1,199 | 296 | 1,324 | 423 | | |
| | 15 | 4,288 | 280 | 6.5 | 1,101 | 309 | 1,504 | 501 | | |
| | 16 | 4,260 | 235 | 5.5 | 928 | 283 | 1,750 | 637 | | |
| | 17 | 4,122 | 174 | 4.2 | 714 | 221 | 1,815 | 651 | | |
| | 18 | 4,193 | 179 | 4.3 | 789 | 266 | 1,732 | 715 | | |
| | 19 | 4,232 | 172 | 4.1 | 608 | 128 | 1,654 | 729 | | |
| | 20 | 3,830 | 167 | 4.4 | 461 | 96 | 1,945 | 757 | | |
| | 21 | 3,895 | 149 | 3.8 | 500 | 96 | 1,713 | 788 | | |
| | 22 | 3,361 | 144 | 4.3 | 691 | 160 | 1,723 | 813 | | |
| | 23 | 3,227 | 117 | 3.6 | 427 | 89 | 1,677 | 796 | | |
| | 24 | 3,240 | 117 | 3.6 | 401 | 94 | 1,625 | 769 | | |
| | 25 | 3,289 | 107 | 3.3 | 389 | 60 | 1,629 | 760 | | |
| | 26 | 3,084 | 90 | 2.9 | 266 | 42 | 1,661 | 733 | | |
| | 27 | 3,033 | 105 | 3.5 | 352 | 87 | 1,642 | 720 | | |
| | 28 | 2,976 | 107 | 3.6 | 378 | 61 | 1,612 | 653 | | |
| | 29 | 2,925 | 81 | 2.8 | 228 | 45 | 1,649 | 683 | | |
| | 30 | 2,954 | 85 | 2.9 | 254 | 44 | 1,526 | 650 | | |
| | 令和1 | 2,957 | 88 | 3.0 | 350 | 78 | 1,541 | 656 | | |
| | 2 | 2,871 | 94 | 3.3 | 301 | 69 | 1,543 | 639 | | |
| | 3 | 2,773 | 56 | 2.0 | 166 | 14 | 1,484 | 582 | | |
| | 4 | 2,613 | 71 | 2.7 | 172 | 33 | 1,437 | 585 | | |
| ふっ素 | 平成11 | 2,049 | 24 | 1.2 | 147 | 12 | 268 | 9 | 環境基準 | 0.8mg/L以下 |
| | 12 | 3,276 | 25 | 0.8 | 658 | 112 | 417 | 19 | | |
| | 13 | 3,558 | 25 | 0.7 | 285 | 31 | 839 | 53 | | |
| | 14 | 4,117 | 16 | 0.4 | 207 | 31 | 446 | 80 | | |
| | 15 | 3,934 | 27 | 0.7 | 218 | 29 | 455 | 83 | | |
| | 16 | 3,542 | 19 | 0.5 | 142 | 18 | 441 | 89 | | |
| | 17 | 3,703 | 30 | 0.8 | 270 | 47 | 601 | 108 | | |
| | 18 | 3,817 | 32 | 0.8 | 190 | 41 | 536 | 103 | | |
| | 19 | 3,890 | 41 | 1.1 | 203 | 46 | 376 | 114 | | |
| | 20 | 3,537 | 23 | 0.7 | 185 | 10 | 582 | 148 | | |
| | 21 | 3,527 | 17 | 0.5 | 155 | 5 | 365 | 138 | | |
| | 22 | 3,088 | 20 | 0.6 | 253 | 20 | 380 | 156 | | |
| | 23 | 3,027 | 21 | 0.7 | 184 | 14 | 362 | 158 | | |
| | 24 | 2,964 | 18 | 0.6 | 142 | 5 | 391 | 151 | | |
| | 25 | 2,983 | 16 | 0.5 | 113 | 7 | 417 | 162 | | |
| | 26 | 2,783 | 26 | 0.9 | 120 | 12 | 422 | 167 | | |
| | 27 | 2,755 | 16 | 0.6 | 129 | 9 | 427 | 175 | | |
| | 28 | 2,807 | 16 | 0.6 | 113 | 13 | 412 | 176 | | |
| | 29 | 2,751 | 17 | 0.6 | 116 | 7 | 420 | 179 | | |
| | 30 | 2,725 | 22 | 0.8 | 171 | 4 | 406 | 174 | | |
| | 令和1 | 2,733 | 26 | 1.0 | 75 | 13 | 404 | 173 | | |
| | 2 | 2,635 | 21 | 0.8 | 268 | 39 | 380 | 165 | | |
| | 3 | 2,589 | 18 | 0.7 | 140 | 17 | 419 | 171 | | |
| | 4 | 2,472 | 24 | 1.0 | 60 | 8 | 399 | 169 | | |
| ほう素 | 平成11 | 1,752 | 2 | 0.1 | 27 | 0 | 219 | 4 | 環境基準 | 1mg/L以下 |
| | 12 | 3,210 | 16 | 0.5 | 231 | 4 | 314 | 5 | | |
| | 13 | 3,408 | 14 | 0.4 | 141 | 20 | 738 | 9 | | |
| | 14 | 3,989 | 5 | 0.1 | 217 | 12 | 287 | 15 | | |
| | 15 | 3,819 | 9 | 0.2 | 157 | 12 | 297 | 20 | | |
| | 16 | 3,499 | 8 | 0.2 | 92 | 1 | 291 | 26 | | |
| | 17 | 3,342 | 5 | 0.1 | 145 | 9 | 396 | 32 | | |
| | 18 | 3,396 | 8 | 0.2 | 59 | 4 | 301 | 39 | | |
| | 19 | 3,289 | 6 | 0.2 | 71 | 1 | 199 | 35 | | |
| | 20 | 3,149 | 9 | 0.3 | 62 | 2 | 220 | 39 | | |
| | 21 | 3,068 | 7 | 0.2 | 48 | 0 | 203 | 45 | | |
| | 22 | 2,956 | 9 | 0.3 | 176 | 11 | 176 | 44 | | |
| | 23 | 2,926 | 7 | 0.2 | 101 | 11 | 162 | 41 | | |
| | 24 | 2,868 | 3 | 0.1 | 68 | 3 | 176 | 43 | | |
| | 25 | 2,891 | 9 | 0.3 | 67 | 6 | 181 | 42 | | |
| | 26 | 2,676 | 7 | 0.3 | 50 | 5 | 174 | 43 | | |
| | 27 | 2,635 | 5 | 0.2 | 50 | 3 | 179 | 44 | | |
| | 28 | 2,628 | 3 | 0.1 | 56 | 1 | 177 | 40 | | |
| | 29 | 2,603 | 7 | 0.3 | 56 | 12 | 172 | 44 | | |
| | 30 | 2,570 | 9 | 0.4 | 60 | 16 | 177 | 34 | | |
| | 令和1 | 2,590 | 5 | 0.2 | 53 | 3 | 164 | 47 | | |
| | 2 | 2,562 | 7 | 0.3 | 230 | 8 | 165 | 47 | | |
| | 3 | 2,500 | 4 | 0.2 | 41 | 5 | 184 | 48 | | |
| | 4 | 2,330 | 5 | 0.2 | 27 | 3 | 165 | 47 | | |

| 調査項目 | 年度 | 概況調査 | | | 汚染井戸周辺地区地調査 | | 継続監視調査又は定期モニタリング調査 | | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査数（本） | 超過数（本） | 調査数（本） | 超過数（本） | 基準の種類 | 基準値 |
| クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー） | 平成21 | 179 | 0 | 0.0 | 25 | 0 | 23 | 8 | 環境基準 | 0.002mg/L以下 |
| | 22 | 2,311 | 4 | 0.2 | 282 | 5 | 852 | 48 | | |
| | 23 | 2,764 | 7 | 0.3 | 295 | 13 | 1,189 | 57 | | |
| | 24 | 2,716 | 1 | 0.0 | 273 | 14 | 1,365 | 83 | | |
| | 25 | 2,679 | 5 | 0.2 | 244 | 1 | 1,381 | 92 | | |
| | 26 | 2,495 | 2 | 0.1 | 357 | 8 | 1,374 | 94 | | |
| | 27 | 2,474 | 0 | 0.0 | 248 | 1 | 1,346 | 91 | | |
| | 28 | 2,430 | 1 | 0.0 | 256 | 2 | 1,326 | 87 | | |
| | 29 | 2,433 | 4 | 0.2 | 211 | 9 | 1,355 | 92 | | |
| | 30 | 2,390 | 1 | 0.0 | 242 | 3 | 1,350 | 89 | | |
| | 令和1 | 2,379 | 1 | 0.0 | 247 | 10 | 1,312 | 91 | | |
| | 2 | 2,385 | 1 | 0.0 | 207 | 2 | 1,346 | 91 | | |
| | 3 | 2,337 | 4 | 0.2 | 226 | 2 | 1,321 | 85 | | |
| | 4 | 2,202 | 3 | 0.1 | 199 | 3 | 1,290 | 83 | | |
| 1,2-ジクロロエチレン | 平成21 | 138 | 0 | 0.0 | 107 | 0 | 97 | 8 | 環境基準 | 0.04mg/L以下 |
| | 22 | 2,935 | 0 | 0.0 | 325 | 3 | 1,833 | 160 | | |
| | 23 | 3,133 | 3 | 0.1 | 321 | 5 | 1,846 | 162 | | |
| | 24 | 3,097 | 2 | 0.1 | 427 | 13 | 1,826 | 154 | | |
| | 25 | 3,043 | 2 | 0.1 | 376 | 4 | 1,808 | 148 | | |
| | 26 | 2,831 | 0 | 0.0 | 388 | 7 | 1,758 | 143 | | |
| | 27 | 2,801 | 1 | 0.0 | 262 | 1 | 1,731 | 137 | | |
| | 28 | 2,769 | 2 | 0.1 | 324 | 2 | 1,674 | 120 | | |
| | 29 | 2,734 | 1 | 0.0 | 260 | 3 | 1,632 | 115 | | |
| | 30 | 2,686 | 0 | 0.0 | 304 | 3 | 1,611 | 109 | | |
| | 令和1 | 2,662 | 1 | 0.0 | 248 | 7 | 1,561 | 105 | | |
| | 2 | 2,651 | 3 | 0.1 | 217 | 2 | 1,540 | 105 | | |
| | 3 | 2,575 | 2 | 0.1 | 236 | 1 | 1,486 | 101 | | |
| | 4 | 2,401 | 3 | 0.1 | 228 | 2 | 1,413 | 95 | | |
| 1,4-ジオキサン | 平成21 | 226 | 0 | 0.0 | 22 | 0 | 0 | 0 | 環境基準 | 0.05mg/L以下 |
| | 22 | 2,456 | 0 | 0.0 | 52 | 0 | 116 | 0 | | |
| | 23 | 2,731 | 1 | 0.0 | 61 | 1 | 83 | 1 | | |
| | 24 | 2,672 | 1 | 0.0 | 26 | 2 | 92 | 2 | | |
| | 25 | 2,701 | 0 | 0.0 | 31 | 0 | 102 | 3 | | |
| | 26 | 2,519 | 0 | 0.0 | 149 | 2 | 143 | 4 | | |
| | 27 | 2,483 | 2 | 0.1 | 53 | 2 | 133 | 4 | | |
| | 28 | 2,460 | 0 | 0.0 | 18 | 0 | 109 | 5 | | |
| | 29 | 2,429 | 0 | 0.0 | 22 | 0 | 108 | 4 | | |
| | 30 | 2,405 | 0 | 0.0 | 49 | 0 | 111 | 5 | | |
| | 令和1 | 2,400 | 1 | 0.0 | 36 | 1 | 93 | 6 | | |
| | 2 | 2,382 | 0 | 0.0 | 45 | 6 | 97 | 9 | | |
| | 3 | 2,320 | 0 | 0.0 | 19 | 0 | 76 | 6 | | |
| | 4 | 2,165 | 0 | 0.0 | 37 | 0 | 76 | 8 | | |

(参考)平成6～10年度地下水質要監視項目測定結果

| 調査項目 | 年度 | 調査数（本） | 超過数（本） | 超過率（%） | 指針値 |
|---|---|---|---|---|---|
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 平成6 | 1,685 | 47 | 2.8 | 10 mg/L以下 |
| | 7 | 1,945 | 98 | 5.0 | |
| | 8 | 1,918 | 94 | 4.9 | |
| | 9 | 2,654 | 173 | 6.5 | |
| | 10 | 3,897 | 244 | 6.3 | |
| ふっ素 | 平成6 | 571 | 6 | 1.1 | 0.8 mg/L以下 |
| | 7 | 612 | 3 | 0.5 | |
| | 8 | 567 | 7 | 1.2 | |
| | 9 | 648 | 4 | 0.6 | |
| | 10 | 855 | 14 | 1.6 | |
| ほう素 | 平成6 | 154 | 1 | 0.6 | 0.2 mg/L以下 |
| | 7 | 157 | 1 | 0.6 | |
| | 8 | 192 | 0 | 0.0 | |
| | 9 | 215 | 1 | 0.5 | |
| | 10 | 558 | 1 | 0.2 | |

注：硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素は、平成５年に要監視項目として設定され、平成 11 年に環境基準項目に移行した。その間、平成６年度から 10 年度まで要監視項目として行われた測定の結果をまとめた。超過数は、現在の環境基準値を超過した井戸の数である。

## 参考資料７　高濃度検出井戸における汚染原因及び対策等の状況

地下水において環境基準を超える汚染が判明した場合は、都道府県等によって、人の健康を保護する観点から飲用指導等利用面からの措置、汚染範囲や汚染源の特定等の調査、また、地下水の用途等を考慮しつつ浄化等の対策の推進が行われている。

令和４年度調査結果において環境基準を超過した井戸のうち、特に高濃度であった井戸（及びその周辺）における汚染原因及び対策等の状況についてとりまとめを行った。

### （１）対象井戸

水濁法第 15 条第１項及び第２項に基づく地下水質測定結果において以下に該当する井戸とした。

① 環境基準を超過した項目の最高濃度を検出した井戸

② 環境基準の 100 倍以上の濃度を検出した井戸

③ 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素については高濃度を検出した井戸の上位 10 本の井戸

※濃度は調査区分ごとの年平均値

### （２）各欄の記述内容について

環境省が都道府県等を対象に毎年度実施している「地下水汚染に関するアンケート調査」の回答を基に記載した。調査の回答については選択式としたが、一部、都道府県等によって補足説明が追加されている。各項目の詳細は以下のとおり。

○周辺の地下水の用途（汚染判明以前）

汚染が判明する以前の地下水の用途である。水濁法第 15 条第１項及び第２項に基づく測定を行ったその井戸に限らず、その周辺の地下水の用途を示している。

○汚染判明後の飲用指導等の措置の状況

「井戸所有者へ飲用・使用方法指導」

井戸水を飲用しないこと、揮発性有機化合物による汚染の場合は煮沸して飲用すること等、飲用方法や使用方法についての指導内容について記載している。

○汚染原因

汚染原因の把握状況として、「特定」、「推定」、「不明」の選択肢があり、「特定」又は「推定」であった場合は、汚染原因を次の選択肢から選択するようにしている。

① 工場・事業場の排水・廃液・原料等

② 廃棄物

③ 家畜排せつ物

④ 施肥

⑤ 生活排水

⑥ 自然的要因

⑦ その他

なお、「特定」と「推定」の別は、回答を行った地方公共団体の定義や判断による。

○汚染原因者業種

汚染原因者が特定又は推定されている場合、汚染原因者の主たる業種について「日本標準産業分類」（総務省）による業種分類から選択されている。

○硝酸性窒素対策

硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染対策について、記載している。

| 地下水質測定結果（水濁法第15条1項及び第2項に基づく常時監視） | | | | | 地下水汚染の状況 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 順位 | 調査区分 | 濃度（mg/L）<br>（環境基準比） | 所在地 | 汚染判明年度 | 周辺の地下水の用途（汚染判明年度以前） | 汚染判明後の飲用指導等の措置の状況 | 汚染原因及びその対応等 | | | 地下水浄化等対策 | |
| | | | | | | | | 汚染原因 | 汚染原因業種 | 原因者に対する地方公共団体の対応・指導 | 浄化等の対策の内容 | 対策の実施主体 |
| カドミウム | 1 | 継続監視調査 | 0.0092<br>(3.1倍) | 福島県只見町蒲生 | 2011 | 個人等の飲用水<br>生活用水 | 井戸所有者への指導 | 自然由来 | - | - | 対策予定なし | - |
| 鉛 | 1 | 継続監視調査 | 0.12<br>(12倍) | 東京都中央区 | 1996 | 利用していない | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | - | - | - | - | - |
| 六価クロム | 1 | 汚染井戸周辺地区調査 | 6.8<br>(340倍) | 佐賀県鳥栖市原町 | 1993 | 工業用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | 工場・事業場 | その他の工場・事業場 | 行政指導 | 地下水揚水処理 | 汚染原因者 |
| 砒素 | 1 | 継続監視調査 | 0.51<br>(51倍) | 石川県羽咋市大川町 | 2004 | 上水道源<br>個人等の飲用水<br>生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | 自然由来 | - | - | 対策予定なし | - |
| 総水銀 | 1 | 継続監視調査 | 0.056<br>(112倍) | 京都府城陽市 | 2018 | 生活用水<br>工業用水<br>農業用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>その他 | - | - | - | 対策予定なし | - |
| 四塩化炭素 | 1 | 継続監視調査 | 0.014<br>(7.0倍) | 千葉県芝山町小池 | 2019 | 個人等の飲用水<br>生活用水<br>工業用水<br>農業用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | - | - | - | 地下水汚染対策検討中 | - |
| ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ（別名塩化ﾋﾞﾆﾙ又は塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ） | 1 | 継続監視調査 | 2.3<br>(1150倍) | 栃木県栃木市薗部町４ | 2011 | 不明 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | 工場・事業場 | その他の工場・事業場 | 行政指導 | 地下水汚染対策検討中 | 土地の所有者 |
| ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ（別名塩化ﾋﾞﾆﾙ又は塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ） | 2 | 継続監視調査 | 1.8<br>(900倍) | 大阪府高槻市桃園町 | 1981 | 上水道源 | 特に対応していない | 工場・事業場 | 化学工業 | 行政指導 | 地下水揚水処理<br>原位置処理<br>汚染土壌の処理 | 複数の汚染原因者 |
| ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ（別名塩化ﾋﾞﾆﾙ又は塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ） | 3 | 継続監視調査 | 1.7<br>(850倍) | 大阪府高槻市南庄所町 | 2020 | 利用していない | 特に対応していない | - | - | - | 対策予定なし | - |
| ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ（別名塩化ﾋﾞﾆﾙ又は塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ） | 4 | 継続監視調査 | 1.1<br>(550倍) | 秋田県由利本荘市大浦 | 1998 | 生活用水 | 特に対応していない | 工場・事業場 | 電子部品・デバイス・電子回路製造業 | 行政指導 | 地下水揚水処理<br>原位置処理 | 汚染原因者 |

| 地下水質測定結果（水濁法第15条1項及び第2項に基づく常時監視） | | | | | 地下水汚染の状況 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 順位 | 調査区分 | 濃度(mg/L)<br>(環境基準比) | 所在地 | 汚染判明年度 | 周辺の地下水の用途（汚染判明年度以前） | 汚染判明後の飲用指導等の措置の状況 | 汚染原因及びその対応等 | | | 地下水浄化等対策 | | |
| | | | | | | | | 汚染原因 | 汚染原因業種 | 原因者に対する地方公共団体の対応・指導 | 浄化等の対策の内容 | 対策の実施主体 | |
| ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ（別名塩化ﾋﾞﾆﾙ又は塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ） | 5 | 継続監視調査 | 0.85<br>(425倍) | 栃木県野木町潤島 | 1999 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>その他 | 工場・事業場 | 電気機械器具製造業 | 栃木県地下水汚染対策要領 | 対策予定なし | - | |
| ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ（別名塩化ﾋﾞﾆﾙ又は塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ） | 6 | 継続監視調査 | 0.42<br>(210倍) | 大阪府高槻市桃園町 | 1981 | 上水道源 | 特に対応していない | 工場・事業場 | 化学工業 | 行政指導 | 地下水揚水処理<br>原位置処理<br>汚染土壌の処理 | 複数の汚染原因者 | |
| ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ（別名塩化ﾋﾞﾆﾙ又は塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ） | 7 | 継続監視調査 | 0.33<br>(165倍) | 大阪府吹田市南吹田 | 1990 | 利用していない | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | 工場・事業場 | 非鉄金属製造工業 | 行政指導 | 地下水揚水処理<br>バイオレメディエーション<br>原位置処理<br>土壌ガス吸引処理 | 汚染原因者 | |
| ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ（別名塩化ﾋﾞﾆﾙ又は塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ） | 8 | 継続監視調査 | 0.27<br>(135倍) | 静岡県御殿場市杉名沢 | 1987 | 上水道源<br>生活用水<br>工業用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え<br>浄水器設置又はその補助や指導等 | 廃棄物<br>工場・事業場 | 非鉄金属製造工業 | - | 地下水揚水処理 | 汚染原因者 | |
| ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ（別名塩化ﾋﾞﾆﾙ又は塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ） | 9 | 継続監視調査 | 0.23<br>(115倍) | 群馬県 館林市松原二丁目 | 2001 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | - | - | - | - | - | |
| 1,1-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ | 1 | 継続監視調査 | 0.4<br>(4.0倍) | 千葉県野田市木間ケ瀬 | 1993 | 個人等の飲用水<br>生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | 工場・事業場<br>廃棄物 | 廃棄物処理業 | 県地下水汚染防止対策指導要綱 | 地下水揚水処理<br>その他の処理 | 汚染原因者 | |
| 1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ | 1 | 継続監視調査 | 19.5<br>(487.5倍) | 栃木県栃木市薗部町４ | 2011 | 不明 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | 工場・事業場 | その他の工場・事業場 | 行政指導 | 地下水汚染対策検討中 | 土地の所有者 | |
| 1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ | 2 | 継続監視調査 | 9.5<br>(237.5倍) | 静岡県御殿場市杉名沢 | 1987 | 上水道源<br>生活用水<br>工業用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え<br>浄水器設置又はその補助や指導等 | 廃棄物<br>工場・事業場 | 非鉄金属製造工業 | - | 地下水揚水処理 | 汚染原因者 | |
| 1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ | 3 | 継続監視調査 | 7.5<br>(187.5倍) | 大阪府高槻市桃園町 | 1981 | 上水道源 | 特に対応していない | 工場・事業場 | 化学工業 | 行政指導 | 地下水揚水処理<br>原位置処理<br>汚染土壌の処理 | 複数の汚染原因者 | |
| 1,2-ｼﾞｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ | 4 | 継続監視調査 | 5.3<br>(132.5倍) | 大阪府高槻市南庄所町 | 2020 | 利用していない | 特に対応していない | - | - | - | 対策予定なし | - | |

| 地下水質測定結果（水濁法第15条1項及び第2項に基づく常時監視） | | | | | 地下水汚染の状況 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 順位 | 調査区分 | 濃度(mg/L)<br>(環境基準比) | 所在地 | 汚染判明年度 | 周辺の地下水の用途（汚染判明年度以前） | 汚染判明後の飲用指導等の措置の状況 | 汚染原因及びその対応等 | | | 地下水浄化等対策 | |
| | | | | | | | | 汚染原因 | 汚染原因業種 | 原因者に対する地方公共団体の対応・指導 | 浄化等の対策の内容 | 対策の実施主体 |
| トリクロロエチレン | 1 | 継続監視調査 | 32.5<br>(3250倍) | 千葉県千葉市花見川区武石町１丁目 | 2021 | 個人等の飲用水<br>生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え<br>浄水器設置又はその補助や指導等 | - | - | - | 対策予定なし | - |
| トリクロロエチレン | 2 | 継続監視調査 | 27<br>(2700倍) | 福岡県福岡市香椎駅前 | 1997 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | - | - | - | - | - |
| トリクロロエチレン | 3 | 継続監視調査 | 8.3<br>(830倍) | 栃木県栃木市薗部町４ | 2011 | 不明 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | 工場・事業場 | その他の工場・事業場 | 行政指導 | 地下水汚染対策検討中 | 土地の所有者 |
| トリクロロエチレン | 4 | 継続監視調査 | 3.7<br>(370倍) | 埼玉県飯能市本町 | 2003 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | - | - | - | - | - |
| トリクロロエチレン | 5 | 継続監視調査 | 2.6<br>(260倍) | 大阪府四條畷市砂 | 2010 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | 工場・事業場 | - | - | 対策予定なし | - |
| トリクロロエチレン | 6 | 継続監視調査 | 1.3<br>(130倍) | 兵庫県明石市魚住町 | 2002 | その他 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | 工場・事業場 | 洗濯・理容・美容・浴場業 | 根拠不明 | 地下水揚水処理<br>土壌ガス吸引処理 | 汚染原因者 |
| トリクロロエチレン | 7 | 継続監視調査 | 1.1<br>(110倍) | 愛知県 大府市追分町 | 2013 | 個人等の飲用水<br>生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | - | - | - | 対策予定なし | - |
| テトラクロロエチレン | 1 | 継続監視調査 | 16.5<br>(1650倍) | 兵庫県明石市魚住町 | 2002 | その他 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | 工場・事業場 | 洗濯・理容・美容・浴場業 | 根拠不明 | 地下水揚水処理<br>土壌ガス吸引処理 | 汚染原因者 |
| テトラクロロエチレン | 2 | 継続監視調査 | 8.4<br>(840倍) | 千葉県松戸市六実３丁目 | 1989 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | - | - | - | - | - |
| テトラクロロエチレン | 3 | 継続監視調査 | 6.7<br>(670倍) | 千葉県松戸市紙敷 | 1988 | 生活用水<br>工業用水<br>農業用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え<br>その他 | 工場・事業場 | 洗濯・理容・美容・浴場業 | 行政指導 | 土壌ガス吸引処理<br>汚染土壌の処理 | 汚染原因者 |

| 地下水質測定結果（水濁法第15条1項及び第2項に基づく常時監視） | | | | | 地下水汚染の状況 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 順位 | 調査区分 | 濃度（mg/L）<br>（環境基準比） | 所在地 | 汚染判明年度 | 周辺の地下水の用途（汚染判明年度以前） | 汚染判明後の飲用指導等の措置の状況 | 汚染原因及びその対応等 | | | 地下水浄化等対策 | | |
| | | | | | | | | 汚染原因 | 汚染原因業種 | 原因者に対する地方公共団体の対応・指導 | 浄化等の対策の内容 | 対策の実施主体 | |
| テトラクロロエチレン | 4 | 継続監視調査 | 4.5<br>（450倍） | 千葉県千葉市若葉区若松町 | 2011 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | - | - | - | - | - | |
| テトラクロロエチレン | 5 | 継続監視調査 | 3.9<br>（390倍） | 福岡県福岡市田島 | 1988 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>その他 | 工場・事業場 | 洗濯・理容・美容・浴場業 | a | 地下水揚水処理 | 汚染原因者 | |
| テトラクロロエチレン | 6 | 継続監視調査 | 2.1<br>（210倍） | 福岡県福岡市香椎駅前 | 1997 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | - | - | - | - | - | |
| テトラクロロエチレン | 7 | 継続監視調査 | 1.9<br>（190倍） | 千葉県船橋市二宮２丁目 | 1989 | 個人等の飲用水<br>生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え<br>その他 | 工場・事業場 | 洗濯・理容・美容・浴場業 | 行政指導 | 地下水揚水処理 | 地方公共団体 | |
| テトラクロロエチレン | 8 | 継続監視調査 | 1.85<br>（185倍） | 千葉県船橋市馬込町 | 2003 | 個人等の飲用水<br>生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | - | - | - | 対策予定なし | - | |
| テトラクロロエチレン | 9 | 継続監視調査 | 1.7<br>（170倍） | 宮城県栗原市築館萩沢 | 1986 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え<br>その他 | 工場・事業場 | 繊維工業 | 行政指導 | 対策予定なし | - | |
| ベンゼン | 1 | 汚染井戸周辺地区調査 | 0.78<br>（78倍） | 愛知県 西尾市一色町 | 2021 | その他 | 特に対応していない | 工場・事業場 | その他の小売業 | 県民の生活環境の保全等に関する条例 | 汚染土壌の処理 | 土地の所有者 | |
| セレン | 1 | 継続監視調査 | 0.014<br>（1.4倍） | 茨城県日立市白銀町 | 2017 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | - | - | - | 対策予定なし | - | |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 1 | 継続監視調査 | 140<br>（14倍） | 栃木県栃木市藤岡町藤岡 | 2007 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | - | - | - | 対策予定なし | - | |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 2 | 継続監視調査 | 98<br>（9.8倍） | 茨城県常総市坂手町 | 2019 | 個人等の飲用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | 施肥等<br>生活排水 | - | - | 対策予定なし | - | |

| 地下水質測定結果(水濁法第15条1項及び第2項に基づく常時監視) | | | | | 地下水汚染の状況 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 順位 | 調査区分 | 濃度(mg/L)<br>(環境基準比) | 所在地 | 汚染判明年度 | 周辺の地下水の用途（汚染判明年度以前） | 汚染判明後の飲用指導等の措置の状況 | 汚染原因及びその対応等 | | | 地下水浄化等対策 | |
| | | | | | | | | 汚染原因 | 汚染原因業種 | 原因者に対する地方公共団体の対応・指導 | 浄化等の対策の内容 | 対策の実施主体 |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 3 | 継続監視調査 | 83<br>(8.3倍) | 茨城県下妻市黒駒 | 2005 | 個人等の飲用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | - | - | - | 対策予定なし | - |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 4 | 継続監視調査 | 77<br>(7.7倍) | 埼玉県深谷市大谷 | 1999 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | 施肥等 | - | - | 地下水汚染対策検討中 | - |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 5 | 汚染井戸周辺地区調査 | 62<br>(6.2倍) | 愛知県 田原市赤羽根町 | 2022 | 個人等の飲用水<br>その他 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | - | - | - | 対策予定なし | - |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 6 | 概況調査 | 59<br>(5.9倍) | 群馬県 高崎市中尾町 | 2022 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | 施肥等<br>生活排水 | - | - | 対策予定なし | - |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 7 | 継続監視調査 | 58<br>(5.8倍) | 群馬県 みなかみ町上津 | 2016 | 個人等の飲用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | 家畜排せつ物<br>施肥等<br>生活排水 | - | - | 対策予定なし | - |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 8 | 概況調査 | 57<br>(5.7倍) | 岡山県美作市位田 | 2022 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | 施肥等 | - | - | 対策予定なし | - |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 9 | 継続監視調査 | 57<br>(5.7倍) | 熊本県熊本市植木町鞍掛 | 1990 | 個人等の飲用水<br>生活用水<br>農業用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え<br>浄水器設置又はその補助や指導等 | 家畜排せつ物<br>施肥等 | - | 硝酸性窒素対策 | 対策予定なし | - |
| 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 | 10 | 概況調査 | 51<br>(5.1倍) | 栃木県那須烏山市藤田 | 2022 | 上水道源<br>個人等の飲用水<br>生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導<br>上水道への切り替え | - | - | - | 対策予定なし | - |
| ふっ素 | 1 | 継続監視調査 | 22<br>(27.5倍) | 愛知県 刈谷市寺横町 | 2015 | 生活用水<br>工業用水<br>その他 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | - | - | - | 対策予定なし | - |

| 地下水質測定結果(水濁法第15条1項及び第2項に基づく常時監視) | | | | | 地下水汚染の状況 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 順位 | 調査区分 | 濃度(mg/L)<br>(環境基準比) | 所在地 | 汚染判明年度 | 周辺の地下水の用途（汚染判明年度以前） | 汚染判明後の飲用指導等の措置の状況 | 汚染原因及びその対応等 | | | 地下水浄化等対策 | |
| | | | | | | | | 汚染原因 | 汚染原因業種 | 原因者に対する地方公共団体の対応・指導 | 浄化等の対策の内容 | 対策の実施主体 |
| ほう素 | 1 | 継続監視調査 | 34<br>(34倍) | 埼玉県毛呂山町滝ノ入 | 2014 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | その他 | - | - | 対策予定なし | - |
| 1,4-ジオキサン | 1 | 継続監視調査 | 5.05<br>(1010倍) | 千葉県柏市高田 | 2013 | 生活用水 | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | - | - | - | 地下水汚染対策検討中 | - |

## 参考資料８　要監視項目の測定結果について

要監視項目とは、「人の健康の保護に関連する物質ではあるが、公共用水域等における検出状況等からみて、直ちに環境基準とはせず、引き続き知見の集積に努めるべき物質」として、平成５年３月に設定された。その後、平成 11 年２月、平成 16 年３月、平成 21 年 11 月及び令和２年５月に改定され、令和４年度末時点では 25 項目を設定している。

令和４年度に都道府県等によって測定された、要監視項目の調査結果を下表に示す。令和４年度は 670 本の井戸において測定が行われ、全マンガン、PFOS 及び PFOA に指針値超過がみられた。

・全マンガン　　（264 本中 53 本（超過率 20.1%））

・PFOS 及び PFOA　（382 本中 74 本（超過率 19.4%））

**表　要監視項目の測定結果**

| 項目名 | 令和4年度 | | | | 平成6～令和3年度 | | | | 指針値 (mg/L以下) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 調査井戸数 | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査都道府県数 | 調査井戸数 | 超過数（本） | 超過率（%） | 調査都道府県数 | |
| クロロホルム（要監視） | 326 | 0 | 0 | 23 | 13,806 | 0 | 0 | 42 | 0.06 |
| 1,2-ジクロロプロパン | 268 | 0 | 0 | 21 | 10,182 | 0 | 0 | 40 | 0.06 |
| p-ジクロロベンゼン | 268 | 0 | 0 | 21 | 9,950 | 0 | 0 | 40 | 0.2 |
| イソキサチオン | 206 | 0 | 0 | 19 | 7,051 | 0 | 0 | 40 | 0.008 |
| ダイアジノン | 206 | 0 | 0 | 19 | 7,112 | 0 | 0 | 40 | 0.005 |
| フェニトロチオン | 211 | 0 | 0 | 19 | 7,092 | 1 | 0.0 | 40 | 0.003 |
| イソプロチオラン | 217 | 0 | 0 | 20 | 7,033 | 0 | 0 | 40 | 0.04 |
| オキシン銅 | 217 | 0 | 0 | 20 | 6,841 | 0 | 0 | 40 | 0.04 |
| クロロタロニル | 211 | 0 | 0 | 19 | 7,077 | 0 | 0 | 40 | 0.05 |
| プロピザミド | 217 | 0 | 0 | 20 | 7,045 | 0 | 0 | 40 | 0.008 |
| EPN | 289 | 0 | 0 | 18 | 12,204 | 0 | 0 | 41 | 0.006 |
| ジクロルボス | 206 | 0 | 0 | 19 | 6,989 | 0 | 0 | 40 | 0.008 |
| フェノブカルブ | 206 | 0 | 0 | 19 | 6,979 | 0 | 0 | 40 | 0.03 |
| イプロベンホス | 206 | 0 | 0 | 19 | 6,946 | 0 | 0 | 40 | 0.008 |
| クロルニトロフェン | 199 | － | － | 17 | 7,439 | － | － | 41 | － |
| トルエン | 283 | 0 | 0 | 23 | 10,635 | 0 | 0 | 41 | 0.6 |
| キシレン | 283 | 0 | 0 | 23 | 10,639 | 1 | 0.0 | 41 | 0.4 |
| フタル酸ジエチルヘキシル | 181 | 0 | 0 | 18 | 6,430 | 1 | 0.0 | 40 | 0.06 |
| ニッケル | 252 | － | － | 21 | 8,933 | － | － | 40 | － |
| モリブデン | 201 | 0 | 0 | 21 | 7,227 | 2 | 0.0 | 40 | 0.07 |
| アンチモン | 230 | 0 | 0 | 20 | 8,541 | 1 | 0.0 | 40 | 0.02 |
| エピクロロヒドリン | 139 | 0 | 0 | 16 | 3,053 | 1 | 0.0 | 16 | 0.0004 |
| 全マンガン | 264 | 53 | 20.1 | 18 | 5,667 | 708 | 12.5 | 21 | 0.2 |
| ウラン | 215 | 0 | 0 | 17 | 4,125 | 34 | 0.8 | 17 | 0.002 |
| ペルフルオロオクタンスルホン酸（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）の合算値 | 382 | 74 | 19.4 | 22 | 317 | 43 | 13.6 | 17 | 0.00005（暫定）* |

*PFOS及びPFOAの指針値（暫定）については、PFOS及びPFOAの合算値とする。

注：超過数とは指針値を超過した井戸の数であり、超過率とは調査数に対する超過数の割合である。
指針値超過の評価は年間平均値による。
平成６～令和３年までの超過井戸数は、測定当時の指針値を超過した本数を累計したものである。

## Ⅱ．地下水汚染事例に関する実態把握調査の結果について

### １．調査について

環境省では、毎年度、都道府県等を対象として、全国の地下水汚染事例に関する調査実施状況、汚染原因把握状況、対策の実施状況等の実態を把握するために「地下水汚染に関するアンケート調査」を実施している。本報告は、この調査結果をとりまとめたものである。なお、これまでに報告した地下水汚染事例の結果については、都道府県等によるその後の調査等により変更される場合があるため、本調査結果は昨年度に公表した令和３年度末までの地下水汚染事例の調査結果に、令和４年度に新規に判明した地下水汚染事例の数を単に追加したものではないことに留意する必要がある。

#### （１）調査対象事例

令和４年度末（令和５年３月 31 日）までに都道府県等が把握している、環境基準を超える値が検出されたことがある地下水汚染事例（以下、「事例」という。）の全てとしている。

なお、都道府県等が実施する調査によって判明した事例のみならず、事業者による調査の報告等によって判明した事例も全て対象としている。

#### （２）事例のカウントの方法

事例は、原則として、汚染原因を同じとする一まとまりの範囲を１事例としてカウントしている。広範囲に及ぶ汚染や汚染原因が不明である汚染の範囲は、調査結果等をもとに、各事例を担当する都道府県等によって判断されている。また、以下のことに注意を要する。

- 同一井戸であっても原因が異なる汚染が存在する場合は、別の事例としてカウントしている。ただし、汚染項目が同じで明確に分離できない場合は除く。(例：同地域の過剰な施肥と家畜排せつ物の不適正処理による硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の汚染など)
- 同一工場・事業場の複数種類の原材料による汚染、廃棄物による汚染、揮発性有機化合物の分解生成物が存在する汚染など、原因が同じであって複数の項目にわたる事例がある。
- １つの事例に複数の井戸が含まれる場合があるため、この集計における事例の件数と常時監視における測定井戸数とは、必ずしも一致しない。

#### （３）事例の分類の定義

##### ア．環境基準超過状況による分類

この調査では、各事例を環境基準超過状況に応じて以下の４つに分類している。このうち、「調査不能事例」は、現在の状況を把握できないことから、「４．２ 継続監視調査の実施状況」以降の集計において集計対象外とした。

**表１－１　環境基準超過状況による分類**

| 事例分類 | 内容 |
|---|---|
| 超過事例 | 令和４年度末現在、いずれかの項目で環境基準を超過している事例 |
| 一時達成事例 | 最新年度のデータはいずれの項目も環境基準を超過していないが、一時的な達成の可能性があり、恒久的な改善確認はできていない事例 |
| 改善事例 | 過去は環境基準を超過していたが、現在はいずれの項目も超過しておらず、将来的にも環境基準を超過することはないと判断できる事例 |
| 調査不能事例 | 井戸の廃止等により調査できなくなった事例 |

注：「一時達成」と「改善」の分類は、各事例を担当する都道府県等の判断による。

### イ．項目による分類

この調査の集計では、各事例をその汚染物質によって以下の４つに分類している。

**表１－２　項目による分類**

| 項目分類名称 | 説明 |
|---|---|
| ＶＯＣ事例<br>（注1） | 次の項目の、単独又は複数項目による事例<br>ジクロロメタン、四塩化炭素、クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、ベンゼン、1,4-ジオキサン |
| 重金属等事例 | 次の項目の、単独又は複数項目による事例<br>カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、ＰＣＢ、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、セレン、ふっ素、ほう素 |
| 硝酸・亜硝酸事例 | 次の項目の、単独による事例<br>硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素（以下、「硝酸・亜硝酸」という。） |
| 複合汚染事例 | 上の３分類のうち、複数分類にわたる項目による汚染事例<br>（例）工場・事業場のＶＯＣと重金属等の複数種類の原材料による事例や、廃棄物による事例　など |

注1：Volatile Organic Compounds（揮発性有機化合物）の略称。

## ２．地下水汚染事例件数とその判明の状況

### ２．１　事例件数（令和４年度末時点）

全事例について、環境基準超過状況及び項目によって分類した件数を**表２－１**に示す。

全事例件数は 9,167 件であった。

ＶＯＣ事例は 2,687 件で、その内訳は「超過」が 850 件（32%)、「一時達成」が 465 件（17%)、「改善」が 1,078 件（40%)、「調査不能」が 294 件（11%）であった。

重金属等事例は 2,646 件で、その内訳は「超過」が 1,602 件（61%)、「一時達成」が 344 件（13%)、「改善」が 434 件（16%)、「調査不能」が 266 件（10%）であった。

硝酸・亜硝酸事例は 3,649 件で、その内訳は「超過」が 1,947 件（53%)、「一時達成」が 732 件（20%)、「改善」が 709 件（19%)、「調査不能」が 261 件（７%）であった。

以上より、ＶＯＣ事例の改善が他の事例より比較的進んでいることがわかる。

**表２－１　事例件数**

| 環境基準超過状況 | 件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | ＶＯＣ | 重金属類 | 硝酸・亜硝酸 | 複合汚染 |
| 合計 | 9,167 | 2,687 | 2,646 | 3,649 | 185 |
| 超過事例（令和4年度末現在、いずれかの項目で環境基準を超過している。） | 4,505 | 850 | 1,602 | 1,947 | 106 |
| 一時達成事例（最新年度のデータでは環境基準は超過していないが、一時的な達成の可能性がある。） | 1,562 | 465 | 344 | 732 | 21 |
| 改善事例（過去は環境基準を超過していたが、現在、また将来的にも環境基準を超過することはないと判断できる。） | 2,262 | 1,078 | 434 | 709 | 41 |
| 調査不能事例（井戸の廃止等により調査できなくなった。） | 838 | 294 | 266 | 261 | 17 |

### （１）項目別事例件数

全事例 9,167 件について、項目の内訳を**表２－２**に示す。また、超過事例において超過している項目の内訳を**図２－１**に示す。

超過事例件数が多い項目は、多い順に、硝酸・亜硝酸（1,947 件）、砒素（1,053 件）、ふっ素（456 件）、テトラクロロエチレン（425 件）、トリクロロエチレン（361 件）、1,2-ジクロロエチレン（187 件）、クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）（186 件）であった。

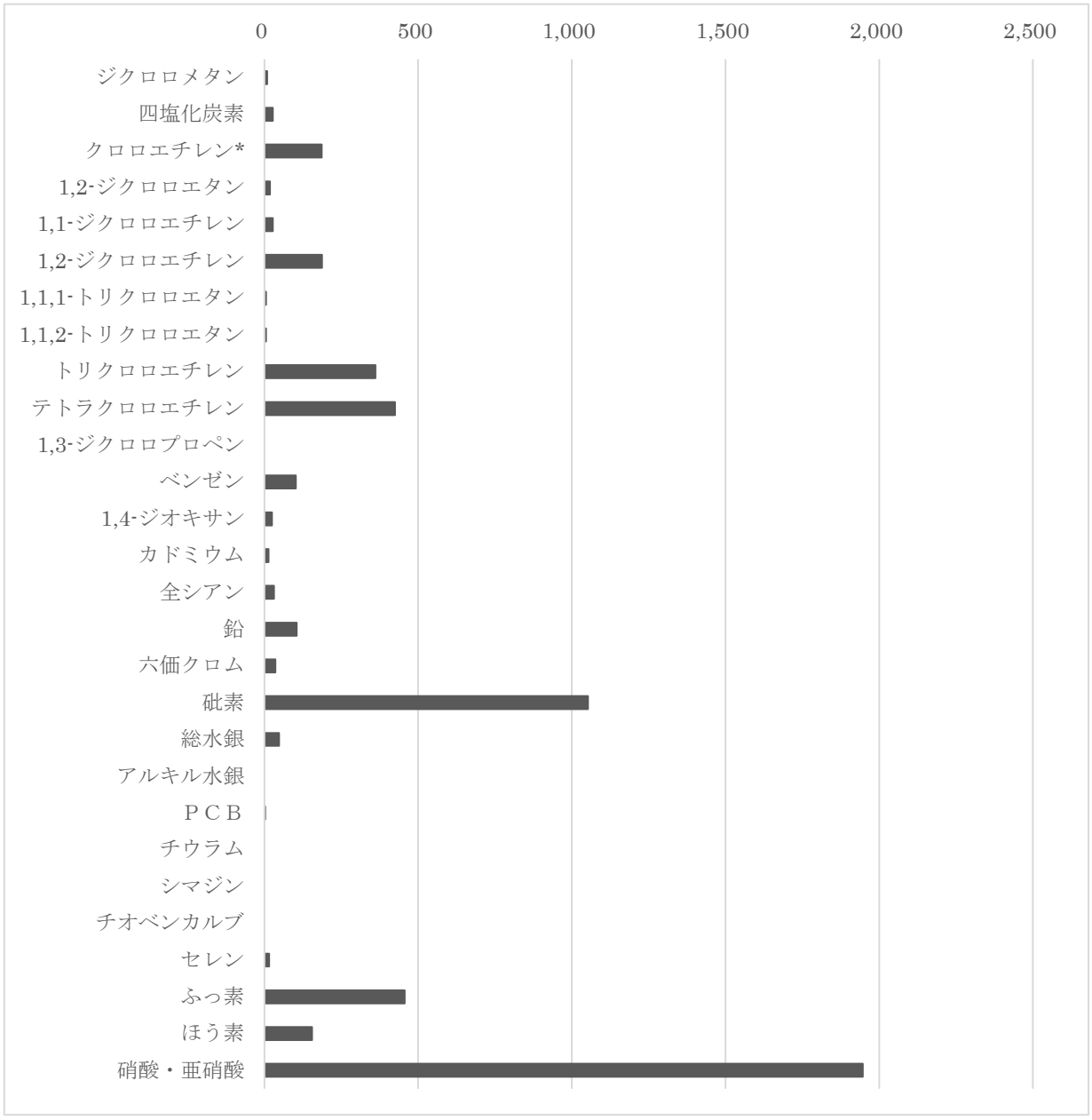
超過事例の割合（各項目の事例件数合計のうち超過事例の割合）が高い項目は、高い順に、1,4-ジオキサン（73%）、砒素（67%）、ふっ素（64%）、セレン（56%）、ほう素（56%）、カドミウム（54%）、クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）（53%）、硝酸・亜硝酸（53%）であった。クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）、1,4-ジオキサンの２物質は平成 21 年から環境基準項目に追加された物質である。砒素、ふっ素、ほう素については自然的要因との関連が高く、硝酸・亜硝酸については広域汚染の傾向があり改善しにくいこと等によると考えられる。

一方、改善事例の割合（各項目の事例件数合計のうち改善事例の割合）が高い項目は、高い順に PCB（67%）、ベンゼン（51%）、1,1,1-トリクロロエタン（48%）、四塩化炭素（39%）、鉛（38%）であった。

## 表２－２　全事例の項目の内訳

| 項目 | | 件数 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 合計 | 超過事例 | | 一時達成事例 | 改善事例 | 調査不能事例 |
| | | | 超過している項目 | 現在は超過していない項目（注２） | | | |
| VOC | ジクロロメタン | 62 | 9 | 17 | 9 | 23 | 4 |
| | 四塩化炭素 | 113 | 27 | 23 | 14 | 44 | 5 |
| | ｸﾛﾛｴﾁﾚﾝ(別名塩化ﾋﾞﾆﾙ又は塩化ﾋﾞﾆﾙﾓﾉﾏｰ) | 348 | 186 | 51 | 62 | 28 | 21 |
| | 1,2-ジクロロエタン | 90 | 18 | 25 | 14 | 25 | 8 |
| | 1,1-ジクロロエチレン | 286 | 27 | 109 | 49 | 87 | 14 |
| | 1,2-ジクロロエチレン | 493 | 187 | 102 | 111 | 53 | 40 |
| | 1,1,1-トリクロロエタン | 139 | 5 | 32 | 24 | 67 | 11 |
| | 1,1,2-トリクロロエタン | 42 | 5 | 16 | 6 | 12 | 3 |
| | トリクロロエチレン | 1,332 | 361 | 157 | 240 | 435 | 139 |
| | テトラクロロエチレン | 1,470 | 425 | 86 | 262 | 517 | 180 |
| | 1,3-ジクロロプロペン | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | ベンゼン | 358 | 102 | 16 | 38 | 183 | 19 |
| | 1,4-ジオキサン | 33 | 24 | 5 | 3 | 0 | 1 |
| 重金属等 | カドミウム | 24 | 13 | 1 | 3 | 6 | 1 |
| | 全シアン | 67 | 31 | 8 | 13 | 13 | 2 |
| | 鉛 | 398 | 105 | 34 | 68 | 150 | 41 |
| | 六価クロム | 99 | 36 | 10 | 19 | 25 | 9 |
| | 砒素 | 1,581 | 1,053 | 33 | 165 | 178 | 152 |
| | 総水銀 | 140 | 48 | 6 | 18 | 50 | 18 |
| | アルキル水銀 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | ＰＣＢ | 9 | 2 | 0 | 0 | 6 | 1 |
| | チウラム | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | シマジン | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | チオベンカルブ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | セレン | 27 | 15 | 4 | 1 | 4 | 3 |
| | ふっ素 | 714 | 456 | 26 | 92 | 75 | 65 |
| | ほう素 | 276 | 155 | 22 | 36 | 29 | 34 |
| 硝酸・亜硝酸 | | 3,649 | 1,947 | 0 | 732 | 709 | 261 |
| 母　　数 | | 9,167 | 4,505 | | 1,562 | 2,262 | 838 |

注１：１事例で複数項目による汚染がある場合があり、各項目の和と母数は一致しない。
注２：超過事例の中の「現在は超過していない項目」とは、過去に複数項目の汚染があった場合で、現在は、他項目において環境基準超過があるものの、当該項目は環境基準を超過していない項目の事例件数をカウントしたもの。




＊ クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）

**図２－１　超過事例における超過項目の内訳**

### （２）都道府県別事例件数

都道府県別の事例件数を**表２－３～２－６**に示す。

ただし、地域ごとに調査井戸数そのものに違いがあること、また、自然的要因による汚染や硝酸・亜硝酸による汚染など面的広がりのある汚染の場合は、都道府県等によって１つの事例と判断する範囲が異なることなどから、地域における地下水汚染の状況について一概に比較することはできない。

## 表２－３　都道府県別の事例件数（ＶＯＣ）

| 都道府県 | | 件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 合計 | 超過事例 | 一時達成事例 | 改善事例 | 調査不能事例 |
| 北海道・東北 | 北海道 | 49 | 13 | 15 | 19 | 2 |
| | 青　森 | 9 | 0 | 1 | 7 | 1 |
| | 岩　手 | 37 | 4 | 8 | 20 | 5 |
| | 宮　城 | 40 | 6 | 2 | 19 | 13 |
| | 秋　田 | 15 | 4 | 2 | 9 | 0 |
| | 山　形 | 24 | 5 | 8 | 10 | 1 |
| | 福　島 | 100 | 29 | 23 | 35 | 13 |
| 関東 | 茨　城 | 55 | 24 | 10 | 21 | 0 |
| | 栃　木 | 92 | 15 | 14 | 63 | 0 |
| | 群　馬 | 45 | 21 | 9 | 14 | 1 |
| | 埼　玉 | 166 | 63 | 28 | 57 | 18 |
| | 千　葉 | 329 | 143 | 43 | 108 | 35 |
| | 東　京 | 76 | 19 | 16 | 28 | 13 |
| | 神奈川 | 256 | 69 | 35 | 118 | 34 |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 103 | 47 | 28 | 28 | 0 |
| | 富　山 | 4 | 1 | 1 | 2 | 0 |
| | 石　川 | 16 | 4 | 8 | 4 | 0 |
| | 福　井 | 26 | 4 | 13 | 9 | 0 |
| | 山　梨 | 26 | 5 | 5 | 13 | 3 |
| | 長　野 | 73 | 18 | 14 | 24 | 17 |
| | 岐　阜 | 40 | 19 | 10 | 9 | 2 |
| | 静　岡 | 49 | 13 | 3 | 33 | 0 |
| | 愛　知 | 311 | 121 | 37 | 128 | 25 |
| 近畿 | 三　重 | 55 | 20 | 12 | 21 | 2 |
| | 滋　賀 | 43 | 12 | 4 | 26 | 1 |
| | 京　都 | 42 | 7 | 6 | 21 | 8 |
| | 大　阪 | 171 | 50 | 25 | 64 | 32 |
| | 兵　庫 | 78 | 19 | 20 | 23 | 16 |
| | 奈　良 | 12 | 4 | 3 | 3 | 2 |
| | 和歌山 | 4 | 1 | 1 | 2 | 0 |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 島　根 | 4 | 0 | 0 | 4 | 0 |
| | 岡　山 | 51 | 13 | 2 | 27 | 9 |
| | 広　島 | 12 | 3 | 3 | 2 | 4 |
| | 山　口 | 12 | 8 | 3 | 1 | 0 |
| | 徳　島 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | 香　川 | 9 | 1 | 5 | 3 | 0 |
| | 愛　媛 | 23 | 1 | 9 | 13 | 0 |
| | 高　知 | 6 | 1 | 2 | 1 | 2 |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 77 | 32 | 5 | 27 | 13 |
| | 佐　賀 | 15 | 5 | 3 | 6 | 1 |
| | 長　崎 | 12 | 2 | 2 | 2 | 6 |
| | 熊　本 | 48 | 9 | 9 | 25 | 5 |
| | 大　分 | 17 | 5 | 2 | 8 | 2 |
| | 宮　崎 | 21 | 4 | 9 | 5 | 3 |
| | 鹿児島 | 23 | 3 | 6 | 13 | 1 |
| | 沖　縄 | 7 | 0 | 1 | 3 | 3 |
| 合計（全国計） | | 2,687 | 850 | 465 | 1,078 | 294 |

## 表２－４　都道府県別の事例件数（重金属等）

| 都道府県 | | 件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 合計 | 超過事例 | 一時達成事例 | 改善事例 | 調査不能事例 |
| 北海道・東北 | 北海道 | 43 | 19 | 10 | 12 | 2 |
| | 青　森 | 60 | 31 | 15 | 12 | 2 |
| | 岩　手 | 45 | 15 | 10 | 17 | 3 |
| | 宮　城 | 67 | 17 | 2 | 18 | 30 |
| | 秋　田 | 14 | 7 | 2 | 4 | 1 |
| | 山　形 | 39 | 31 | 2 | 1 | 5 |
| | 福　島 | 34 | 20 | 7 | 5 | 2 |
| 関東 | 茨　城 | 110 | 83 | 11 | 16 | 0 |
| | 栃　木 | 32 | 13 | 3 | 15 | 1 |
| | 群　馬 | 29 | 17 | 9 | 1 | 2 |
| | 埼　玉 | 115 | 75 | 17 | 15 | 8 |
| | 千　葉 | 379 | 307 | 31 | 25 | 16 |
| | 東　京 | 46 | 14 | 9 | 13 | 10 |
| | 神奈川 | 116 | 50 | 20 | 31 | 15 |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 116 | 89 | 17 | 7 | 3 |
| | 富　山 | 17 | 12 | 3 | 1 | 1 |
| | 石　川 | 37 | 26 | 3 | 8 | 0 |
| | 福　井 | 12 | 8 | 1 | 0 | 3 |
| | 山　梨 | 11 | 8 | 1 | 1 | 1 |
| | 長　野 | 26 | 16 | 3 | 3 | 4 |
| | 岐　阜 | 78 | 52 | 9 | 4 | 13 |
| | 静　岡 | 23 | 8 | 8 | 5 | 2 |
| | 愛　知 | 285 | 155 | 38 | 69 | 23 |
| 近畿 | 三　重 | 38 | 27 | 6 | 5 | 0 |
| | 滋　賀 | 49 | 30 | 1 | 17 | 1 |
| | 京　都 | 47 | 13 | 10 | 13 | 11 |
| | 大　阪 | 143 | 66 | 16 | 44 | 17 |
| | 兵　庫 | 119 | 67 | 3 | 22 | 27 |
| | 奈　良 | 16 | 3 | 2 | 11 | 0 |
| | 和歌山 | 12 | 5 | 1 | 6 | 0 |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 27 | 12 | 0 | 2 | 13 |
| | 島　根 | 19 | 13 | 0 | 6 | 0 |
| | 岡　山 | 45 | 35 | 1 | 4 | 5 |
| | 広　島 | 55 | 25 | 29 | 1 | 0 |
| | 山　口 | 8 | 3 | 4 | 0 | 1 |
| | 徳　島 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 香　川 | 6 | 4 | 0 | 0 | 2 |
| | 愛　媛 | 20 | 15 | 4 | 1 | 0 |
| | 高　知 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 147 | 129 | 11 | 0 | 7 |
| | 佐　賀 | 17 | 10 | 2 | 5 | 0 |
| | 長　崎 | 15 | 2 | 2 | 3 | 8 |
| | 熊　本 | 48 | 27 | 12 | 1 | 8 |
| | 大　分 | 13 | 5 | 1 | 2 | 5 |
| | 宮　崎 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 |
| | 鹿児島 | 40 | 29 | 5 | 1 | 5 |
| | 沖　縄 | 22 | 6 | 1 | 6 | 9 |
| 合計（全国計） | | 2,646 | 1,602 | 344 | 434 | 266 |

## 表２－５　都道府県別の事例件数（硝酸・亜硝酸）

| 都道府県 | | 件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 合計 | 超過事例 | 一時達成事例 | 改善事例 | 調査不能事例 |
| 北海道・東北 | 北海道 | 93 | 28 | 29 | 21 | 15 |
| | 青　森 | 61 | 18 | 11 | 20 | 12 |
| | 岩　手 | 56 | 6 | 11 | 35 | 4 |
| | 宮　城 | 48 | 6 | 2 | 24 | 16 |
| | 秋　田 | 14 | 5 | 5 | 2 | 2 |
| | 山　形 | 18 | 5 | 5 | 8 | 0 |
| | 福　島 | 34 | 12 | 8 | 11 | 3 |
| 関東 | 茨　城 | 330 | 169 | 105 | 51 | 5 |
| | 栃　木 | 100 | 39 | 33 | 26 | 2 |
| | 群　馬 | 541 | 500 | 27 | 10 | 4 |
| | 埼　玉 | 278 | 111 | 118 | 38 | 11 |
| | 千　葉 | 714 | 643 | 40 | 22 | 9 |
| | 東　京 | 77 | 15 | 10 | 28 | 24 |
| | 神奈川 | 210 | 49 | 40 | 88 | 33 |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 16 | 8 | 5 | 3 | 0 |
| | 富　山 | 3 | 0 | 1 | 2 | 0 |
| | 石　川 | 7 | 1 | 1 | 4 | 1 |
| | 福　井 | 5 | 1 | 2 | 2 | 0 |
| | 山　梨 | 21 | 5 | 12 | 0 | 4 |
| | 長　野 | 87 | 26 | 18 | 25 | 18 |
| | 岐　阜 | 20 | 4 | 6 | 7 | 3 |
| | 静　岡 | 18 | 12 | 2 | 3 | 1 |
| | 愛　知 | 84 | 23 | 10 | 45 | 6 |
| 近畿 | 三　重 | 19 | 16 | 2 | 0 | 1 |
| | 滋　賀 | 22 | 2 | 1 | 18 | 1 |
| | 京　都 | 16 | 6 | 3 | 6 | 1 |
| | 大　阪 | 77 | 23 | 12 | 35 | 7 |
| | 兵　庫 | 55 | 8 | 13 | 28 | 6 |
| | 奈　良 | 22 | 3 | 2 | 15 | 2 |
| | 和歌山 | 79 | 32 | 4 | 36 | 7 |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 7 | 3 | 1 | 2 | 1 |
| | 島　根 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 |
| | 岡　山 | 31 | 22 | 3 | 4 | 2 |
| | 広　島 | 24 | 3 | 18 | 0 | 3 |
| | 山　口 | 5 | 1 | 3 | 0 | 1 |
| | 徳　島 | 11 | 6 | 1 | 3 | 1 |
| | 香　川 | 22 | 3 | 15 | 3 | 1 |
| | 愛　媛 | 54 | 11 | 33 | 8 | 2 |
| | 高　知 | 14 | 2 | 5 | 3 | 4 |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 83 | 60 | 13 | 8 | 2 |
| | 佐　賀 | 5 | 1 | 1 | 3 | 0 |
| | 長　崎 | 41 | 8 | 15 | 14 | 4 |
| | 熊　本 | 95 | 31 | 40 | 10 | 14 |
| | 大　分 | 33 | 7 | 1 | 14 | 11 |
| | 宮　崎 | 15 | 9 | 3 | 2 | 1 |
| | 鹿児島 | 67 | 2 | 41 | 10 | 14 |
| | 沖　縄 | 14 | 0 | 0 | 12 | 2 |
| 合計（全国計） | | 3,649 | 1,947 | 732 | 709 | 261 |

## 表２－６　都道府県別の事例件数（複合汚染）

| 都道府県 | | 件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 合計 | 超過事例 | 一時達成事例 | 改善事例 | 調査不能事例 |
| 北海道・東北 | 北海道 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 青　森 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| | 岩　手 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| | 宮　城 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 秋　田 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 山　形 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 福　島 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 関東 | 茨　城 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 栃　木 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| | 群　馬 | 5 | 3 | 0 | 2 | 0 |
| | 埼　玉 | 15 | 10 | 0 | 5 | 0 |
| | 千　葉 | 9 | 5 | 0 | 3 | 1 |
| | 東　京 | 5 | 4 | 1 | 0 | 0 |
| | 神奈川 | 32 | 19 | 2 | 7 | 4 |
| 北陸・中部 | 新　潟 | 5 | 4 | 1 | 0 | 0 |
| | 富　山 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 石　川 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 福　井 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 山　梨 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 長　野 | 4 | 0 | 2 | 0 | 2 |
| | 岐　阜 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 静　岡 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | 愛　知 | 37 | 24 | 4 | 7 | 2 |
| 近畿 | 三　重 | 7 | 3 | 3 | 1 | 0 |
| | 滋　賀 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 京　都 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 大　阪 | 30 | 12 | 4 | 11 | 3 |
| | 兵　庫 | 9 | 7 | 0 | 1 | 1 |
| | 奈　良 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 和歌山 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 中国・四国 | 鳥　取 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 島　根 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 岡　山 | 2 | 1 | 0 | 0 | 1 |
| | 広　島 | 2 | 1 | 1 | 0 | 0 |
| | 山　口 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 徳　島 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 香　川 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 愛　媛 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 高　知 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 九州・沖縄 | 福　岡 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 佐　賀 | 2 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| | 長　崎 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| | 熊　本 | 4 | 2 | 1 | 1 | 0 |
| | 大　分 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 宮　崎 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| | 鹿児島 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 沖　縄 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 合計（全国計） | | 185 | 106 | 21 | 41 | 17 |

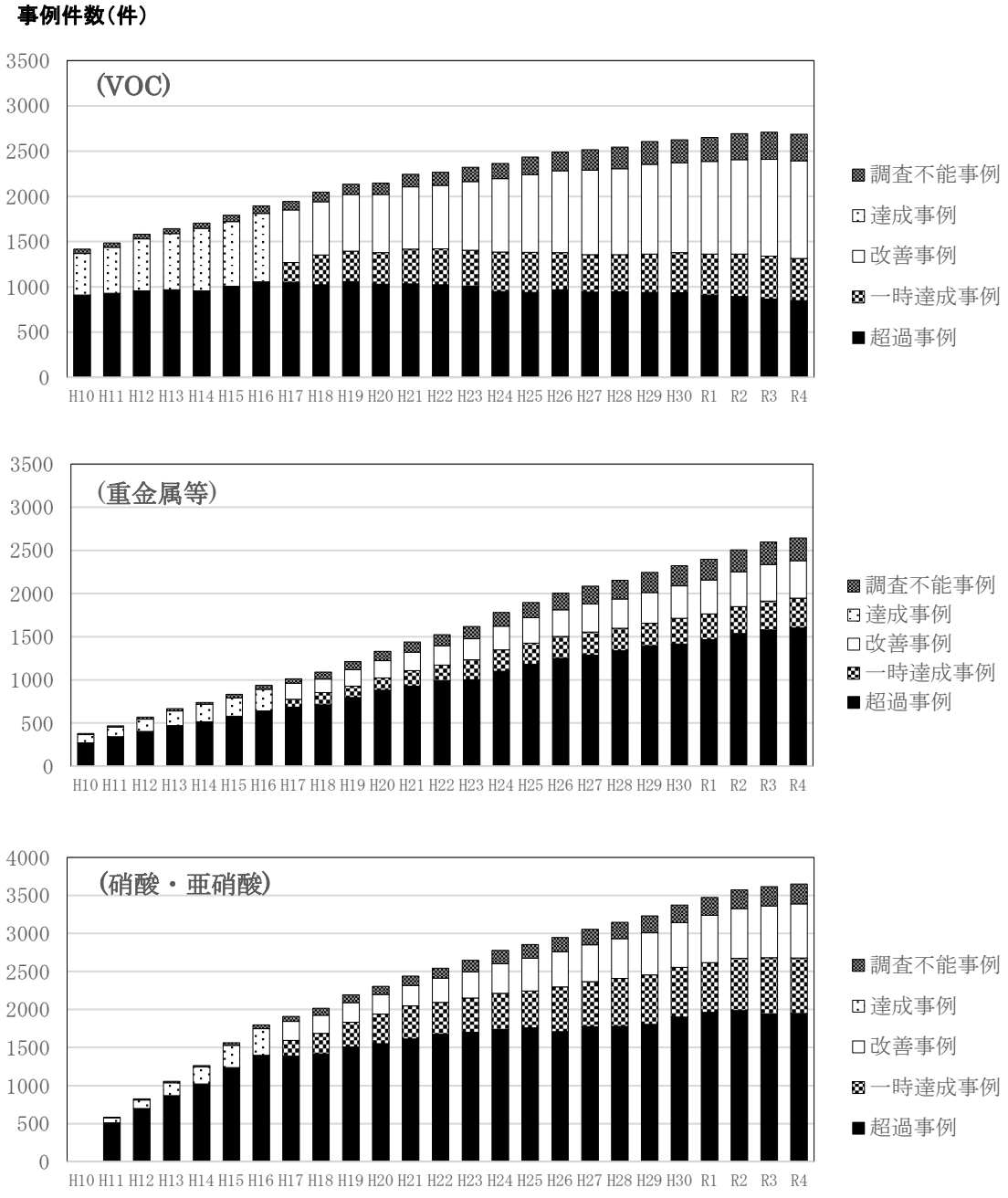
## ２．２　事例件数の推移

各調査年度において把握されていた事例件数の推移を**図２－２**に示す。

ＶＯＣ事例の件数は、調査を開始した平成 10 年度から緩やかに増加しているが、この間に環境基準を達成した事例も増加しており、超過事例件数については平成 19 年度をピークに僅かに減少傾向にある。

重金属等事例の件数は増加傾向にあるが、事例の多くが自然的要因との関連が高い砒素、ふっ素、ほう素による汚染事例である。

硝酸・亜硝酸事例の件数は、増加傾向にあり、超過事例件数についても、新たな汚染事例の判明や改善に時間を要することにより増加する傾向にある。




注１：「達成事例」…平成 16 年度まで「一時達成事例」と「改善事例」の分類がなく、環境基準達成事例としていた。
注２：硝酸・亜硝酸は平成 11 年度調査より対象となった。
注３：複合汚染については省略した。

**図２－２　把握事例件数の推移**

## ２．３　汚染判明年度

全事例 9,167 件について、汚染判明年度を**表２－７**、汚染判明件数の推移を**図２－３**に示す。

汚染判明件数の合計は、地下水の常時監視を開始した平成元年度に急増し、その後一旦は少なくなったものの、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、ふっ素、ほう素の３項目が新たに環境基準項目に追加された平成 11 年度頃から数年間にかけて再度急増した。合計件数はその後、大きく減少し、近年も減少傾向にある。

令和４年度における汚染判明件数が最も多い事例は、硝酸・亜硝酸窒素の事例であり、77 件の汚染が新たに確認された。

**表２－７　汚染判明年度ごとの事例件数**

| 汚染判明年度 | 件数 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | | ＶＯＣ | | 重金属等 | | 硝酸・亜硝酸 | | 複合汚染 | |
| 昭和５８年度以前 | 65 | (26) | 52 | (19) | 9 | (4) | 2 | (1) | 2 | (2) |
| ５９年度 | 50 | (20) | 46 | (18) | 4 | (2) | 0 | (0) | 0 | (0) |
| ６０年度 | 70 | (25) | 70 | (25) | 0 | (0) | 0 | (0) | 0 | (0) |
| ６１年度 | 45 | (18) | 45 | (18) | 0 | (0) | 0 | (0) | 0 | (0) |
| ６２年度 | 60 | (26) | 54 | (24) | 2 | (0) | 2 | (2) | 2 | (0) |
| ６３年度 | 98 | (44) | 94 | (41) | 0 | (0) | 2 | (1) | 2 | (2) |
| 平成　元年度 | 236 | (112) | 215 | (97) | 16 | (13) | 2 | (0) | 3 | (2) |
| ２年度 | 206 | (81) | 177 | (65) | 21 | (12) | 5 | (3) | 3 | (1) |
| ３年度 | 146 | (58) | 122 | (48) | 18 | (7) | 5 | (2) | 1 | (1) |
| ４年度 | 115 | (47) | 91 | (34) | 15 | (8) | 4 | (4) | 5 | (1) |
| ５年度 | 140 | (50) | 63 | (25) | 55 | (19) | 20 | (4) | 2 | (2) |
| ６年度 | 144 | (72) | 60 | (26) | 56 | (34) | 28 | (12) | 0 | (0) |
| ７年度 | 150 | (67) | 57 | (23) | 43 | (26) | 50 | (18) | 0 | (0) |
| ８年度 | 155 | (75) | 52 | (19) | 54 | (35) | 49 | (21) | 0 | (0) |
| ９年度 | 170 | (71) | 40 | (19) | 54 | (24) | 72 | (25) | 4 | (3) |
| １０年度 | 280 | (143) | 134 | (81) | 41 | (22) | 98 | (36) | 7 | (4) |
| １１年度 | 335 | (201) | 89 | (50) | 70 | (37) | 169 | (110) | 7 | (4) |
| １２年度 | 423 | (260) | 86 | (41) | 104 | (65) | 223 | (147) | 10 | (7) |
| １３年度 | 379 | (243) | 67 | (35) | 74 | (54) | 228 | (148) | 10 | (6) |
| １４年度 | 385 | (240) | 64 | (30) | 76 | (47) | 239 | (159) | 6 | (4) |
| １５年度 | 452 | (282) | 78 | (45) | 85 | (48) | 282 | (184) | 7 | (5) |
| １６年度 | 416 | (255) | 93 | (38) | 108 | (65) | 205 | (145) | 10 | (7) |
| １７年度 | 357 | (203) | 98 | (36) | 110 | (70) | 138 | (92) | 11 | (5) |
| １８年度 | 358 | (236) | 96 | (39) | 108 | (74) | 135 | (110) | 19 | (13) |
| １９年度 | 340 | (219) | 80 | (25) | 116 | (88) | 136 | (100) | 8 | (6) |
| ２０年度 | 309 | (208) | 51 | (26) | 113 | (79) | 133 | (95) | 12 | (8) |
| ２１年度 | 287 | (193) | 60 | (23) | 93 | (71) | 128 | (95) | 6 | (4) |
| ２２年度 | 271 | (206) | 39 | (19) | 98 | (76) | 129 | (106) | 5 | (5) |
| ２３年度 | 255 | (201) | 47 | (34) | 96 | (70) | 105 | (92) | 7 | (5) |
| ２４年度 | 234 | (189) | 37 | (22) | 108 | (94) | 85 | (70) | 4 | (3) |
| ２５年度 | 275 | (229) | 47 | (33) | 112 | (93) | 112 | (99) | 4 | (4) |
| ２６年度 | 254 | (209) | 47 | (32) | 109 | (91) | 97 | (85) | 1 | (1) |
| ２７年度 | 211 | (168) | 26 | (19) | 91 | (74) | 93 | (75) | 1 | (0) |
| ２８年度 | 225 | (193) | 34 | (28) | 86 | (76) | 98 | (84) | 7 | (5) |
| ２９年度 | 227 | (200) | 31 | (29) | 80 | (69) | 111 | (98) | 5 | (4) |
| ３０年度 | 275 | (258) | 28 | (23) | 93 | (87) | 149 | (144) | 5 | (4) |
| 令和　元年度 | 232 | (212) | 42 | (34) | 89 | (78) | 99 | (98) | 2 | (2) |
| ２年度 | 216 | (209) | 29 | (26) | 94 | (91) | 90 | (89) | 3 | (3) |
| ３年度 | 158 | (155) | 29 | (29) | 79 | (77) | 49 | (48) | 1 | (1) |
| ４年度 | 163 | (163) | 17 | (17) | 66 | (66) | 77 | (77) | 3 | (3) |
| 母　数 | 9,167 | (6,067) | 2,687 | (1,315) | 2,646 | (1,946) | 3,649 | (2,679) | 185 | (127) |

注：括弧内の数値は、令和４年度末時点の「超過事例」及び「一時達成事例」の合計数。（内数）

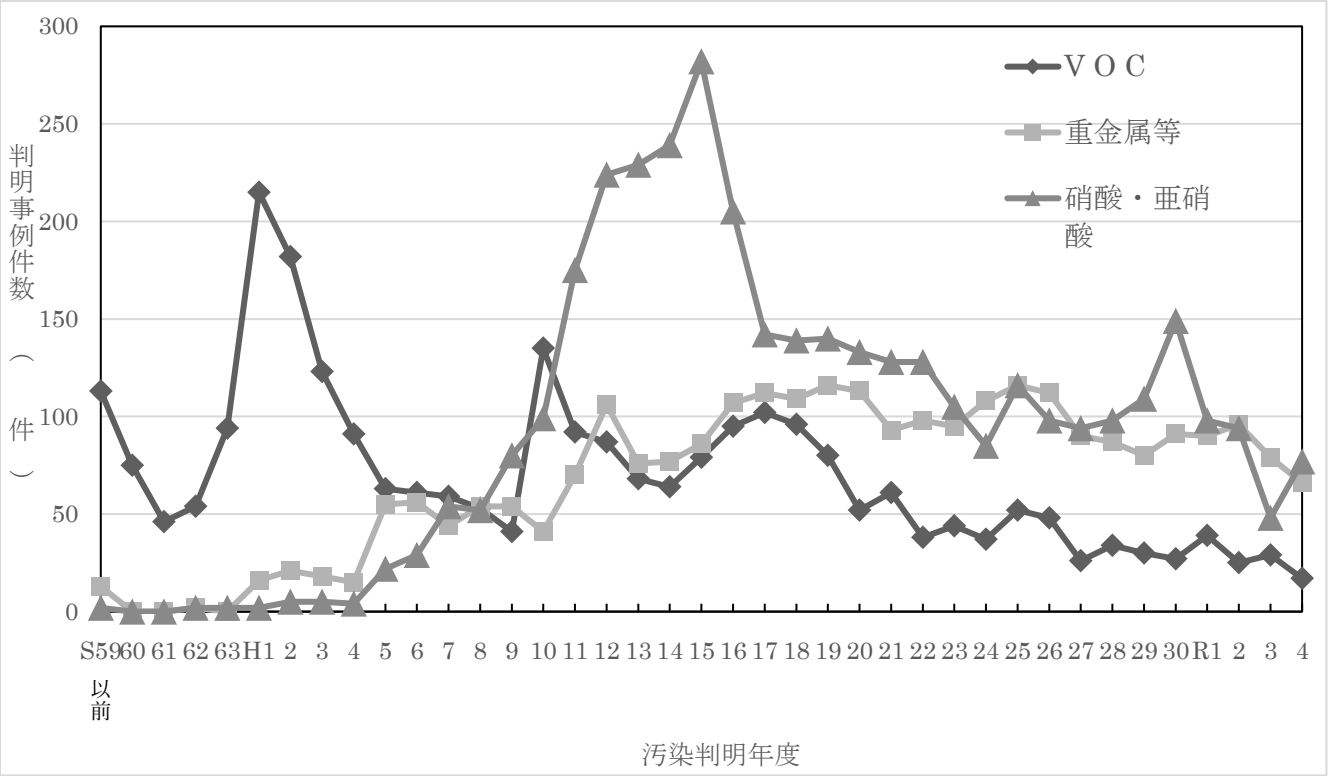



**図２－３　汚染判明件数の推移（３分類）**

## ２．４　汚染判明の経緯

全事例 9,167 件について、汚染判明の経緯を**表２－８**に示す。

全体で最も多いのは、「水濁法の測定計画に基づく調査」（5.672 件、全事例の 62%）であった。

項目分類別に見ると、ＶＯＣ事例は、「水濁法の測定計画に基づく調査」（905 件、ＶＯＣ事例の 34%）が最も多く、次点で「事業者等の自主的な調査」（617 件、同 23%）が最も多い。これは、ＶＯＣ事例が、工場・事業場を原因とする場合が多いためである。

一方、重金属等及び硝酸・亜硝酸の事例は、「水濁法の測定計画に基づく調査」（重金属等事例の 65%、硝酸・亜硝酸事例の 83%）がほとんどを占めている。

**表２－８　汚染判明の経緯**

| 汚染判明の経緯<br>（複数回答有り） | 件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | ＶＯＣ | 重金属等 | 硝酸・<br>亜硝酸 | 複合<br>汚染 |
| 水濁法の測定計画に基づく調査 | 5,672<br>(3,855) | 905<br>(440) | 1,715<br>(1,243) | 3,031<br>(2,159) | 21<br>(13) |
| 水濁法等に基づく立入調査 | 120<br>(49) | 112<br>(44) | 6<br>(4) | 2<br>(1) | 0<br>(0) |
| ダイオキシン類対策特別措置法に基づく調査 | 8<br>(4) | 0<br>(0) | 5<br>(3) | 3<br>(1) | 0<br>(0) |
| 土壌汚染対策法に基づく調査 | 220<br>(161) | 89<br>(58) | 106<br>(85) | 0<br>(0) | 25<br>(18) |
| 条例・要綱等に基づく調査 | 246<br>(151) | 139<br>(72) | 91<br>(66) | 0<br>(0) | 16<br>(13) |
| 地方公共団体による飲用井戸、上水道水質調査 | 431<br>(332) | 154<br>(86) | 93<br>(70) | 183<br>(176) | 1<br>(0) |
| 上記以外の国や地方公共団体による調査 | 1,156<br>(705) | 607<br>(277) | 224<br>(179) | 303<br>(235) | 22<br>(14) |
| 事業者等の自主的な調査 | 1,102<br>(669) | 617<br>(321) | 356<br>(257) | 30<br>(22) | 99<br>(69) |
| 住民からの申し出等 | 262<br>(189) | 97<br>(51) | 52<br>(38) | 103<br>(92) | 10<br>(8) |
| その他 | 219<br>(122) | 140<br>(64) | 53<br>(43) | 11<br>(5) | 15<br>(10) |
| 母　　数 | 9,167<br>(6,067) | 2,687<br>(1,315) | 2,646<br>(1,946) | 3,649<br>(2,679) | 185<br>(127) |

注１：括弧内の数値は、令和４年度末時点の「超過事例」及び「一時達成事例」の合計数。（内数）
注２：複数回答があるため、各件数の和と母数は必ずしも一致しない。

## ３．地下水の用途と飲用指導等の措置の実施状況

### ３．１　汚染判明以前の地下水の用途と飲用指導等の措置の実施状況

地下水汚染が判明した場合は、人の健康を保護する観点から、まず飲用指導等利用面からの措置が都道府県等によって講じられている。全事例 9,167 件について、汚染判明以前の地下水の用途と汚染判明後の飲用指導等の措置の実施状況を**表３－１**に示す。

まず、汚染判明以前の主な地下水の用途は、以下のとおりであった。

・「生活用水」　　(5,333 件、全事例の 58%)
・「個人等の飲用水」　(2,272 件、　　同 25%)
・「工業用水」　　(1,040 件、　　同 11%)
・「農業用水」　　(　692 件、　　同　8%)

飲用指導等の措置の実施状況については、全用途で見ると、以下のとおりであった。

・「井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導」　(7,825 件、全事例の 85%)
・「上水道への切り替え」　(1,806 件、　同 20%)
・「浄水器設置又はその補助や指導等」　(　347 件、　同４%)
・その他、「井戸の掘換え、切り替え」、「汚染された層のストレーナーの閉鎖」など

用途が個人等の飲用水であった事例に限ると、「井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導」は 95%とほとんどの事例で実施され、「上水道への切り替え」も 37%の事例で実施されていた。

**表３－１　汚染判明以前の地下水の用途と飲用指導等の措置の実施状況**

| 汚染判明以前の地下水の用途（複数回答有り） | 件数 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 母数 | | 飲用指導等の措置の実施状況（複数回答有り） | | | | | | | | | |
| | | | 井戸所有者への飲用方法・使用方法の指導 | | 上水道への切り替え | | 浄水器設置又はその補助や指導等 | | その他 | | 特に対応していない | |
| | | 令和4判明 | | 令和4判明 | | 令和4判明 | | 令和4判明 | | 令和4判明 | | 令和4判明 |
| 上水道源 | 123<br>(83) | 14 | 107<br>(75) | 13 | 28<br>(20) | 1 | 20<br>(18) | 11 | 22<br>(10) | 0 | 10<br>(5) | 1 |
| 個人等の飲用水 | 2,272<br>(1,732) | 36 | 2,166<br>(1,660) | 36 | 830<br>(616) | 4 | 224<br>(209) | 13 | 179<br>(99) | 0 | 19<br>(12) | 0 |
| 生活用水 | 5,333<br>(3,747) | 99 | 4,889<br>(3,438) | 87 | 1,256<br>(906) | 9 | 236<br>(218) | 14 | 442<br>(271) | 2 | 284<br>(202) | 10 |
| 工業用水 | 1,040<br>(612) | 15 | 928<br>(541) | 14 | 200<br>(120) | 1 | 23<br>(15) | 0 | 153<br>(86) | 0 | 72<br>(48) | 0 |
| 農業用水 | 692<br>(498) | 28 | 643<br>(466) | 26 | 114<br>(80) | 1 | 45<br>(42) | 11 | 57<br>(37) | 0 | 31<br>(21) | 2 |
| その他 | 439<br>(336) | 29 | 301<br>(235) | 17 | 11<br>(7) | 0 | 1<br>(0) | 0 | 35<br>(30) | 3 | 108<br>(76) | 10 |
| 利用していない | 1,306<br>(657) | 14 | 771<br>(347) | 3 | 87<br>(41) | 0 | 5<br>(2) | 0 | 123<br>(66) | 0 | 435<br>(249) | 11 |
| 不明 | 490<br>(260) | 1 | 409<br>(214) | 1 | 102<br>(68) | 0 | 6<br>(5) | 0 | 96<br>(39) | 0 | 52<br>(31) | 0 |
| 母　　数 | 9,167<br>(6,067) | 236 | 7,825<br>(5,210) | 127 | 1,806<br>(1,241) | 10 | 347<br>(311) | 14 | 893<br>(500) | 4 | 956<br>(609) | 32 |

注１：括弧内の数値は、令和４年度末時点の超過事例及び一時達成事例の合計数。（内数）
注２：１事例の地域に、複数の用途の井戸が存在する場合や複数の措置を実施している場合があるため、各件数の和と母数は必ずしも一致しない。

## ３．２　環境基準超過事例の現在の地下水の利用等の状態

環境基準超過事例について、現在の地下水の利用等の状態を**表３－２**に示す。

なお、ここに示す地下水の利用等の状態の分類とは、水濁法第 14 条の３の浄化措置命令の規定における「被害を防止するための必要な限度」を定めた水濁法施行規則第９条の３第２項各号に掲げられた地下水の利用等の状態に対応している。

「飲用井戸で環境基準超過があった」は 879 件（超過事例の 20%）であり、硝酸・亜硝酸の事例が多い。また、「水道源井戸で環境基準超過があった」が 16 件、「災害用井戸で環境基準超過があった」が７件である。

**表３－２　環境基準超過事例の現在の地下水の利用等の状態**

| 現在の環境基準超過井戸の利用等の状態（複数回答有り） | 件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | ＶＯＣ | 重金属等 | 硝酸・亜硝酸 | 複合汚染 |
| 飲用井戸で環境基準超過があった（※１） | 879 | 90 | 212 | 575 | 2 |
| 水道源井戸で環境基準超過があった（※２） | 16 | 7 | 9 | 0 | 0 |
| 災害用井戸で環境基準超過があった（※３） | 7 | 1 | 3 | 3 | 0 |
| 公共用水域汚染の主たる原因となり、又は原因となることが確実である地下水で環境基準超過があった（※４） | 29 | 3 | 12 | 13 | 1 |
| 上記に該当しない | 3,573 | 750 | 1,366 | 1,355 | 102 |
| 母　　数 | 4,505 | 850 | 1,602 | 1,947 | 106 |

※１：人の飲用に供せられ、又は供されることが確実であり（以下の※２～４を除く。）、その取水口で環境基準超過があった。

※２：水道法第３条第２項に規定する水道事業、同条第４項に規定する水道用水供給事業又は同条第６項に規定する専用水道のための原水として取水施設より取り入れられ、又は取り入れられることが確実であり、その取水口で環境基準超過があった。

※３：災害対策基本法第40条第１項に規定する都道府県地域防災計画等に基づき災害時において人の飲用に供せられる水の水源とされており、その取水口で環境基準超過があった。

※４：水質環境基準（有害物質に該当する物質に係るものに限る。）が確保されない公共用水域の水質の汚濁の主たる原因となり、又は原因となることが確実であり、地下水の公共用水域への湧出口に近接する地下水の取水口で環境基準超過があった。

注：複数回答、無回答があるため、各件数の合計と母数は一致しない。

## ４．汚染範囲の把握及び継続監視の実施状況

### ４．１　汚染範囲の把握状況

地下水汚染が判明した場合は、都道府県等によって汚染井戸周辺地区調査等が行われ、汚染範囲が把握されている。全事例 9,167 件について、汚染範囲の把握状況を**表４－１**に示す。

全体では、「把握済み」が 6,206 件（全事例の 68%）、「調査中」が 252 件（同３%）、「調査実施予定」が 121 件（同１%）である。

項目分類別に見ると、「把握済み」・「調査中」・「調査実施予定」を合わせた割合は、ＶＯＣ事例が 93%、重金属等事例が 72%、硝酸・亜硝酸事例が 55%である。

「予定なし」の理由としては、以下のような回答が挙げられた。

・対象井戸、周辺井戸の再調査を行ったが、検出されていないため。
・周辺に対象となる井戸がないため。
・自然由来・農地に由来するものと思われるため。
・汚染範囲が広域に及び、範囲内に汚染原因と思われるものが複数あり、特定の原因による汚染として範囲特定することが難しいため。

**表４－１　汚染範囲の把握状況**

| 汚染範囲の把握状況 | 件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | ＶＯＣ | 重金属等 | 硝酸・亜硝酸 | 複合汚染 |
| 把握済み | 6,206 | 2,386 | 1,782 | 1,879 | 159 |
| 調査中 | 252 | 72 | 84 | 90 | 6 |
| 調査実施予定 | 121 | 30 | 40 | 49 | 2 |
| 予定なし | 2,588 | 199 | 740 | 1,631 | 18 |
| 母　　数 | 9,167 | 2,687 | 2,646 | 3,649 | 185 |

## ４．２　継続監視調査の実施状況

### （１）　継続監視調査の実施状況

地下水汚染が確認された後は、都道府県等によって、継続的な監視（継続監視調査）が行われている。調査不能事例を除く全事例（以下、これを全事例とする。）8,329 件について、継続監視調査の実施状況を**表４－２**に示す。なお、ここでは都道府県等が測定計画に基づき実施するもののみならず、事業者等が定期的に監視を行っている場合も含む。

全体では、「実施中」（3,717 件、母数の 45%）、「実施予定」（308 件、同４%）、「終了」（2,077 件、同 25%）、「実施していない」（1,980 件、同 24%）という状況であった。

項目分類別で見ると、「実施中」及び「実施予定」を合計した割合は、ＶＯＣ事例が 56%、重金属等事例が 48%、硝酸・亜硝酸事例が 42%である。

**表４－２　継続監視調査の実施状況**

| 継続監視調査の実施状況 | 件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | ＶＯＣ | 重金属等 | 硝酸・亜硝酸 | 複合汚染 |
| 現在、実施中である | 3,717 | 1,264 | 1,015 | 1,326 | 112 |
| 実施予定である | 308 | 79 | 125 | 94 | 10 |
| 終了した | 2,077 | 856 | 515 | 672 | 34 |
| 実施していない | 1,980 | 144 | 647 | 1,183 | 6 |
| 不明 | 247 | 50 | 78 | 113 | 6 |
| 母　　数 | 8,329 | 2,393 | 2,380 | 3,388 | 168 |

継続監視を実施している 3,717 件についてその頻度と件数を**表４－３**に示す。「１回／年」2,357 件（63%）、「２回／年」584 件（16%）、「４回／年」325 件（９%）の順に多くなっている。

**表４－３　継続監視調査の調査頻度**

| | |
|---|---|
| 0.5回／年未満 | 112 |
| 0.5回／年 | 191 |
| 1回／年 | 2,357 |
| 1.5回／年 | 1 |
| 2回／年 | 584 |
| 3回／年 | 11 |
| 4回／年 | 325 |
| 5回／年 | 4 |
| 6回／年 | 21 |
| 7～11回／年 | 6 |
| 12回／年 | 81 |
| 13回／年 | 1 |
| 14回／年 | 1 |
| 24回／年 | 2 |
| 26～52回／年 | 13 |
| その他・不明 | 7 |
| 母　　数 | 3,717 |

### （２）　継続監視調査の実施主体

（１）で継続監視を「実施中」又は「実施予定」である事例 4,025 件についてその実施主体を**表４－４**に示す。

全体的には、ほとんどの測定が「自治体」(3,459 件、母数の 86%）により実施されている。

ただし、工場・事業場による汚染が多いＶＯＣによる汚染については、「事業者（汚染原因者)」が実施している例（288 件、ＶＯＣ事例の 21%）も比較的多い。

**表４－４　継続監視調査の実施主体**

| 継続監視調査の実施主体（複数回答有り） | 件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | ＶＯＣ | 重金属等 | 硝酸・亜硝酸 | 複合汚染 |
| 自治体 | 3,459 | 1,077 | 908 | 1,417 | 57 |
| 事業者（汚染原因者） | 477 | 288 | 124 | 2 | 63 |
| 事業者（土地所有者） | 257 | 88 | 137 | 2 | 30 |
| その他 | 20 | 4 | 16 | 0 | 0 |
| 母　　数 | 4,025 | 1,343 | 1,140 | 1,420 | 122 |

注：複数回答があるため、各件数の和と母数は必ずしも一致しない。

## ５．汚染原因の状況

### ５．１　汚染原因の把握状況

地下水汚染が判明した場合は、都道府県等によって、汚染源の特定等の調査が行われている。全事例8,329件について、汚染原因の把握状況を**表５－１**に示す。

汚染原因が「特定又は推定」されているのは、ＶＯＣで1,325事例（55%）、重金属等で1,596事例（67%）、硝酸・亜硝酸で1,994事例（59%）であった。

汚染原因が「不明」の場合については、調査実施状況ごとの内訳についても整理した。硝酸・亜硝酸事例については、汚染原因が不明であるにも関わらず、「調査実施予定なし」の事例の割合が、他と比較して高い理由として、以下のような回答が挙げられた。

- 付近に原因を特定できるものがないため。
- 汚染の原因と考えられるものが多数あるため。
- 周辺井戸を含めて再調査したところ、基準超過が確認されなかったため。
- 他の（総合的な）施策を検討しているため。
- 予算上の制約があるため。

**表５－１　汚染原因の把握状況**

| 汚染原因の把握状況 | | 件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 合計 | ＶＯＣ | 重金属等 | 硝酸・亜硝酸 | 複合汚染 |
| 特定又は推定 | | 5,024<br>(3,875) | 1,325<br>(736) | 1,596<br>(1,369) | 1,994<br>(1,688) | 109<br>(82) |
| 不明 | 小計 | 3,305<br>(2,192) | 1,068<br>(579) | 784<br>(577) | 1,394<br>(991) | 59<br>(45) |
| | 調査中 | 246<br>(189) | 116<br>(82) | 53<br>(47) | 75<br>(58) | 2<br>(2) |
| | 調査実施予定 | 137<br>(112) | 37<br>(35) | 56<br>(46) | 43<br>(30) | 1<br>(1) |
| | 調査完了したが不明 | 1,899<br>(1,065) | 767<br>(380) | 488<br>(324) | 603<br>(332) | 41<br>(29) |
| | 調査実施予定なし | 1,023<br>(826) | 148<br>(82) | 187<br>(160) | 673<br>(571) | 15<br>(13) |
| 母　　数 | | 8,329<br>(6,067) | 2,393<br>(1,315) | 2,380<br>(1,946) | 3,388<br>(2,679) | 168<br>(127) |

注１：括弧内の数値は、令和４年度末時点の「超過事例」及び「一時達成事例」の合計数。（内数）

### ５．２　汚染原因

５．１において汚染原因が特定又は推定された事例5,024件について、汚染原因を**表５－２**（項目分類別）、**表５－３**（項目別）に示す。また、工場・事業場が原因と推定される汚染判明年度ごとの事例件数を**図５－１**に示す。

各項目分類別の主な汚染原因は、以下のとおりであった。

（ＶＯＣ事例）

・「工場・事業場」　　（1,249件、母数の94%）
　注：工場・事業場における排水・廃液・原料等による汚染。
・「廃棄物」　　（　170件、　　同13%）

（重金属等事例）

・「自然的要因」　　（1,334件、母数の84%）

・「工場・事業場」　（　196 件、　同 12%）

・「廃棄物」　（　32 件、　同 ２%）

（硝酸・亜硝酸事例）

・「過剰な施肥」　（1,856 件、母数の 93%）

・「生活排水の地下浸透」　（　810 件、　同 41%）

・「家畜排せつ物の不適正処理」　（　782 件、　同 39%）

その他の汚染原因としては施設（貯油タンク・配管・塵芥処分場・資材置場・浄化槽・冷却装置）由来が多く、以下のようなものが挙げられた。

- 鉛を使用した井戸配管からの溶出による汚染（鉛）
- ガソリンタンクからのベンゼン流出（ベンゼン）
- 地下埋設排水管の腐食孔からの地下浸透による汚染（四塩化炭素）
- 洗浄溶剤の不適切な取り扱いによる汚染（1,1,1-トリクロロエタン）
- 豪雨や津波などの自然災害

**表５－２　汚染原因（項目分類別）**

| 汚染原因（複数回答有り） | 件数 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | | ＶＯＣ | | 重金属等 | | 硝酸・亜硝酸 | | 複合汚染 | |
| 工場･事業場 | 1,552 | (931) | 1,249 | (703) | 196 | (148) | 1 | (1) | 106 | (79) |
| 廃棄物 | 222 | (125) | 170 | (84) | 32 | (23) | 13 | (12) | 7 | (6) |
| 家畜排せつ物 | 783 | (697) | 0 | (0) | 1 | (0) | 782 | (697) | 0 | (0) |
| 施肥 | 1,858 | (1,584) | 0 | (0) | 2 | (2) | 1,856 | (1,582) | 0 | (0) |
| 生活排水 | 813 | (701) | 0 | (0) | 3 | (2) | 810 | (699) | 0 | (0) |
| 自然的要因 | 1,377 | (1,207) | 1 | (1) | 1,334 | (1,174) | 42 | (32) | 0 | (0) |
| その他 | 92 | (57) | 48 | (23) | 38 | (29) | 4 | (3) | 2 | (2) |
| 母　　数 | 5,024 | (3,875) | 1,325 | (736) | 1,596 | (1,369) | 1,994 | (1,688) | 109 | (82) |

注１：括弧内の数値は、令和４年度末時点の「超過事例」及び「一時達成事例」の合計数。（内数）

注２：下の例ように複数の汚染原因による事例があるため、各件数の和と母数は必ずしも一致しない。

例１）工場・事業場内の廃棄物による事例などでは工場・事業場における排水・廃液・原料等と廃棄物（最終処分場・不法投棄）の両方を汚染原因としている例がある。

例２）硝酸・亜硝酸の事例で同地域の施肥と家畜排せつ物など明確に分離できない例がある。

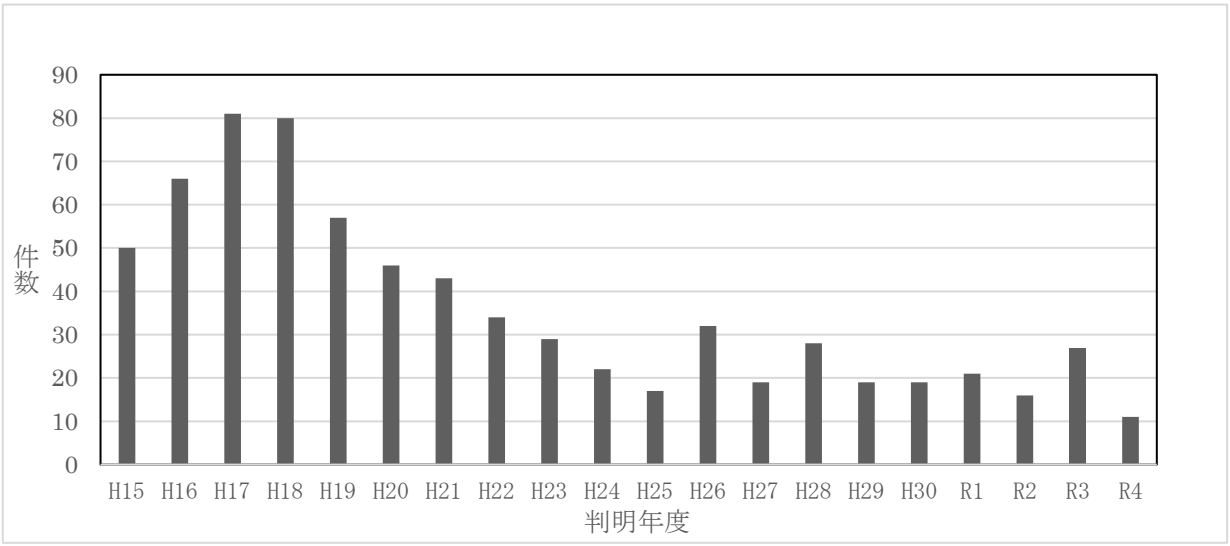



**図５－１　工場・事業場が原因と推定される汚染判明年度ごとの事例件数**

# 表５－３　汚染原因（項目別）

| 汚染原因 | 母数 | VOC | | | | | | | | | | | | | 重金属等 | | | | | | | | | | | | | | | 硝酸・亜硝酸 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ジクロロメタン | 四塩化炭素 | クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー） | 1、2－ジクロロエタン | 1、1－ジクロロエチレン | 1、2－ジクロロエチレン | 1、1、1－トリクロロエタン | 1、1、2－トリクロロエタン | トリクロロエチレン | テトラクロロエチレン | 1、3－ジクロロプロペン | ベンゼン | 1、4－ジオキサン | カドミウム | 全シアン | 鉛 | 六価クロム | 砒素 | 総水銀 | アルキル水銀 | PCB | チウラム | シマジン | チオベンカルブ | セレン | ふっ素 | ほう素 | |
| 工場･事業場 | 1,695 | 42 | 32 | 199 | 51 | 192 | 282 | 89 | 21 | 736 | 735 | 0 | 294 | 15 | 10 | 52 | 60 | 67 | 81 | 18 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 11 | 119 | 57 | 1 |
| 廃棄物 | 245 | 4 | 6 | 15 | 11 | 18 | 27 | 22 | 5 | 90 | 140 | 0 | 4 | 3 | 3 | 2 | 19 | 2 | 19 | 4 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 10 | 13 |
| 家畜排せつ物の不適正処理 | 814 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 813 |
| 過剰な施肥 | 1,964 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1,962 |
| 生活排水の地下浸透 | 859 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 856 |
| 自然由来 | 1,531 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 65 | 2 | 954 | 55 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 323 | 118 | 44 |
| その他 | 106 | 1 | 3 | 6 | 1 | 4 | 7 | 8 | 2 | 20 | 25 | 0 | 12 | 0 | 0 | 3 | 22 | 5 | 12 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 11 | 5 | 10 |
| 合　計 | 5,024 | 44 | 38 | 198 | 57 | 188 | 275 | 87 | 23 | 701 | 700 | 0 | 292 | 15 | 15 | 55 | 147 | 67 | 1,051 | 70 | 0 | 6 | 0 | 0 | 0 | 13 | 420 | 164 | 1,994 |

注：１事例で複数項目の汚染がある事例や複数の汚染原因による事例があり、各件数の和と母数は必ずしも一致しない。

## ５．３　工場・事業場からの汚染に係る原因施設等の種別について

５．２において工場・事業場が汚染原因と特定又は推定された事例 1,552 件について、その汚染に係る原因施設等の種別を**表５－４**に、原因行為の種別を**表５－５**に示す。原因施設は有害物質使用特定施設（662 件)、原因行為は汚染原因物質の不適切な取扱いによる漏洩（286 件）が最も多かった。

**表５－４　工場・事業場からの汚染に係る原因施設等の種別**

| | |
|---|---|
| 有害物質使用特定施設 | 662 |
| 特定施設（有害物質使用特定施設を除く） | 57 |
| 有害物質貯蔵指定施設 | 11 |
| 貯油施設 | 193 |
| 油水分離槽 | 7 |
| 上記以外の施設、設備等 | 76 |
| 上記以外の場所 | 8 |
| その他 | 37 |
| 経緯不明 | 601 |
| 母数 | 1,552 |

**表５－５　工場・事業場からの汚染に係る原因行為の種別**

| | | |
|---|---|---|
| 施設の破損等による汚染原因物質の漏洩事故 | | 166 |
| | 施設・設備の劣化・老朽化、破損等による漏洩 | 65 |
| | 廃液貯留設備、保管容器の亀裂等からの漏洩 | 10 |
| | 施設の構造上の欠陥による漏洩 | 3 |
| | 施設更新時の漏洩 | 1 |
| | 施設の故障等による漏洩 | 3 |
| | 災害に伴う施設の破損等による漏洩 | 5 |
| | 詳細不明 | 78 |
| 汚染原因物質の不適切な取扱いによる漏洩 | | 286 |
| | 設備等の操作ミスや汚染物質の不適切な取扱いによる漏洩 | 69 |
| | 通常の作業工程（洗浄など）中の漏洩（滴り落ちなど） | 51 |
| | 溶剤や廃液等の移し替え作業時の漏洩 | 22 |
| | 溶剤等を使用する施設の不適正な管理（フランジの締め付け不足等）による漏洩 | 6 |
| | 詳細不明 | 130 |
| 汚染原因物質を含む排水の地下浸透 | | 139 |
| 廃棄物処理法施行前の廃棄物の処理 | | 17 |
| 廃棄物処理法施行後の廃棄物の処理（原因行為が行われた当時の廃棄物処理法の規制に適合） | | 26 |
| 残土の処理 | | 3 |
| 排ガス、排気中の汚染原因物質の降下、沈着等 | | 7 |
| その他 | | 31 |
| 不明 | | 1,122 |
| 母数 | | 1,552 |

## ５．４　自然的要因による汚染とその判断根拠

５．２のとおり、自然的要因による汚染が存在している項目は、カドミウム（２件)、鉛（58 件)、砒素（954 件)、総水銀（50 件)、セレン（１件)、ふっ素（287 件)、ほう素（98 件)、硝酸・亜硝酸（42 件）の８項目であった。

自然的要因による汚染については、周辺の金属鉱床等に含まれる元素又は化合物に該当し、かつ調査地点における汚染物質に因果関係が認められること、また、調査地点周辺において汚染物質の使用履歴や不法投棄等が見当たらないこと等を確認した上で、専門家の助言を得て総合的に判断することが望ましい。５．２において自然的要因による汚染と特定又は推定された事例 1,377 件について、その判断根拠を**表５－６**に示す。

主な判断根拠は、以下のとおりであった。

・「周辺に発生源が存在しない」　　(1,094 件、母数の 79%)

・「地理的・地質的特徴から判断」　　(　452 件、　　同 33%)

・「文献や過去の調査報告から自然的要因による汚染地域であることが以前からわかっていた」
(　430 件、　　同 31%)

**表５－６　自然的要因による汚染と判断した根拠**

| 自然的要因と判断した根拠（複数回答有り） | 件数 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | カドミウム | 鉛 | 砒素 | 総水銀 | セレン | ふっ素 | ほう素 | 硝酸・亜硝酸 |
| ボーリング調査、地質調査の実施により判断 | 59 | 0 | 4 | 47 | 9 | 0 | 3 | 0 | 6 |
| 水質の解析や土壌ガスの解析により判断 | 219 | 0 | 12 | 168 | 12 | 0 | 49 | 32 | 2 |
| 地理的･地質的特徴から判断 | 452 | 2 | 5 | 324 | 10 | 0 | 130 | 62 | 16 |
| 周辺に発生源が存在しない | 1,094 | 0 | 51 | 876 | 30 | 2 | 209 | 71 | 35 |
| 文献や過去の調査報告から自然的要因による汚染地域であることが以前からわかっていた | 430 | 1 | 9 | 334 | 26 | 1 | 117 | 22 | 9 |
| その他 | 35 | 0 | 3 | 32 | 1 | 0 | 12 | 9 | 2 |
| 根拠不明 | 20 | 0 | 6 | 23 | 1 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 母　数 | 1,377 | 2 | 58 | 954 | 50 | 1 | 287 | 98 | 42 |

注：複数回答及び複数項目による事例があるため、各件数の和と母数は必ずしも一致しない。

## ６．工場・事業場を原因とする地下水汚染対策の状況

### ６．１　汚染原因者の特定状況

５．２において、工場・事業場が原因とされた事例 1,552 件について、その汚染原因者の特定状況を**表６－１**に示す。

汚染原因者が「特定又は推定」されていたのは、1,493 件（母数の 96%）であった。

**表６－１　汚染原因者の特定状況**

| 汚染原因者の特定状況 | 件数 | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | | ＶＯＣ | | 重金属等 | | 硝酸・亜硝酸 | | 複合汚染 | |
| 特定又は推定 | 1,493 | (888) | 1,199 | (668) | 188 | (140) | 1 | (1) | 105 | (79) |
| 不明 | 59 | (0) | 50 | (0) | 8 | (0) | 0 | (0) | 1 | (0) |
| 母　数 | 1,552 | (888) | 1,249 | (668) | 196 | (140) | 1 | (1) | 106 | (79) |

注：括弧内の数値は、令和４年度末時点の「超過事例」及び「一時達成事例」の合計数。（内数）

### ６．２　汚染原因者（工場・事業場）の主たる業種及び汚染原因行為が行われた時期

６．１において、汚染原因者が特定又は推定された 1,493 件について、その主たる業種について**表６－２**（項目分類別）、**表６－３**（項目別）に示す。

汚染原因者の主な業種は、以下のとおりであった。

- 「洗濯・理容・美容・浴場業」（359 件、母数の 24%）
- 「その他の小売業」　（207 件、　同 14%）
- 「金属製品製造業」　（182 件、　同 12%）
- 「輸送用機械器具製造業」　（126 件、　同　８%）
- 「電子部品・デバイス製造業」（ 95 件、　同　６%）

有害物質使用特定事業場からの有害物質を含む特定地下浸透水の地下への浸透については、意図的・非意図的に関わらず制限されている。

汚染原因者の地下水汚染の原因となった行為（意図的・非意図的問わず）が終了した時期について**表６－２**右欄に示す。（ただし、この表の集計対象となった工場・事業場の全てが有害物質使用特定事業場であるとは限らない。）汚染原因者の地下水汚染の原因となった行為が終了した時期は、「平成元年度より前」が 229 件（15%）、「平成元年度以降」が 559 件（37%）、「不明」が 705 件（47%）であり、時期がわかっているものについては、「平成元年度以降」の事例が多い。

## 表６－２　汚染原因者（工場・事業場）の主たる業種（項目分類別）及び汚染原因行為が終了した時期

| 業種 | 件数 | | | | | | | | | | 汚染原因行為が終了した時期 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | | 令和４判明 | | ＶＯＣ | | 重金属等 | | 硝酸・亜硝酸 | | 複合汚染 | | 平成元年度より前 | | 平成元年度以降 | | 不明 | |
| 農業 | 6 | (2) | 0 | (0) | 4 | (0) | 1 | (1) | 0 | (0) | 1 | (1) | 2 | (1) | 3 | (1) | 1 | (0) |
| 繊維工業 | 39 | (21) | 0 | (0) | 34 | (21) | 3 | (0) | 0 | (0) | 2 | (0) | 6 | (2) | 11 | (4) | 22 | (15) |
| 化学工業 | 80 | (63) | 3 | (3) | 54 | (40) | 12 | (10) | 0 | (0) | 14 | (13) | 11 | (8) | 35 | (27) | 34 | (28) |
| ゴム製品製造業 | 17 | (14) | 0 | (0) | 15 | (12) | 1 | (1) | 0 | (0) | 1 | (1) | 5 | (4) | 6 | (5) | 6 | (5) |
| 非鉄金属製造工業 | 39 | (27) | 0 | (0) | 26 | (15) | 9 | (9) | 0 | (0) | 4 | (3) | 6 | (6) | 16 | (12) | 17 | (9) |
| 金属製品製造業 | 182 | (117) | 2 | (2) | 116 | (67) | 49 | (36) | 0 | (0) | 17 | (14) | 31 | (22) | 66 | (47) | 85 | (48) |
| はん用機械器具製造業 | 62 | (40) | 0 | (0) | 51 | (31) | 6 | (5) | 0 | (0) | 5 | (4) | 11 | (9) | 22 | (16) | 29 | (15) |
| 生産用機械器具製造業 | 34 | (16) | 0 | (0) | 29 | (13) | 3 | (2) | 0 | (0) | 2 | (1) | 7 | (4) | 9 | (4) | 18 | (8) |
| 業務用機械器具製造業 | 38 | (24) | 0 | (0) | 33 | (20) | 1 | (0) | 0 | (0) | 4 | (4) | 2 | (2) | 19 | (14) | 17 | (8) |
| 電子部品・デバイス製造業 | 95 | (63) | 1 | (1) | 77 | (52) | 12 | (8) | 0 | (0) | 6 | (3) | 18 | (15) | 23 | (17) | 54 | (31) |
| 電気機械器具製造業 | 82 | (52) | 0 | (0) | 65 | (38) | 8 | (7) | 0 | (0) | 9 | (7) | 21 | (15) | 23 | (18) | 38 | (19) |
| 情報通信機械器具製造業 | 40 | (20) | 0 | (0) | 31 | (14) | 4 | (3) | 0 | (0) | 5 | (3) | 8 | (4) | 11 | (7) | 21 | (9) |
| 輸送用機械器具製造業 | 126 | (91) | 1 | (1) | 90 | (64) | 16 | (10) | 1 | (1) | 19 | (16) | 24 | (20) | 38 | (22) | 64 | (49) |
| ガス業 | 22 | (17) | 0 | (0) | 4 | (3) | 9 | (8) | 0 | (0) | 9 | (6) | 16 | (13) | 4 | (3) | 2 | (1) |
| その他の小売業 | 207 | (67) | 1 | (1) | 204 | (67) | 1 | (0) | 0 | (0) | 2 | (0) | 6 | (5) | 123 | (35) | 78 | (27) |
| 洗濯・理容・美容・浴場業 | 359 | (209) | 0 | (0) | 355 | (207) | 0 | (0) | 0 | (0) | 4 | (2) | 65 | (40) | 109 | (78) | 185 | (91) |
| 廃棄物処理業 | 10 | (8) | 1 | (1) | 8 | (6) | 2 | (2) | 0 | (0) | 0 | (0) | 0 | (0) | 6 | (5) | 4 | (3) |
| その他 | 137 | (91) | 0 | (0) | 75 | (45) | 53 | (40) | 0 | (0) | 9 | (6) | 22 | (12) | 56 | (41) | 59 | (38) |
| 母　数 | 1,493 | (888) | 9 | (9) | 1,199 | (668) | 188 | (140) | 1 | (1) | 105 | (79) | 229 | (155) | 559 | (338) | 705 | (395) |

注１：括弧内の数値は、令和４年度末時点の「超過事例」及び「一時達成事例」の合計数。（内数）
注２：複数の業種に該当する工場・事業場を原因とする事例があるため、各件数の和と母数は必ずしも一致しない。

## 表６－３　汚染原因者（工場・事業場）の主たる業種（項目別）

| 業種 | 合計 | VOC | | | | | | | | | | | | | 重金属等 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ジクロロメタン | 四塩化炭素 | 塩化ビニルモノマー | 1、2－ジクロロエタン | 1、1－ジクロロエチレン | 1、2－ジクロロエチレン | 1、1、1－トリクロロエタン | 1、1、2－トリクロロエタン | トリクロロエチレン | テトラクロロエチレン | 1、3－ジクロロプロペン | ベンゼン | 1、4－ジオキサン | カドミウム | 全シアン | 鉛 | 六価クロム | 砒素 | 総水銀 | アルキル水銀 | PCB | チウラム | シマジン | チオベンカルブ | セレン | ふっ素 | ほう素 | 硝酸・亜硝酸 |
| 農業 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 繊維工業 | 39 | 1 | 0 | 6 | 1 | 6 | 8 | 2 | 0 | 21 | 28 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 0 |
| 化学工業 | 80 | 10 | 9 | 17 | 17 | 9 | 11 | 3 | 4 | 25 | 27 | 0 | 21 | 9 | 2 | 1 | 7 | 0 | 15 | 8 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 13 | 4 | 0 |
| ゴム製品製造業 | 17 | 1 | 1 | 4 | 0 | 4 | 3 | 3 | 0 | 14 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 非鉄金属製造工業 | 39 | 1 | 2 | 7 | 0 | 7 | 11 | 2 | 0 | 26 | 12 | 0 | 1 | 0 | 1 | 1 | 3 | 2 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 9 | 3 | 0 |
| 金属製品製造業 | 182 | 3 | 5 | 21 | 3 | 25 | 23 | 12 | 3 | 102 | 34 | 0 | 0 | 0 | 2 | 17 | 5 | 36 | 6 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 14 | 0 |
| はん用機械器具製造業 | 62 | 0 | 3 | 8 | 4 | 13 | 13 | 5 | 0 | 47 | 21 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 | 1 | 0 |
| 生産用機械器具製造業 | 34 | 0 | 1 | 4 | 2 | 6 | 7 | 4 | 0 | 26 | 15 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 |
| 業務用機械器具製造業 | 38 | 0 | 1 | 5 | 1 | 6 | 8 | 9 | 0 | 32 | 21 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 | 2 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 | 0 |
| 電子部品・デバイス製造業 | 95 | 2 | 0 | 23 | 3 | 13 | 39 | 8 | 2 | 66 | 25 | 0 | 0 | 3 | 0 | 2 | 5 | 0 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 12 | 0 | 0 |
| 電気機械器具製造業 | 82 | 3 | 0 | 22 | 1 | 16 | 23 | 8 | 2 | 60 | 31 | 0 | 4 | 0 | 3 | 1 | 5 | 0 | 9 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 9 | 4 | 0 |
| 情報通信機械器具製造業 | 40 | 1 | 1 | 9 | 2 | 9 | 13 | 4 | 1 | 29 | 14 | 0 | 2 | 2 | 0 | 4 | 2 | 1 | 3 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 2 | 0 |
| 輸送用機械器具製造業 | 126 | 8 | 1 | 17 | 9 | 32 | 32 | 14 | 3 | 91 | 41 | 0 | 9 | 0 | 1 | 4 | 3 | 13 | 3 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 14 | 7 | 1 |
| ガス業 | 22 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 11 | 0 | 0 | 18 | 6 | 0 | 8 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 3 | 1 | 0 |
| その他の小売業 | 207 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 206 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 洗濯・理容・美容・浴場 | 359 | 0 | 3 | 37 | 1 | 19 | 73 | 7 | 0 | 115 | 340 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| 廃棄物処理業 | 10 | 3 | 0 | 3 | 4 | 5 | 5 | 3 | 2 | 7 | 7 | 0 | 1 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| その他 | 137 | 5 | 7 | 12 | 6 | 13 | 16 | 2 | 2 | 56 | 39 | 0 | 18 | 0 | 0 | 3 | 8 | 8 | 13 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 22 | 17 | 0 |
| 母　数 | 1,493 | 40 | 28 | 187 | 50 | 176 | 259 | 76 | 19 | 649 | 622 | 0 | 277 | 15 | 10 | 49 | 53 | 62 | 73 | 17 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 11 | 113 | 55 | 1 |

注：１事例で複数の項目あるいは複数の業種に該当する事例があり、各件数の和と母数は必ずしも一致しない。

## ６．３　工場・事業場の種類

特定事業場又は有害物質貯蔵指定事業場を原因とする地下水汚染があり、人の健康に係る被害が生じ又は生ずる恐れがあるときは、都道府県知事は、水濁法第 14 条の３に基づき、その設置者に対し浄化措置命令をかけることができる。ただし、この命令の対象となり得るのは、附則（平成８年６月５日法律第 58 号）第２条により、有害物質の地下への浸透があったときの特定事業場の設置者で、現在も設置者である者又は平成８年６月５日以降に設置者でなくなった者である。６．１において、汚染原因者が特定又は推定された 1,493 件について、工場・事業場の種類を**表６－４**に示す。

**表６－４　工場・事業場の種類**

| 工場・事業場の種類（複数回答有り） | | 件数 |
|---|---|---|
| 有害物質の地下への浸透があったときの特定事業場の設置者で、 | 現在も設置者である者 | 791 |
| | 平成8年6月5日以降に設置者でなくなった者 | 68 |
| | 平成8年6月5日前に設置者でなくなった者 | 28 |
| 廃止（過去、特定事業場等であった） | | 337 |
| 水濁法適用外（特定事業場外） | | 282 |
| その他 | | 48 |
| 母　　数 | | 1,493 |

注：一部複数回答があるため、各件数の和と母数は一致しない。

## ６．４　汚染原因者に対する指導の実施状況

都道府県知事は、汚染原因者に対して、状況に応じて水濁法第 14 条の３に基づく浄化措置命令、第 13 条の２に基づく改善命令をかけることができる。また、条例等に基づく指導を実施している例も見られる。６．１において、汚染原因者が特定又は推定された 1,493 件について、その汚染原因者に対する都道府県等の指導の状況について**表６－５**に示す。

何らかの指導が行われているのは、1,205 件（母数の 81%）であった。

浄化措置命令の発動は未だ１件もないが、「水濁法の浄化措置命令を背景とした浄化指導」が 299 件（同 20%）で実施されていた。「その他の指導（行政指導など）」457 件（同 31%）、「条例に基づく指導」379 件（同 25%）などが実施されていた。

このように、実態としては、浄化措置命令は発動しないものの、これを背景として、浄化を行うよう都道府県等が指導を行う例が多い。また、水濁法以外の法令、条例又は要綱等に基づき、浄化以外の指導を行う例も多数見られる。なお、指導を実施していない理由は、「事業者が自主的に浄化対策を取っている」、「周辺に飲用井戸がない」、「原因者が特定できない」などがある。

**表６－５　汚染原因者に対する指導の実施状況**

| 汚染原因者に対する指導の実施状況 | | | 件数 | |
|---|---|---|---|---|
| 指導を実施　（複数回答有り） | | | 1,205 | (720) |
| | 水濁法の浄化措置命令 | | 0 | (0) |
| | 水濁法の浄化措置命令を背景とした浄化指導 | | 299 | (203) |
| | 水濁法の改善命令 | | 0 | (0) |
| | 水濁法の改善命令を背景とした指導 | | 7 | (3) |
| | 上記以外の指導 | | 918 | (524) |
| | | 土壌汚染対策法に基づく調査命令 | 21 | (15) |
| | | 土壌汚染対策法に基づく措置命令 | 37 | (21) |
| | | 土壌汚染対策法以外の法令に基づく指導 | 25 | (17) |
| | | 条例に基づく指導 | 379 | (212) |
| | | 要綱に基づく指導 | 57 | (29) |
| | | その他の指導（行政指導など） | 457 | (275) |
| 指導を実施していない | | | 288 | (168) |
| 母　　数 | | | 1,493 | (888) |

注１：括弧内の数値は、令和４年度末時点の超過事例及び一時達成事例の合計数。（内数）
注２：複数回答があるため、各件数の和と母数は必ずしも一致しない。
注３：「水濁法の浄化措置命令を背景とした浄化指導」とは、汚染原因者が特定事業場の設置者に該当する場合で、以下のようなケースが該当する。
①命令そのものは発動しないが、浄化措置の実施を指導したケース
②浄化措置命令の実施を目指して、その前段階として調査等の実施を指導したケース

## ６．５　汚染原因者に対する指導の内容

６．４において、都道府県等が汚染原因者に対して指導を実施している事例 1,205 件について、その指導内容について**表６－６**に示す。

主な指導内容は、以下のとおりであった。

・「汚染対策の手法」　(672 件、母数の 56%)
・「地下水質モニタリングの実施」　(539 件、　同 45%)
・「有害物質の適正管理・施設の改善等」　( 94 件、　同８%)
・「汚染対策の期間」　( 89 件、　同７%)

**表６－６　汚染原因者に対する指導の内容**

| 指導の内容<br>（複数回答有り） | 件数 |
|---|---|
| 汚染対策の手法 | 672 |
| 汚染対策の期間 | 89 |
| 地下水質モニタリングの実施 | 539 |
| 有害物質の適正管理・施設の改善等 | 94 |
| その他 | 87 |
| 母　　数 | 1,205 |

注：複数回答があるため、各件数の和と母数は一致しない。

## ７．廃棄物を原因とする地下水汚染対策の状況

５．２において、廃棄物を原因とする事例 222 件について、汚染原因者の把握状況を**表７－１**に示す。うち、汚染原因者が特定又は推定された 185 件について、汚染原因者に対する指導の実施状況を**表７－２**に示す。うち、都道府県等が汚染原因者に対して指導を実施している事例 128 件について、その指導内容を**表７－３**に示す。

**表７－１　汚染原因者の把握状況**

| 汚染原因者の把握状況 | 件数 | |
|---|---|---|
| 特定又は推定 | 185 | (100) |
| 不明 | 37 | (25) |
| 母　　数 | 222 | (125) |

注：括弧内の数値は、令和４年度末時点の「超過事例」及び「一時達成事例」の合計数。（内数）

**表７－２　汚染原因者に対する指導の実施状況**

| 汚染原因者に対する指導の実施状況 | | | 件数 | |
|---|---|---|---|---|
| 指導を実施　（複数回答有り） | | | 128 | (72) |
| | 水濁法の浄化措置命令 | | 0 | (0) |
| | 水濁法の浄化措置命令を背景とした浄化指導 | | 24 | (13) |
| | 水濁法の改善命令 | | 0 | (0) |
| | 水濁法の改善命令を背景とした指導 | | 2 | (1) |
| | 上記以外の指導 | | 103 | (58) |
| | | 土壌汚染対策法に基づく調査命令 | 1 | (0) |
| | | 土壌汚染対策法に基づく措置命令 | 0 | (0) |
| | | 土壌汚染対策法以外の法令に基づく指導 | 17 | (14) |
| | | 条例に基づく指導 | 12 | (5) |
| | | 要綱に基づく指導 | 7 | (4) |
| | | その他の指導（行政指導など） | 70 | (37) |
| 指導を実施していない | | | 57 | (28) |
| 母　　数 | | | 185 | (100) |

注１：括弧内の数値は、令和４年度末時点の超過事例及び一時達成事例の合計数。（内数）
注２：複数回答があるため、各項目の件数の和と母数は必ずしも一致しない。

**表７－３　汚染原因者に対する都道府県等の指導の内容**

| 指導の内容<br>（複数回答有り） | 件数 |
|---|---|
| 汚染対策の手法 | 62 |
| 汚染対策の期間 | 11 |
| 地下水質モニタリングの実施 | 36 |
| 有害物質の適正管理・施設の改善等 | 28 |
| その他 | 14 |
| 母　　数 | 103 |

注：複数回答があるため、各件数の和と母数は一致しない。

## ８．硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素による地下水汚染対策の状況

硝酸・亜硝酸による地下水汚染は、汚染原因が多岐に渡るとともに有効な対策が地域ごとに異なることから、地域の自然的・社会的特性、汚染実態、発生源等の状況に応じた有効な対策を講ずることが必要である。

### ８．１　硝酸・亜硝酸対策に係る連絡組織等の設置状況

５．２のとおり、硝酸・亜硝酸による地下水汚染の主な原因は、過剰な施肥、家畜排せつ物の不適正処理、生活排水の地下浸透である。そのため、硝酸・亜硝酸による地下水汚染対策を推進するためには、対策対象地域の関係者（環境部局、農業・畜産部局、生活排水対策部局、水道部局等行政機関に加え、農業協同組合、自治会、事業者団体、有識者等）で構成する連絡組織等を設置し、この連絡組織において、汚染範囲、汚染原因、対策対象地域等の共通認識を持ち、窒素負荷発生源ごとの窒素負荷低減の目標の設定、目標達成のための対策について検討することが重要である。硝酸・亜硝酸の事例 3,388 件について、連絡組織等が設置されている事例の状況を**表８－１**に示す。

連絡組織等が設置された事例件数は 509 件で、硝酸・亜硝酸の事例全体の 15%であった。

**表８－１　硝酸・亜硝酸対策に係る連絡組織等が設置されている事例の状況**

| 連絡組織等の設置状況 | | 件数 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 合計 | 汚染原因が特定又は推定 | 汚染原因が不明 |
| 連絡組織等設置済み | 小計 | 509<br>(457) | 435<br>(405) | 74<br>(52) |
| | 都道府県や市町村等の広域単位や複数地域の合同連絡組織 | 429<br>(406) | 378<br>(360) | 51<br>(46) |
| | 汚染地域単位の連絡組織 | 91<br>(59) | 66<br>(51) | 25<br>(8) |
| 連絡組織等設置予定 | 小計 | 71<br>(64) | 56<br>(53) | 15<br>(11) |
| | 都道府県や市町村等の広域単位や複数地域の合同連絡組織 | 39<br>(39) | 35<br>(35) | 4<br>(4) |
| | 汚染地域単位の連絡組織 | 32<br>(25) | 21<br>(18) | 11<br>(7) |
| 設置の予定なし・無回答 | | 2,808<br>(2,158) | 1,503<br>(1,230) | 1,305<br>(928) |
| 母　　数 | | 3,388<br>(2,679) | 1,994<br>(1,688) | 1,394<br>(991) |

注１：括弧内の数値は、令和４年度末時点の超過事例及び一時達成事例の合計数。（内数）
注２：複数回答があるため、各件数の和と小計は必ずしも一致しない。また汚染原因の把握状況で無回答の事例があるため、各件数の和と合計は必ずしも一致しない。

## ８．２　硝酸・亜硝酸対策推進計画等の策定状況

硝酸・亜硝酸対策の推進のためには、都道府県等によって、窒素負荷低減目標及び対策、対策の進捗状況の確認手法等を明確にした硝酸・亜硝酸対策推進計画等を策定し、それに基づいて対策を実施することが重要である。このような硝酸・亜硝酸対策推進計画等が策定されている事例の状況を**表８－２**に示す。

硝酸・亜硝酸対策推進計画等が策定された事例件数は 124 件で、硝酸・亜硝酸の事例全体の４％であった。

**表８－２　硝酸・亜硝酸対策推進計画等が策定されている事例の状況**

| 硝酸・亜硝酸対策推進計画等の策定状況 | 件数（各計画策定状況に該当する事例件数） | | |
|---|---|---|---|
| | 合計 | 汚染原因が特定又は推定 | 汚染原因が不明 |
| 策定済み | 124<br>(105) | 109<br>(90) | 15<br>(15) |
| 策定予定 | 203<br>(181) | 194<br>(172) | 9<br>(9) |
| 策定の予定なし・無回答 | 3,061<br>(2,393) | 1,691<br>(1,426) | 1,370<br>(967) |
| 母　　数 | 3,388<br>(2,679) | 1,994<br>(1,688) | 1,394<br>(991) |

注１：括弧内の数値は、令和４年度末時点の超過事例及び一時達成事例の合計数。（内数）
注２：汚染原因の把握状況で無回答の事例があるため、各件数の和と合計は必ずしも一致しない。

## ８．３　窒素負荷低減対策の実施状況

過剰な施肥、家畜排せつ物の不適正処理、生活排水の地下浸透による硝酸・亜硝酸汚染は、広範囲に及ぶ場合が多いため、発生源対策、すなわち地下水への窒素負荷低減が重要な対策となる。具体的な内容としては、過剰な施肥については都道府県等が定める施肥基準等の土壌管理に関する指導内容の遵守、家畜排せつ物の不適正処理については「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」に基づく措置の推進や野積み・素掘り等の不適切な管理の解消、生活排水の地下浸透については下水道等生活排水処理施設の整備、生活排水の排水路等の整備といった対策がある。

硝酸・亜硝酸の事例 3,388 件について、窒素負荷低減対策の実施状況を**表８－３**に示す。窒素負荷低減対策を実施しているのは 1,229 件で、硝酸・亜硝酸事例の 36%であった。汚染原因が特定又は推定されている事例で窒素負荷低減対策が実施されているのは、

・過剰な施肥による汚染事例　　1,895 件中 902 件（48%）
・家畜排せつ物の不適正処理による汚染事例　　796 件中 710 件（89%）
・生活排水の地下浸透による汚染事例　　812 件中 628 件（77%）

であった。

一方、汚染原因が不明である事例については、窒素負荷低減対策に取り組む割合は少ない（1,394 件中 231 件、17%）。窒素負荷低減対策の推進のためには、その前段階である汚染原因の究明を、より一層推進する必要があると考えられる。さらに、汚染原因の全てが明確になっていない段階でも、負荷発生源と汚染との間に相応の関係が認められる場合は、負荷低減対策を実施することが必要である。

**表８－３　窒素負荷低減対策等の内容**

| 窒素負荷低減対策の実施状況 | 件数 | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 合計 | 汚染原因が特定または推定 | | 汚染原因が不明 |
| | | | (参考)各原因による硝酸・亜硝酸事例の件数 | |
| 窒素負荷低減対策実施（複数回答有り） | 1,229<br>(1,099) | 998<br>(902) | | 231<br>(197) |
| 施肥量の適正化 | 1,121<br>(999) | 902<br>(813) | (過剰な施肥による汚染の件数)<br>1,895<br>(1,613) | 219<br>(186) |
| 家畜排せつ物の適正処理 | 906<br>(827) | 710<br>(654) | (家畜排せつ物の不適正処理による汚染の件数)<br>796<br>(710) | 196<br>(173) |
| 生活排水の適正処理 | 762<br>(682) | 628<br>(579) | (生活排水の地下浸透による汚染の件数)<br>812<br>(700) | 134<br>(103) |
| その他 | 75<br>(74) | 69<br>(68) | | 6<br>(6) |
| 検討中 | 502<br>(400) | 345<br>(280) | | 157<br>(120) |
| 予定なし・無回答 | 1,687<br>(1,206) | 678<br>(532) | | 1,009<br>(674) |
| 母　数 | 3,388<br>(2,679) | 1,994<br>(1,688) | | 1,394<br>(991) |

注１：括弧内の数値は、令和４年度末時点の超過事例及び一時達成事例の合計数。（内数）
注２：窒素負荷低減対策に複数回答や汚染原因の把握状況に無回答があるため、各件数の和と母数や合計は必ずしも一致しない。

## ９．地下水浄化等の対策の実施状況

### ９．１　地下水浄化等の対策の実施状況

汚染された地下水については、現在或いは将来の用途を考慮し、浄化等の対策を推進することとされている。６．４のとおり、水濁法第 14 条の３に基づく浄化措置命令が発動されたことはないが、都道府県等の指導によって、或いは事業者の自主的な取り組みによって地下水浄化等の対策を実施する例が見られる。また、汚染原因者が不明である場合には地方公共団体等によって地下水浄化等の対策を実施する例も見られる。全事例 8,264 件について、このような地下水浄化等の対策の実施状況を**表９－１**に示す。

浄化等の対策が実施されている事例は、1,334 件（全事例の 16%）であった。

汚染原因別に見ると、原因者が特定又は推定されている工場・事業場を原因とする事例は 1,493 件中 1,072 件（72%)、原因者が特定又は推定されている廃棄物を原因とする事例は 185 件中 117 件（63%）と、汚染原因者が判明している事例では、５割以上で浄化等の対策が実施済み・実施中であった。

自然的要因による事例では 1,377 件中９件（１%)、汚染原因が不明の事例では 3,305 件中 160 件（５%）と、それぞれ僅かながら浄化等の対策が実施済み・実施中であった。

**表９－１　地下水浄化等の対策の実施状況**

| 地下水浄化等の対策の実施状況 | 母数 | 件数 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 汚染原因が特定又は推定の事例の汚染原因 | | | | | | 汚染原因不明 |
| | | 工場・事業場 | | 廃棄物 | | 施肥・家畜排せつ物・生活排水 | 自然的要因 | |
| | | 原因者特定・推定 | 不明 | 原因者特定・推定 | 不明 | | | |
| 実施済み・実施中 | 1,334<br>(781) | 1,072<br>(630) | 8<br>(5) | 117<br>(63) | 11<br>(7) | 6<br>(3) | 9<br>(4) | 160<br>(101) |
| 検討中 | 458<br>(384) | 116<br>(92) | 4<br>(3) | 17<br>(10) | 2<br>(1) | 219<br>(192) | 11<br>(11) | 97<br>(77) |
| 予定なし・無回答 | 6,537<br>(4,902) | 305<br>(166) | 47<br>(35) | 51<br>(27) | 24<br>(17) | 1,727<br>(1,460) | 1,357<br>(1,192) | 3,048<br>(2,014) |
| 母　数 | 8,329<br>(6,067) | 1,493<br>(888) | 59<br>(43) | 185<br>(100) | 37<br>(25) | 1,952<br>(1,655) | 1,377<br>(1,207) | 3,305<br>(2,192) |

注１：括弧内の数値は、令和４年度末時点の超過事例及び一時達成事例の合計数。（内数）
注２：汚染原因に複数回答があるため、各件数の和と母数は必ずしも一致しない。

## ９．２　地下水浄化等の対策の実施主体

９．１で浄化等の対策が実施されている事例 1,334 件について、対策の実施主体を**表９－２**に示す。

原因者が特定又は推定されている工場・事業場を原因とする事例では、「汚染原因者」（947 件、母数の 88%）が大部分を占めたが、「土地の所有者」（76 件、同７%）、「地方公共団体」（46 件、同４%）の事例も見られた。廃棄物を原因とする事例についても同様の傾向であった。

汚染原因が不明である事例については、主に「土地の所有者」（95 件、母数の 59%）、「地方公共団体」（27 件、同 17%）などによって実施されていた。

**表９－２　地下水浄化等の対策の実施主体**

| 対策の実施主体（複数回答有り） | 母数 | 件数 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 汚染原因が特定又は推定 | | | | | | 汚染原因不明 |
| | | 工場・事業場 | | 廃棄物 | | 施肥・家畜排せつ物・生活排水 | 自然的要因 | |
| | | 原因者特定・推定 | 原因者不明 | 原因者特定・推定 | 原因者不明 | | | |
| 汚染原因者 | 1,014<br>(580) | 947<br>(548) | 0<br>(0) | 96<br>(51) | 0<br>(0) | 1<br>(0) | 0<br>(0) | 19<br>(12) |
| 複数の汚染原因者 | 16<br>(14) | 13<br>(12) | 0<br>(0) | 3<br>(2) | 0<br>(0) | 0<br>(0) | 0<br>(0) | 2<br>(2) |
| 土地の所有者（注３） | 206<br>(117) | 76<br>(39) | 5<br>(4) | 10<br>(6) | 4<br>(3) | 1<br>(0) | 8<br>(3) | 95<br>(58) |
| 地方公共団体（注３） | 85<br>(64) | 46<br>(39) | 2<br>(0) | 9<br>(5) | 4<br>(2) | 3<br>(2) | 1<br>(1) | 27<br>(19) |
| その他 | 22<br>(15) | 12<br>(8) | 0<br>(0) | 3<br>(2) | 0<br>(0) | 0<br>(0) | 0<br>(0) | 6<br>(5) |
| 不明 | 12<br>(9) | 2<br>(2) | 1<br>(1) | 1<br>(1) | 3<br>(2) | 1<br>(1) | 0<br>(0) | 5<br>(3) |
| 母　　数 | 1,334<br>(781) | 1,072<br>(630) | 8<br>(5) | 117<br>(63) | 11<br>(7) | 6<br>(3) | 9<br>(4) | 160<br>(101) |

注１：括弧内の数値は、令和４年度末時点の超過事例及び一時達成事例の合計数。（内数）
注２：複数回答や無回答があるため、各件数の和と母数は必ずしも一致しない
注３：「土地の所有者」及び「地方公共団体」が汚染原因者である場合は、「汚染原因者」に分類している。

## ９．３　地下水浄化等の対策の内容

９．１で地下水浄化等の対策が実施されている事例 1,334 件について、その対策の内容を**表９－３**に示す。

各項目分類別の主な対策の内容は、以下のとおりであった。

（ＶＯＣ事例）

・「地下水揚水処理」　(698 件、母数の 70%)

・「汚染土壌の処理」　(378 件、　　同 38%)

・「土壌ガス吸引処理」(245 件、　　同 25%)

（重金属等事例）

・「汚染土壌の処理」　(142 件、母数の 62%)

・「地下水揚水処理」　(114 件、　　同 50%)

（硝酸・亜硝酸事例）

・「その他」のうち「定期モニタリングの実施」(3 件)、「井戸管理の適正化」(1 件)、「廃棄物の除去」(1 件)、「浄水器設置費補助金により対応」(1 件)

**表９－３　地下水浄化等の対策の内容**

| 地下水浄化等の対策（複数回答有り） | 件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 合計 | ＶＯＣ | 重金属等 | 硝酸・亜硝酸 | 複合汚染 |
| 地下水揚水処理 | 895<br>(563) | 698<br>(418) | 114<br>(82) | 1<br>(1) | 82<br>(62) |
| バイオレメディエーション | 145<br>(89) | 126<br>(74) | 4<br>(4) | 0<br>(0) | 15<br>(11) |
| 原位置処理（上記以外） | 167<br>(75) | 133<br>(54) | 15<br>(10) | 0<br>(0) | 19<br>(11) |
| 土壌ガス吸引処理 | 267<br>(183) | 245<br>(169) | 2<br>(2) | 0<br>(0) | 20<br>(12) |
| 汚染土壌の処理 | 577<br>(286) | 378<br>(166) | 142<br>(82) | 0<br>(0) | 57<br>(38) |
| その他　（注３）<br>（「原因物質除去」、「封じ込め」、「バリア井戸設置」など） | 177<br>(130) | 120<br>(87) | 36<br>(28) | 6<br>(4) | 15<br>(11) |
| 母　　数 | 1,334<br>(781) | 991<br>(552) | 229<br>(149) | 7<br>(5) | 107<br>(75) |

注１：括弧内の数値は、令和４年度末時点の超過事例及び一時達成事例の合計数。（内数）
注２：複数回答があるため、各件数の和と母数は一致しない。
注３：調査回答中の「継続監視の実施」や「硝酸・亜硝酸事例の窒素負荷低減対策」等は別で集計しているため、ここでは対象外とした。

## １０．地下水汚染の公表の実施状況

### １０．１　地下水汚染の公表の実施状況

全事例 8,329 件について、地下水汚染の公表状況を**表１０－１**に示す。

公表されているのは、8,032 件で全事例の 96%であった。主な公表内容は、以下のとおりであった。

・「汚染の状況（測定結果等）」　（7,940 件、全事例の 95%）
・「汚染原因究明調査結果（汚染原因者を除く）」　（　663 件、　同８%）
・「汚染原因者」　（　485 件、　同６%）
・「地下水汚染対策・負荷低減等対策の実施内容」　（　428 件、　同５%）

**表１０－１　　地下水汚染の公表状況**

| 公表の実施状況 | | | 件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 合計 | ＶＯＣ | 重金属等 | 硝酸・亜硝酸 | 複合汚染 |
| 公表を実施 | | | 8,032 | 2,249 | 2,291 | 3,341 | 151 |
| | 公表内容（複数回答有り） | 汚染の状況（測定結果等） | 7,940 | 2,188 | 2,275 | 3,332 | 145 |
| | | 汚染原因者 | 485 | 336 | 85 | 7 | 57 |
| | | 汚染原因究明調査結果（汚染原因者を除く） | 663 | 278 | 250 | 111 | 24 |
| | | 地下水汚染対策･負荷低減等対策の実施内容 | 428 | 292 | 84 | 5 | 47 |
| | | その他 | 174 | 66 | 39 | 66 | 3 |
| 公表していない | | | 297 | 144 | 89 | 47 | 17 |
| 母　　数 | | | 8,329 | 2,393 | 2,380 | 3,388 | 168 |

## １０．２　公表の方法

１０．１で何らかの公表を行っている事例8,032件について、公表の方法を**表１０－２**に示す。

**表１０－２　　公表の方法**

| 公表の方法（複数回答有り） | | 件数 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 合計 | ＶＯＣ | 重金属等 | 硝酸・亜硝酸 | 複合汚染 |
| 汚染井戸所有者に個別通知 | 自治体による | 6,501 | 1,547 | 1,745 | 3,134 | 75 |
| | 事業者による | 29 | 10 | 12 | 2 | 5 |
| 周辺井戸所有者に個別通知 | 自治体による | 922 | 352 | 350 | 194 | 26 |
| | 事業者による | 33 | 18 | 8 | 0 | 7 |
| 地域で説明会の実施又は回覧の実施 | 自治体による | 862 | 246 | 256 | 342 | 18 |
| | 事業者による | 248 | 140 | 75 | 2 | 31 |
| 事案毎に報道発表等の公表 | 自治体による | 1,289 | 558 | 489 | 177 | 65 |
| | 事業者による | 174 | 94 | 57 | 1 | 22 |
| 常時監視結果一覧として公表 | | 4,805 | 1,267 | 1,245 | 2,247 | 46 |
| 不明（過去の事例等） | | 195 | 98 | 62 | 29 | 6 |
| その他 | | 369 | 158 | 119 | 72 | 20 |
| 母　　数 | | 8,032 | 2,249 | 2,291 | 3,341 | 151 |

注：複数回答があるため、各件数の和は必ずしも母数に一致しない。